

令和6年度文部科学省委託事業

専修学校の国際化推進事業

「沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業」

# 成果報告書

令和7年2月

学校法人大庭学園



# 目次

<b>I 事業概要</b> .....	<b>1</b>
1 事業の趣旨・目的等について .....	1
2 オーストラリアにおいて事業を推進する意義.....	1
3 実施する取組の具体的内容 .....	2
4 令和6年度事業計画.....	3
<b>II 事業実施体制</b> .....	<b>4</b>
1 沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業実施機関.....	4
2 実施体制イメージ図.....	5
<b>III 令和6年度事業成果</b> .....	<b>6</b>
1 豪州専門学校と教育連携締結 .....	6
2 オーストラリアにおける保育分野ニーズ調査.....	7
3 留学前英語学習カリキュラム試作開発 .....	62
4 留学促進事業委員会.....	330
<b>IV 令和7年度以降展開について</b> .....	<b>338</b>

# I 事業概要

## 1 事業の趣旨・目的等について

本事業の目的は、オーストラリアへの留学を通じて、沖縄県における保育士および介護福祉士のグローバル人材を育成することです。

沖縄県には米軍基地があり、多くの外国籍の子どもや高齢者が暮らしています。英語を母国語とするアジア圏の在留外国人も増え、保育や介護の専門家が外国文化や言語を理解し、コミュニケーション能力を向上させることが課題です。そこで、本学園はオーストラリアへの留学を通じて保育士および介護福祉士の国際的視野と専門性を高める事業を提案します。

オーストラリアは多文化社会として認知され、保育や介護の分野でも高水準の教育とサービスを提供しています。資格制度も充実しており、資格取得後の就職も優遇されています。日本との時差が1時間と少ないため、オンライン学習も可能です。具体的な取り組みとして、オーストラリアの専門学校との提携を拡大し、留学前に英語力を高めるオンライン学習を含むLMS(学習管理システム:Learning Management System)を導入します。現地の教育機関と共同でカリキュラムを開発し、在学中に英語力を向上させるモデルプランを作成します。また、準備から帰国後の就職まで一貫した支援体制を整えます。期待される効果は、国際的視野と専門性の向上、異文化理解の深化、実践的な英語スキルの習得、日豪両国での資格取得です。留学を通じて、外国籍の子どもや高齢者と円滑なコミュニケーションを図る人材を育成します。

## 2 オーストラリアにおいて事業を推進する意義

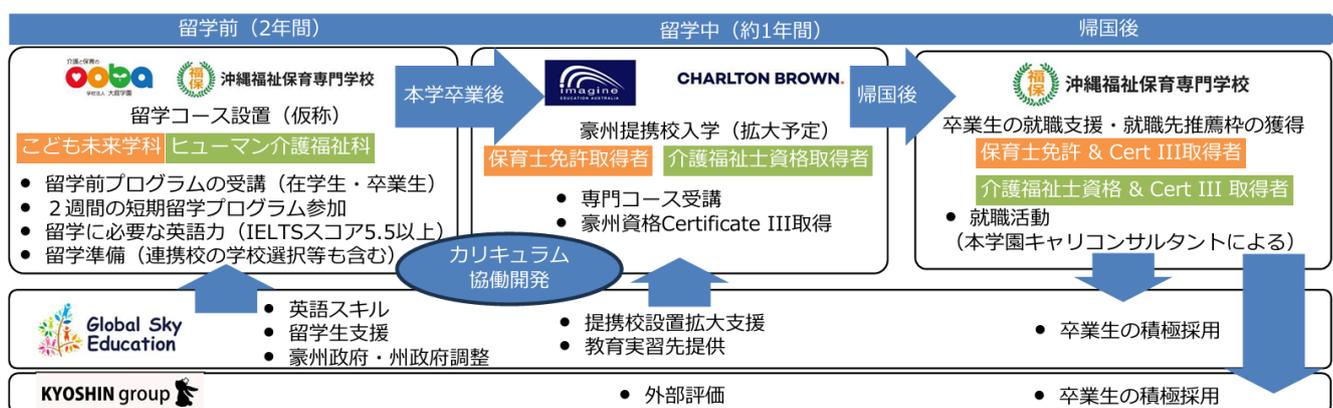
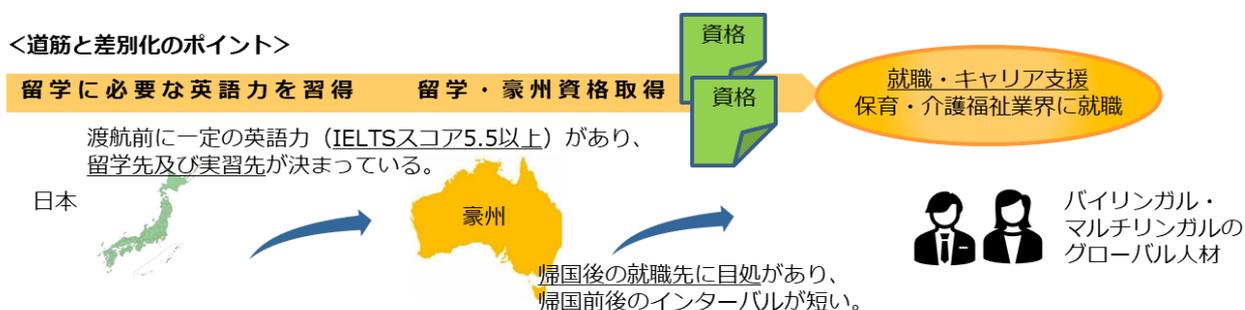
豪州は世界第12位(2022年、財務省及び世銀調べ)の経済大国であり、2015年の日豪EPA発効後は貿易・投資、観光、教育などの人的交流が拡大しています。豪州では人口増加による保育ニーズと長寿化による介護ニーズが高まる中、両分野を支える人材育成の体制が整っています。一方、少子高齢化に直面する日本では、両分野における人材確保や英語を解する人材のニーズが高まることが予想されます。したがって、英語圏で専門教育を受けた人材の活躍の場は広がり、日豪間の相互補完関係が保育・介護福祉の分野でも期待されます。

豪州では多民族・多文化社会に適応した高度な職業訓練制度が整っており、留学生向けの専門コースや英語コースが充実しています。特にTAFE(Technical and Further Education)や私立の専門学校が多く、日本からの留学生も増加しています。即戦力として働ける人材育成を目的としており、産業界と連携した実習制度も充実しています。

日本の保育士・介護福祉士養成校は、国家資格取得を目指す2年間の専門カリキュラムで英語のスキルを高める余裕がありません。そのため、グローバルな人材育成を実施している学校は少なく、国際対応力が不足していると考えます。外国籍の園児や利用者が増加しており、本学園のこども園でもコミュニケーションの課題が顕在化しています。言語の壁によって保育士や介護福祉士が十分なサポートを提供できない場面が増え、サービスの質低下リスクとなっています。そこで本事業では、英語力を高め、グローバルな保育士・介護福祉士の人材育成を強化するカリキュラムを構築します。これにより、保育・介護の質を向上させ、国際的な視野を持つ人材を育成します。

### 3 実施する取組の具体的内容

保育・介護福祉の分野において、英語・異文化を解する人材を育成するべく、日本人・外国人留学生を対象に、日本と英語圏における資格の両方を取得して、バイリンガル・マルチリンガル保育士・介護福祉士として活躍できる道筋を構築します。業界全体の大きな課題として、そもそもの保育・介護士を目指す学生の確保があるものの、豪州留学を通して、日本人はバイリンガル、留学生はマルチリンガル保育士・介護福祉士として活躍できる可能性を示し、日本での在学中に英語力を高めることで留学費用と時間の節約を実現(豪州留学に必要なIELTSスコア5.5以上)、留学前・中・後の手厚いサポート体制の構築、特に留学後の就職不安がないキャリア支援体制が解決策となります。



## 内 容

### (1) 事業実施体制の構築

- ▶プロジェクトチームの編成  
学校法人大庭学園を中心に、沖縄県及び豪州の教育機関、留学支援企業等でチームを編成。豪州の教育機関との連絡・調整をグローバルスカイ株式会社（教育コンサルティング企業。傘下に豪州にて保育事業会社グローバルスカイ・エデュケーションを有する）、を中心に、主要教育機関と連絡を取り、協力体制を構築。

### (2) 事例調査やニーズ調査

- ▶豪州の保育・介護分野の調査  
現地の教育機関を訪問し、現状とニーズを調査。
- ▶学生や現地教育機関のニーズ把握  
アンケートやヒアリングを実施し、具体的なニーズを明確化。
- ▶保育・介護事業者のグローバル人材のニーズ把握  
アンケートやヒアリングを実施し、ニーズと就職支援策を明確化。

### (3) 留学前プログラムの開発

- ▶留学に興味がある在学生及び本学卒業生に募集を行う。  
留学に向けた英語カスル向上のカリキュラムを週に数回の英語授業、現地オンライン英会話、オンデマンド学習教材などを提供。
- ▶カリキュラム開発  
オーストラリアの教育機関と共同でカリキュラムを作成し、各学科の専門家と協力し、実践的なカリキュラムを開発。
- ▶シラバスやコマシラバスの作成  
詳細な授業計画を作成し、学生に提供。

### (4) 教材開発と実証授業の実施

- ▶オンライン学習及びLMS学習システムの教材開発  
動画講義、課題、評価システムを整備。
- ▶実証授業を通じて効果の検証  
パイロットプログラムを実施し、フィードバックを収集。

## 4 令和6年度事業計画

### (1) 事業実施体制の構築

#### 【プロジェクトチームの編成】

学校法人大庭学園を中心に、沖縄県及び豪州の教育機関、留学支援企業等でチームを編成します。オーストラリアの教育機関との連絡・調整はグローバルスカイ株式会社を中心に、主要教育機関と連絡を取り、協力体制を構築します。

### (2) 事例調査やニーズ調査

#### 【豪州の保育分野調査および今後の介護分野調査について】

今年度は、豪州の教育機関を訪問し、アンケートやヒアリングを通じて保育分野の現状や具体的なニーズを明らかにする調査を実施します。ただし、令和6年度は介護分野の調査は実施せず、保育調査のみに注力いたします。なお、令和7年度以降は介護分野の調査も追加し、両分野における包括的なニーズ把握を目指して参ります。

### (3) 留学前試作プログラム開発

沖縄福祉保育専門学校にて保育士または介護福祉士の資格取得を目指す学生に豪州留学に興味がある在学生及び卒業生に募集を行い、パイロットプログラムを行います。

## II 事業実施体制

本事業は、学校法人大庭学園が中心となって組織した実施委員会の管理・管轄の下、以下のような構成機関からの参画者により実施委員会を組織し、事業を推進してまいります。

### 1 沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業実施機関

#### (1) 教育機関

	名称	役割等	都道府県名
1	学校法人大庭学園	事業統括	沖縄県
2	沖縄福祉保育専門学校	カリキュラム開発・留学前プログラム等	沖縄県
3	ソーシャルワーク専門学校	カリキュラム開発	沖縄県
4	Imagine Education (豪州教育機関)	カリキュラム開発・留学先等	豪州
5	Charlton Brown/NIET Group (豪州教育機関)	カリキュラム開発・留学先等	豪州
6	TAFE Queensland (豪州教育機関)	カリキュラム開発・留学先等	豪州

※ 内諾済の場合には、内諾欄に「○」を記入(以下同じ)

※ 「役割等」においては、同一の役割を複数の機関で分担する場合、主担当となる機関の同欄に「◎」を記載すること(以下同じ)

※ 行が足りない場合は適宜追加して記載すること(以下同じ)

#### (2) 企業・団体

	名称	役割等	都道府県名
1	グローバルスカイ株式会社	カリキュラム開発、提携校設置拡大 留学生支援、卒業生の採用等	東京都 豪州
2	株式会社京進	外部評価、卒業生の採用等	京都府
3	ライジングスター	外部評価、留学支援アドバイス	東京都
4	株式会社かいほつマネジメント・コンサルティング	外部評価	東京都
5	コニカミノルタ株式会社	外部評価	東京都
6	リプレシエアホールディングス株式会社	外部評価	熊本県

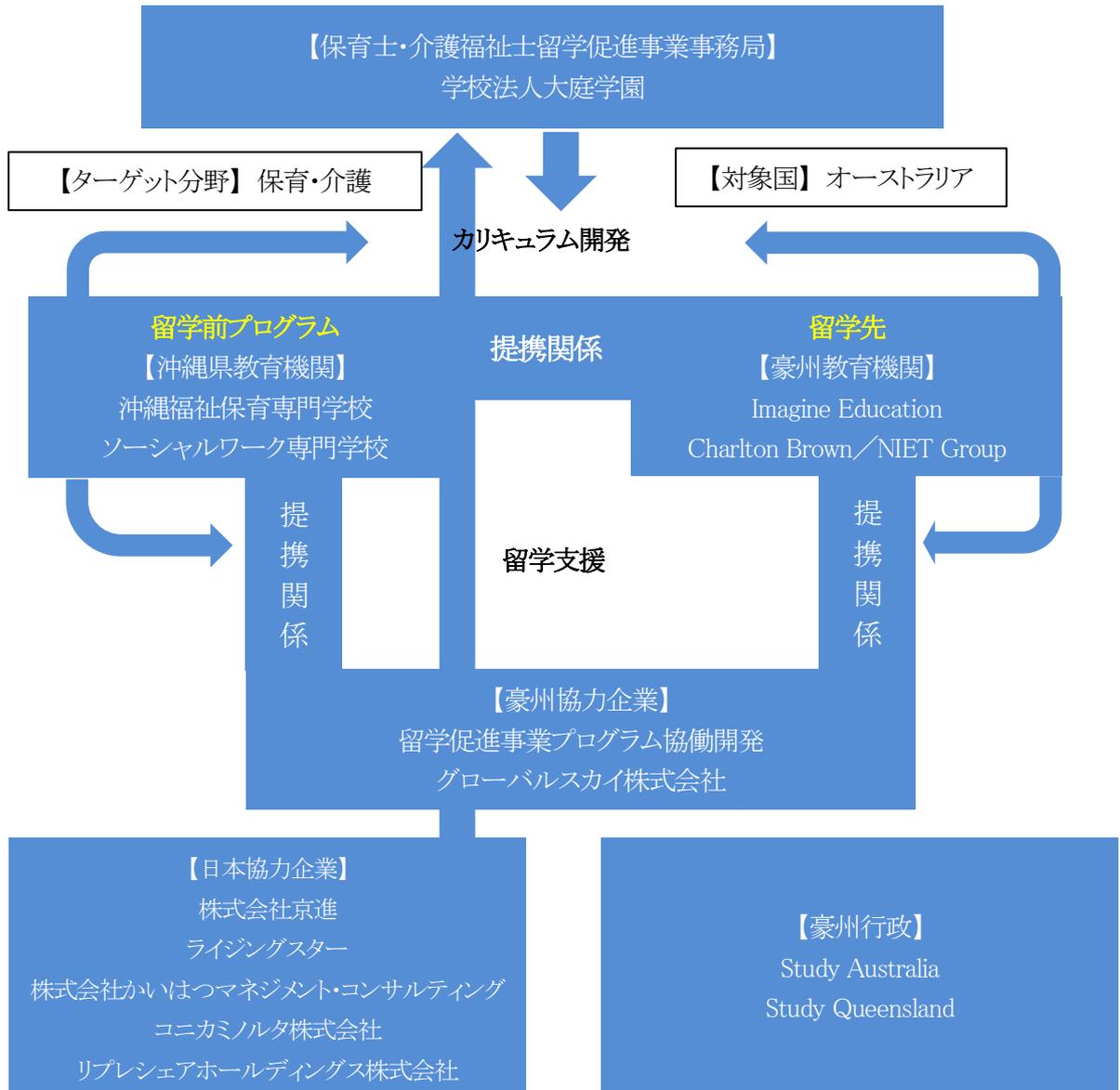
#### (3) 行政機関・その他

	名称	役割等	都道府県名
1	Study Australia/オーストラリア大使館	提携校設置拡大	豪州
2	Study Queensland/クィーンズランド州政府	提携校設置拡大	豪州

(4) 各機関の役割・協力事項について

<p>○教育機関 事業統括(学校法人大庭学園) ニーズ調査 カリキュラム開発・留学前プログラム開発 留学先確保</p> <p>○企業・団体 カリキュラム開発提携校設置拡大 留学生支援・卒業生の採用等</p> <p>○行政機関・その他 提携校設置拡大</p>
--

2 実施体制イメージ図



### Ⅲ 令和6年度事業成果

令和6年度において、本事業では「豪州職業専門学校との教育連携締結」、「オーストラリアにおける保育分野ニーズ調査」、および「留学前英語学習カリキュラム試作開発」を実施しました。

本取り組みを通じて、オーストラリアの教育機関との連携強化、現地における保育分野の最新動向の把握、そして留学に向けた英語学習支援の充実を図り、学生がグローバルな環境で活躍できる基盤を整備しました。

以下に、それぞれの成果の詳細を報告します。

#### 1. 豪州職業専門学校との教育連携締結

本年度、オーストラリアの職業専門学校「Imagine Education(イマジン・エデュケーション)」および「Charlton Brown(チャールトン・ブラウン)」の2校と正式に教育連携を締結しました。本連携により、以下の成果が期待されます。

##### ① 国際教育プログラムの強化

両校との提携を通じて、海外留学プログラムや短期研修の機会を拡充し、学生の国際的な視野を広げる環境を整備しました。

英語教育の充実を図り、現地での実践的な学びを提供するプログラムを開発しました。

##### ② 資格取得・キャリア支援の充実

オーストラリアの専門資格取得支援を強化し、国際的に通用するスキルの習得を促進します。

現地企業や教育機関との連携により、インターンシップや就職支援の枠組みを強化しました。

##### ③ 共同カリキュラムの開発

日本とオーストラリアの教育システムを活かしたカリキュラムを共同で開発し、専門分野における実践的な学びを提供します。

オンライン授業やハイブリッド学習を活用し、国内外を問わず質の高い教育機会を提供します。

この教育連携を通じて、学生がグローバルな環境で活躍できる力を養い、より多様なキャリアの選択肢を提供してまいります。



Imagine Education



Charlton Brown

## 2 オーストラリアにおける保育分野ニーズ調査

### 第1章 調査の背景と目的

#### はじめに

##### 国際的な保育人材への需要の高まり

グローバル化が進む現代社会において、多文化共生が各国の教育政策における重要な課題となっています。保育・幼児教育分野も例外ではなく、異文化対応力を持つ国際的な保育・幼児教育人材が求められています。特にオーストラリアは、移民国家であり多文化社会としての特性を活かし、早期教育を通じた異文化理解と共生を実現するモデルケースとして注目されています。

一方、日本では、少子化が進行する中、外国籍の子どもの増加や英語教育の需要が高まり、保育士に求められるスキルが多様化しています。こうした背景から、オーストラリアの保育士資格を取得し、国際的な視点を持つ人材が日本国内で活躍する機会が増加することが見込まれます。

本調査は、このような国際的な背景を踏まえ、日本とオーストラリアの保育士資格や教育制度を比較・分析し、国際的に活躍できる保育人材であるグローバル保育士の育成における課題と可能性を探ることを大きな目的としています。なお、本調査において、グローバル保育士は国際保育人材と同義であり、日本語と英語(及びその他の言語)を日常生活・業務上支障なく使いこなすバイリンガル保育士も包摂する意味合いを持つものとします。

---

#### 1.1 本調査の背景と目的

##### 1.1.1 背景

オーストラリアは、保育士資格制度の先進性と多文化共生を基盤とした教育モデルにより、多様な人材を受け入れる柔軟性を備えています。この制度は、保育分野における教育及び運営の品質に関する政府基準である National Quality Framework (NQF) や学習要項にあたる Early Years Learning Framework (EYLF) に基づいて構築され、実践的な学びと高品質な教育基準を特徴としています。一方、日本では、日本語を母国語としない家庭の増加や社会経済の国際化を受けて、英語力や国際的視野を持つ保育士や異文化対応力の高い人材の育成が急務となっています。

本調査は、日本の保育分野を学ぶ学生や保育士がオーストラリアの資格制度や教育理念を学び、国際的なキャリア形成を実現するための方法を探ることを目的としています。特に、日本とオーストラリアの教育機関間の連携や提携校設置の意義について検討します。なお、今年度は、文部科学省による令和6年度「専修学校の国際化推進事業」(専修学校の国際化に向けた体制整備)において、学校法人大庭学園が提案した「沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業」のうち、保育分野(保育士)について調査・検討を行う位置づけとなっています。

### 1.1.2 目的

本調査の主な目的は以下の通りです。

#### 1. 保育士資格制度の比較:

- オーストラリアの保育士資格取得のプロセス(学歴、英語能力、実習要件)を日本の現状と比較し、その相違点と共通点を明らかにします。

#### 2. グローバル保育士の育成支援:

- 留学生向けの支援体制(奨学金、就労可能なビザ、事前学習プログラム)を検討します。

#### 3. 提携校設置の意義と課題の分析:

- 日本とオーストラリアの教育機関が共同でグローバル保育士を育成するための提携モデルの可能性を探ります。
- 

## 1.2 日本とオーストラリアの保育士需要の現状

### 1.2.1 日本の保育士需要

日本では、少子化が進行する一方で、女性の社会進出に伴って保育需要が高まっています。保育需要に応える保育士(資格取得者)の数自体は不足しておらず、有資格者が働きにくい低賃金や労働環境などの処遇改善が必要な状況にあることに加え、外国籍の子どもが増加する社会環境も踏まえて多文化対応力を持つ保育士が必要とされています。また、英語教育の重要性が高まり、バイリンガル保育士への期待も大きくなっています。さらに、地方では保育士不足が深刻であり、都市部と地方の格差が拡大しています。こうした背景から、国際的な視点と資格を持つ保育士が、地域社会に新しい価値を提供する可能性が示されています。

---

### 1.2.2 オーストラリアの保育士需要

移民を積極的に受け入れてきたオーストラリアでは、約2,650万人(2023年)の人口に占める半数以上が海外で生まれた者または両親のどちらかが海外で生まれた者(移民)であり(2021年時点で、海外で生まれた者は29%、両親のどちらかが海外で生まれた者は22%を占める)、文化的に多様な多文化社会における保育士の役割が重要視されています。特に以下の点が特徴的です。

#### ● 多文化対応力の必要性:

- 異なる文化や言語を持つ家庭への対応が求められています。

#### ● 保育士資格の需要増加:

- 人口増と政府の保育支援拡充政策により、保育施設が増加し、資格保持者の需要が急増しています。

● 職業訓練とキャリア形成の充実:

- 職業訓練制度 (Vocational Education and Training (VET) 制度) により、資格取得と実践的なキャリア形成が効率的に行われています。

指標	日本	オーストラリア
保育士の求人状況	有効求人倍率 3.54 倍 (2024 年 1 月) *1	必要な保育士総数に対する求人 (空席) 割合 22% (2022 年)*4
待機児童数	2,567 人 (2024 年 4 月)*2	該当なし*5
保育施設数	39,805 施設 (2024 年 4 月)*2	14,937 施設*6
平均年収	約 389 万円*3	約 63,000 ドル (約 630 万円)*7

\*1 厚生労働省「一般職業紹介状況 (職業安定業務統計)」

\*2 こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ (令和 6 年 4 月 1 日)」

\*3 厚生労働省「令和 5 年賃金構造基本統計調査」

\*4 Australian Competition & Consumer Commission “Childcare inquiry Interim report September 2023”

\*5 待機児童数という概念・統計はないが、ビクトリア大学の研究 (Associate Professor Peter Hurley 氏による “More than 1 million Australians have no access to childcare in their area”) によれば、約 100 万人が保育サービスのない地域に居住している推計あり。

\*6 オーストラリア政府教育省 “Child Care Subsidy data report - September quarter 2024”

\*7 Talent.com “Child Care Worker average salary in Australia, 2025”

### 1.3 本報告書の構成

本報告書は以下の構成で調査内容を展開します。

1. **調査の背景と目的:** 本調査の背景、目的、調査の意義を説明。
2. **本調査の範囲と方法論:** 調査範囲と使用した手法を記述。
3. **日本とオーストラリアの保育資格制度:** 主にオーストラリアにおける保育士資格の取得要件を詳細に分析。

4. **保育の教育理念と実践:** 日本とオーストラリアの教育理念の違いを比較。
5. **留学生向け支援体制と実習:** 留学生支援の現状と課題を分析。
6. **資格取得後のキャリアパスと就職機会:** 日本とオーストラリアのキャリアパスを検討。
7. **グローバル保育士の育成と展望:** 保育分野におけるグローバル人材育成の可能性を模索。
8. **留学生の学費・生活費の課題と対応策:** 経済的課題とその解決策を提示。
9. **提携校設置の意義と課題:** 日豪両国における教育機関間の連携モデルを提案。
10. **結論と今後の展望:** 全体のまとめと将来への提言。

本報告書は、保育士不足や多文化対応の課題に直面する日本の教育現場に対し、具体的な解決策を提示するとともに、オーストラリアの専門教育システムを活用したグローバル保育士育成の可能性を探る指針を提供します。教育現場や政策立案者だけでなく、保育士の養成機関、保育事業者、そして広く地域社会や保護者にも有益な内容となることを目指しています。

## 第2章 本調査の範囲と方法論

### 2.1 調査範囲

本調査は、日本とオーストラリアの保育士資格制度および保育理念の比較を行った上で、両国連携によるグローバル保育士育成の可能性を探ることを目的として実施されました。以下の3つの主要テーマに焦点を当てています。

#### 1. 保育士資格制度の比較

- **日本:** 国家資格としての保育士資格は、指定保育士養成機関(大学、短大、2年制専門学校)を卒業するか、保育士試験に合格することによって取得できます。筆記試験や実技試験を中心に理論と実践を評価しています。一方、実習時間は比較的短期間で、制度的にも日本国内での活動を前提としています。
- **オーストラリア:** 職業資格としての位置づけが強く、Certificate III、Diploma、Bachelorの3つの主要資格が入門的なレベルから学士の学位まで体系的に設計されています。資格取得には長時間の実習を必要とし、実践重視の教育プログラムが特徴です。

#### 2. 留学生向け支援体制

- 日本からの留学生がオーストラリアで保育士資格を取得する際に直面する課題(語学力、文化適応、学費・生活費など)を特定し、それらを解決するための支援体制を検討しました。
- 語学準備コースや文化適応プログラム、ビザ取得要件など、留学生の学びを支える仕組みについても提案しました。

#### 3. 実習プログラムとキャリア形成

- オーストラリアでの実習プログラムの役割と、その内容がどのように保育士のキャリア形成に寄与するかを分析しました。
- 実習プログラムを通じたスキル向上の事例や、保育実習を支援するスーパーバイザーの役割についても検証しました。

---

### 2.2 調査方法

本調査では、以下の方法を用いてデータを収集し、分析を行いました。

#### 1. 現地視察

大庭学園の視察団が、2024年11月19日から21日にかけて、オーストラリアのブリスベンおよびゴールドコーストを中心に、主要な保育施設および教育機関を訪問しました。

- **視察施設:**
  - 日系でオーストラリア・クィーンズランド州を中心に保育・教育コンサルティング事業を展開するGlobal Sky Education社が運営するSouthport Child Care Centre、Robina Town Childcare Centre、Mudgeeraba Early Childhood Centre。

- オーストラリアの職業訓練校及び保育事業大手の Imagine Education が運営する Imagine Childcare and Kindergarten Southport。

● 目的:

- 現場での保育士の業務内容や施設運営の実態を把握する。
- 実習生が直面する課題や成功事例を収集する。

## 2. 専門家インタビュー

現地の保育施設スタッフ、教育機関関係者、保育士資格取得者へのインタビューを通じ、資格取得過程や現場での課題について深く掘り下げました。

● 訪問先

- Imagine Education (保育職業専門学校、現地保育事業者大手)
  - 訪問日:2024年11月18日及び20日
  - 面談者:Bill Adler 代表、Nairn Motoko 氏 (Study Tourta 担当)、Achiwa Rina 氏 (留学担当)
- Charlton Brown / NIET Group (保育職業専門学校)
  - 訪問日:2024年11月21日及び12月8日
  - 面談者:Troy Yue 代表、Olivia An 氏 (留学担当)、Sekikawa Hideyasu 氏 (留学担当)
- Global Sky Education Group (現地日系保育事業者)
  - 訪問日:2024年11月19日、20日、21日、12月19日
  - 面談者:永田幸代表、Anita White 氏 (General Manager)、Letisha Rountree 氏 (Operations Manager)、Billy Smith 氏 (Talent Advisor)
- その他専門家
  - ヒアリング期間:2024年11月12日～2024年12月8日
  - 対象者:Katrina Pridmore 氏 (Excellence in Education 代表、チャイルドケアコンサルタント)、Kay Ganley 氏 (Charlton Brown 創業者、チャイルドケアコンサルタント)、Hilary Knight 氏 (Childcare Concepts 代表、チャイルドケアセンターオーナー、コンサルタント)、Shaun Star 博士 (Work4ce 代表、チャイルドケア分野の人材コンサルタント)、Jenny Sheward-Spence 氏 (Benowa Children's Centre CEO、チャイルドケアコンサルタント)

● 主な質問項目:

- 豪州保育業界における人材需給状況と課題。
- 資格取得のための教育プログラムとその効果。

- 留学生向け支援体制の現状と改善点。
- 保育士資格取得後のキャリアパスとその可能性。

### 3. 統計データ分析

オーストラリアおよび日本の政府機関が提供する統計データをもとに、両国の保育士需要や資格取得の傾向を分析しました。

#### ● 使用データ:

- オーストラリア政府の「Job Outlook for Early Childhood Educators」。
- オーストラリア政府教育省のウェブサイト。
- 日本の厚生労働省「保育士需給調査報告書」。
- 日本のこども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ(令和6年4月1日)」。

### 4. 文献・公開資料レビュー

オーストラリア政府教育省及びオーストラリア政府保育品質認証機関(ACEQCA:The Australian Children's Education & Care Quality Authority)の公開情報、オーストラリア政府が定める保育品質基準 EYLF (Early Years Learning Framework)、National Quality Framework (NQF)、オーストラリアの産業界別動向調査報告書である IBIS World Report のうち Child Care Services in Australia レポートなど、オーストラリアの保育政策に関連する公式資料のほか、オーストラリア政府内務省ビザ制度に関する情報をレビューしました。また、日本の保育士資格に関する文献も参照し、両国の制度を包括的に比較しました。

---

## 2.3 調査の成果と意義

### 1. 両国の保育士資格制度の特徴の明確化

本調査により、両国の資格取得制度の構造的な違いを明らかにしました。具体的には、日本が筆記試験を中心とする理論重視の評価体系であるのに対し、オーストラリアは実習を通じた実践重視の教育体系を採用しています。

### 2. 留学生支援体制の現状と課題の把握

本調査を通じて、留学生が直面する課題(語学力の不足、文化的適応、学費・生活費の負担など)を具体的に特定しました。一方で、語学支援プログラムや保育実習におけるスーパーバイザーの指導体制といった支援策が、留学生の学びを成功に導く重要な要素であることも確認しました。

### 3. 実習プログラムの重要性の再確認

オーストラリアの保育士資格取得における実習の役割が明確になりました。特に、長期実習を通じて学生が実務スキルを磨き、現場で即戦力となる能力を養う仕組みが評価されました。

---

## 2.4 本報告書における各章の位置づけ

本章で示した調査範囲と方法論は、以降の章で取り上げる分析や提言の基盤となるものです。

- 第1,2章は、本報告書の趣旨・方法論をまとめたものとなります。
- 第3章では、日本とオーストラリアの保育士資格制度の比較を深掘りし、両国間の制度的な相違点を明確化します。
- 第4章では、日本とオーストラリアの保育理念と実践内容を比較します。
- 第5章では、オーストラリアにおける保育士資格の取得を目指す留学生が留学準備から実際の留学までのプロセス、さらに、実習プログラムや支援体制を詳細に確認します。
- 第6章では、オーストラリアにおける保育士資格の取得後のキャリアパスと就職機会を日本からの留学生の視点で調査します。
- 第7,8,9章では、調査結果をもとに、グローバル保育士の育成と展望を明らかにして、日豪間の提携校設置や奨学金制度の拡充について具体的な提案を行います。
- 第10章では、本調査のまとめを行います。

## 第3章 日本とオーストラリアの保育士資格制度

### 調査内容と結果の要約

本章では、オーストラリアの保育士資格(Certificate III in Early Childhood Education and Care、Diploma of Early Childhood Education and Care、Bachelor of Early Childhood Education)の取得要件を詳細に分析しました。各資格には、学歴、英語能力(IELTS 5.5~7.0)、そして一定時間の実習が必須とされています。調査の結果、特に英語力と実習先確保が留学生にとって最大のハードルであることが明らかになりました。また、資格取得に必要な条件は全国的に統一されており、幼児教育及び保育の品質基準であるNQF(National Quality Framework)に沿った高い教育基準が設けられています。これにより、資格保持者はオーストラリア国内でのキャリア形成が可能となる一方で、留学生がこれらの要件を満たすためには事前準備が不可欠であると結論づけられました。

### 3.1 日本とオーストラリアの保育士資格制度の概要

#### 3.1.1 日本の保育士資格制度

日本の保育士資格は、国家資格として位置づけられており、厚生労働省が監督する制度の下で運用されています。資格を取得するための方法は、主に以下の2つです。

1. **保育士試験**: 筆記試験(9科目)と実技試験(音楽表現や造形表現などから選択)の合格が必要。
2. **指定養成施設の修了**: 厚生労働省が指定する専門学校や大学で、規定の教育課程を修了する。

#### 3.1.2 オーストラリアの保育士資格制度

オーストラリアの保育士資格は、職業資格として多層的に設計されており、以下の主要資格があります。

1. **Certificate III in Early Childhood Education and Care**: 基本的な保育スキルを習得するための入門資格。
2. **Diploma of Early Childhood Education and Care**: 教育プログラム設計や施設運営スキルを学ぶ中級資格。
3. **Bachelor of Early Childhood Education**: 高度な教育理論と実践スキルを学ぶ学士号。

---

### 3.2 両国の資格制度の比較

#### 3.2.1 資格取得プロセスの違い

日本では資格取得にあたって指定保育士養成施設(大学、短大、2年制専門学校)の卒業もしくは筆記試験が大きな役割を果たしますが、オーストラリアは実習を通じた評価を重視しています。

- **日本**: 指定養成施設の修了もしくは筆記試験を受ける場合の合格率は約20~30%と難関であり、試験形式が知識重視である点が特徴です。
- **オーストラリア**: 実習がカリキュラムに組み込まれており、資格取得の過程で実践能力が評価されます。

#### 3.2.2 実習要件の違い

- **日本**: 指定養成施設では約150時間の実習が義務付けられていますが、短期的な経験が主です。

- オーストラリア: Certificate III で 160 時間、Diploma で 280 時間、Bachelor では 680 時間以上の実習が必要です。

### 3.2.3 教育理念の違い

- 日本: 集団生活を重視し、規律や社会性を養うことに重点を置いています。
- オーストラリア: Early Years Learning Framework (EYLF) の理念に基づき、遊びを通じた学びを通じて、子どもの創造性、自主性と多文化対応を重視しています。

## 3.3 オーストラリア保育士資格の詳細

### 3.3.1 Certificate III in Early Childhood Education and Care

- 概要: 初歩的な保育スキルの習得。
- 学習内容: 子どもの健康管理、安全対策、基本的な教育活動の実践。
- 取得要件: IELTS スコア 5.5 相当以上の英語力が求められる。

### 3.3.2 Diploma of Early Childhood Education and Care

- 概要: 教育プログラムの設計やリーダーシップスキルを学ぶ中級資格。
- 学習内容: こどもの発達、カリキュラム作成、特別支援を必要とする子どもの対応、チーム運営、施設管理。
- 取得要件: IELTS スコア 6.0 以上が求められ、2021 年 8 月以降は Certificate III の取得が必須とされる。

### 3.3.3 Bachelor of Early Childhood Education

- 概要: 高度な教育理論を学び、施設運営や教育政策策定に関与できる資格。
- 学習内容: 教育理論と実践、研究スキル、リーダーシップの養成。
- 取得要件: 大学進学であるため、IELTS スコア 6.5 以上が必須。

国	資格	必要学歴	英語能力要件	実習要件	評価方法
日本	保育士資格	高校卒業以上	不要	約 150 時間	筆記・実技試験
オーストラリア	Certificate III	高校卒業相当資格	IELTS 5.5 以上	160 時間	履修・実習評価
	Diploma	Certificate III 推奨	IELTS 6.0 以上	20 時間	履修・実習評価
	Bachelor	高校卒業 (ATAR 基準)	IELTS 6.5 以上	680 時間	履修・実習・課題評価

### 3.4 資格相互認定の課題と可能性

#### 3.4.1 現在の状況

日本とオーストラリア間での保育士資格の相互認定は実現していません。主な障壁として、教育課程の相違や法制度の違い、英語で必要な単元を履修していないことが挙げられます。

#### 3.4.2 相互認定の可能性

- **留学前の事前学習:** 現段階では、両国の教育機関同士での単位相互認定制度は存在しないものの、Charlton Brown 及び Imagine Education へのヒアリングにおいては、留学前に日本で豪州カリキュラムに基づく事前学習を行うことにより留学期間を短縮する方法を模索したい旨の表明があったことから、今後の制度化に期待できる。
- **補完的研修プログラム:** 両国のそれぞれの有資格者に対して両国の保育理念や実習要件を補完する短期研修制度の導入を模索する。
- **専門家協議:** 双方の教育機関が共同で基準を策定し、履修済み単元を特定し、資格の互換性を模索する。ただし、豪州資格取得に必要な単元は英語での履修を前提とするため、日本の養成機関において、英語による豪州カリキュラムの提供実施体制には課題が大きい。

---

### 3.5 保育士資格の国際的な展望

#### 3.5.1 グローバル人材の育成

オーストラリアの資格は実践的な内容かつ多文化対応力が評価されており、日本の保育士資格保持者がこのスキルを学ぶことで国際的なキャリア形成の可能性が開けます。特に、次章で詳述する EYLF (Early Years Learning Framework) に基づく幼児教育手法は、子ども一人ひとりの自主性を尊重し、異文化環境での適応力を高めるため、日本の保育士にとっても有益な学びとなります。さらに、オーストラリアでの実習・実務経験を積んだ保育士は、帰国後にインターナショナルスクールやグローバル教育を重視する保育施設での就職機会が広がることが期待されます。英語を活かした指導や多文化対応スキルを持つ保育士は、日本国内においても求められる人材であり、国際保育士としての新たなキャリアパスの確立に寄与します。また、日本国内の保育士養成機関が、オーストラリアの教育機関や保育事業者と連携し、短期留学プログラムやオンライン講座を提供することで、より多くの保育士が国際的なスキルを身につける機会を持つことが可能となります。

#### 3.5.2 日豪の連携による相乗効果

資格制度の違いを相互補完することで、日豪両国が持続可能な保育士育成のモデルを確立できる可能性があります。特に、オーストラリアは日本に比べて保育士の配置基準に比べて少人数制であり、日本の協調性を育む集団保育の要素を組み合わせることで、よりバランスの取れた保育プログラムの開発が期待されます。また、オーストラリアの職業専門学校(RTO:Registered Training Organisation)と日本の専門学校・大学が提携し、共同でカリキュラムを構築することで、一般的に英語面でハンディキャップを抱える日本からの留学生がスムーズに資格を取得し、日豪両国で活躍できる制度を整備することが可能となります。さらに、日本国内でのオーストラリア保育士資格の一部認定

制度の導入や、両国間の研修制度の確立により、資格の相互互換性を高める施策も求められます。このような連携を通じて、日本の保育士がオーストラリアで就労しやすくなるだけでなく、オーストラリアの保育士資格を持つ人材が日本で活躍できる環境を整えることも重要です。最終的には、国際的な人材流動の促進と質の高い保育環境の実現が期待されます。

---

### 3.6 まとめ

本章では、日本とオーストラリアの保育士資格制度を多角的に分析しました。両国の違いを理解することで、資格相互認定や教育課程の改良に向けた具体的な提案が可能になります。次章では、保育の教育理念と実践について、日豪比較を行い、日本やアジアの留学生が豪州で学ぶ意義を考察します。さらに、後続の章で、資格取得後のキャリアパスや、留学生向け支援体制についてさらに掘り下げます。

---

### 参照情報

1. 厚生労働省「保育士需給調査報告書」(2023)
2. Australian Government Job Outlook for Early Childhood Educators (2024)
3. Early Years Learning Framework (EYLF) – Australian Government
4. National Quality Framework (NQF) – Australian Children’s Education & Care Quality Authority

## 第4章 保育の教育理念と実践

### 調査内容と結果の要約

本章では、日本とオーストラリアの保育に関する教育理念と実践方法を比較分析しました。調査の結果、オーストラリアのEYLF(Early Years Learning Framework)は、子どもの自主性と探究心を育む柔軟な教育理念が特徴である一方、日本は規律や協調性の育成を重視する集団教育を中心としています。さらに、日本の保育現場における多文化対応の課題が明らかになり、オーストラリアの教育モデルがその解決策として活用できる可能性が示されました。両国の強みを相互補完的に活用することで、質の高い教育が実現可能であると結論づけられます。

#### 4.1 日本の保育理念と現状

##### 4.1.1 日本の保育理念

日本の保育は、子どもの最善の利益を考慮し、養護と教育を一体的に提供することを基本としており、特に以下の点が特徴的と言えます。

##### 1. 規律と協調性の育成:

- 「健康」「人間関係」「環境」「言葉」「表現」の5つの領域にわたる保育内容が設定されており、特に集団生活の中での協調性や規律を学ぶことを重視。

##### 2. 家庭や地域社会とのつながり:

- 子育て支援や地域の子育て家庭に対する支援も重要な役割とされるほか、地域行事や伝統的な文化活動を通じて、地域との結びつきを強化。

これらの理念は、社会的背景や文化的価値観に基づいていますが、個々の子どもに対応する教育の柔軟性が課題となっています。

##### 4.1.2 日本の保育士配置基準

2024年4月以降、日本の保育士配置基準は以下の通りです(幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準の一部を改正する命令等の施行について(令和6年3月13日付け通知)。

- 0歳児: 保育士1人あたり子ども3人。
- 1～2歳児: 保育士1人あたり子ども6人。
- 3歳児: 保育士1人あたり子ども15人。
- 4～5歳児: 保育士1人あたり子ども25人。

これらの基準は最低限の要件を満たすものであり、現場では配置基準ぎりぎりの環境が一般的です。その結果、個別ケアではなく、集団教育が中心となる傾向があります。

## 4.2 オーストラリアの教育理念と現状

### 4.2.1 National Quality Framework (NQF)と Early Years Learning Framework (EYLF)

オーストラリアの保育制度は、NQF と EYLF を柱として構築されています。

#### National Quality Framework (NQF)

NQF は、オーストラリア全土で統一された保育施設の品質管理基準です。一貫した品質管理基準があることによって、保育施設・保育事業者の評価が明確になり、質的向上に取り組みやすくなっています。

- **目的:** 保育施設の品質向上、子どもの学びと福祉の最大化。
- **評価基準:** 保育施設の運営状況は7つの評価項目(以下で詳細を説明)に基づいて定期的に評価され、保育施設の運営事業者は、Quality Improvement Plan (QIP)を策定して施設運営の質的向上に取り組みます。

#### Early Years Learning Framework (EYLF)

EYLF は、早期教育における理念を示すフレームワークです。「Belonging」「Being」「Becoming」という3つの目標を中心に、子どもの自主性、多文化理解、探究心の育成を支援します。

### 4.2.2 基本理念

早期教育フレームワーク(EYLF)は、以下の3つの基本理念に基づいて構成されています:

1. **Belonging (帰属)**
  - 子どもが家族やコミュニティ、文化、学校とのつながりを感じ、自分の居場所を見つける。
2. **Being (存在)**
  - 子どもが「今を生きる」経験に集中し、日々の生活の中で新しいスキルや知識を学ぶ。
3. **Becoming (成長)**
  - 子どもが将来の目標や可能性に向けて成長し、社会に参加するためのスキルを発達させる。

### 4.2.3 5つの学習成果

EYLF は、以下の学習成果を達成することを目指しています:

1. 子どもが自分のアイデンティティを持つ。
2. 子どもがコミュニティとのつながりを築く。
3. 子どもがウェルビーイング(健康と幸福)を保つ。
4. 子どもが学びに向けて積極的で意欲的になる。
5. 子どもが効果的なコミュニケーターとなる。

#### 4.2.4 QIP の概要

QIP は、NQF に定める 7 つの評価項目に沿って、各保育施設が自らの運営を改善するために策定する計画であり、施設の強みと改善が必要な分野を明確化します。これにより、施設全体の品質を継続的に向上させる仕組みが確立されています。

#### 4.2.5 QIP の 7 つの評価項目

NQF では、以下の 7 つの領域に基づいて保育施設を評価します。

1. **教育プログラムと実践:**

- 子どもが多様な活動を通じて成長できるプログラムを提供しているか。

2. **子どもの健康と安全:**

- 子どもの健康管理、安全対策、緊急対応の実施状況。

3. **教育と保育の環境:**

- 教育・保育施設の物理的な環境や教材の質。

4. **スタッフの資格と配置:**

- 保育士の資格や配置が適正であるか。

5. **子どもとの関係性:**

- 保育士と子ども、子ども同士の関係性が良好か。

6. **家族やコミュニティとのコラボレーション:**

- コミュニティの一員として、父兄や地域社会との協働・連携の実施の有無とその質。

7. **ガバナンスとリーダーシップ:**

- 施設の運営方針やリーダーシップの質。

---

### 4.3 日豪の保育士配置基準の比較

#### 4.3.1 日本の配置基準の特徴

日本では保育士 1 人が担当する子どもの数が多く、集団生活を中心とした教育が一般的です。これにより、規律や協調性を育む活動が重視される一方で、個別ケアが難しい現状があります。

#### 4.3.2 オーストラリアの配置基準の特徴

オーストラリアでは、NQF に基づき少人数制を採用しています。

- **0～24 か月 (2 歳児):** 子ども 4 人に対して保育士 1 人。

- 25～35 カ月 (2～3 歳児): 子ども 5 人に対して保育士 1 人。
- 36～60 カ月 (4～5 歳児): 子ども 11 人に対して保育士 1 人。

これにより、子どもの個別保育が可能となり、各子どもの興味や能力に応じた教育が行われています。

(参考) 日豪の配置基準の比較

	日本	オーストラリア
保育士一人あたり子ども人数	0 歳児:3 人 1～2 歳児:6 人 3 歳児:15 人 4～5 歳児:25 人	0～24 か月:4 人 25～35 カ月:5 人 36～60 か月:11 人

#### 4.4 豪州における幼児教育・保育の特徴

##### 4.4.1 教育資源と教材の概要

オーストラリアの保育施設では、Early Years Learning Framework (EYLF) に基づいた多様な教育資源と教材が使用されています。これらの教材は、子どもの自主性、創造性、多文化理解を育むことを目的とし、遊びを通じた学びを重視する特徴があります。

##### 4.4.2 教材の具体例

###### 4.4.2.1 自然素材を活用した教材

オーストラリアでは、自然とのつながりを重視した教材が広く利用されています。これにより、子どもたちは環境への理解を深め、自然界の要素を学びに取り入れることができます。

- 木製ブロックや木の実:
  - 形や重さの異なる木製ブロックや木の実を使った遊びは、子どもの想像力と空間認識能力を高めます。
- 砂や水:
  - 砂場や水遊びに関連する教材は、触覚の刺激と物理的な特性の理解を促します。

###### 4.4.2.2 多文化教育に基づく教材

多文化社会であるオーストラリアでは、文化的多様性を反映した教材が教育現場に導入されています。

- 多言語絵本:

- 英語以外の言語で書かれた絵本(日本語、スペイン語、中国語など)は、異文化理解を深め、バイリンガル教育を支援します。特に日本とは長年の貿易関係もあって、第2言語として極めて人気です。

- **文化を象徴するアイテム:**

- オーストラリア大陸の先住民であるアボリジナル・ピープルや南洋諸島出身者たちの伝統的な衣装や工芸品を使用して、子どもたちがさまざまな文化を視覚的に学ぶことができます。

#### 4.4.2.3 STEM 教育の教材

STEM(科学、技術、工学、数学)教育を早期に取り入れる動きが広がっており、以下のような教材が活用されています。

- **ロボットプログラミングキット:**

- 子ども向けプログラミング教材(例: Bee-Bot)は、論理的思考と問題解決スキルを養います。

- **簡易的な科学実験セット:**

- 環境変化や物理現象を学ぶための実験キットが提供され、子どもたちの探究心を刺激します。

#### 4.4.2.4 美術と創造性を引き出す教材

子どもの表現力を育むため、以下のような美術教材が積極的に取り入れられています。

- **再生可能な素材:**

- 紙筒、空き箱、ボトルキャップなどのリサイクル可能な素材を使用し、創造的な制作活動を支援しています。

- **絵の具やクレヨン:**

- 自由に描ける画材を通じて、自己表現の喜びを学びます。

---

### 4.4.3 教材の特徴と分析

#### 4.4.3.1 EYLF との整合性

これらの教材は、EYLF の「Belonging(所属感)」「Being(現在を生きる)」「Becoming(未来を目指す)」という理念と密接に関連しています。

- 子どもたちは、自然素材を通じて環境とのつながりを感じ、多文化教育教材を通じて多様性を受け入れる力を育てます。
- STEM 教育や美術活動(Art) (総称して STEAM 教育ともいう)は、子どもの成長に不可欠なスキルや感性を高める役割を果たしています。

#### 4.4.3.2 保育士の役割

保育士は、これらの教材を活用し、以下のような役割を果たします。

- **観察とサポート:**

- 子どもたちがどのように教材を使うかを観察し、適切な支援を提供します。この子どもたちの好奇心を重視して観察と支援を行う教育手法は、オーストラリアにおける幼児教育理念の大きな特徴のひとつです。

- **学びの促進:**

- 教材を使った遊びの中で、子どもたちが新しい発見や経験を得られるよう導きます。

#### 4.4.3.3 国際的な応用可能性

日本の保育施設でも、これらの教材の考え方を応用することで、国際的な教育理念を導入する一助となります。特に、多文化教育や自然との触れ合いを重視した教材は、日本の保育において新しい視点をもたらす可能性があります。

### 4.5 日本やアジアの留学生が豪州で学ぶ意義

#### 4.5.1 多文化対応力の習得

オーストラリアの保育制度では、多文化教育がカリキュラムに組み込まれており、異なる文化的背景を持つ子どもへの対応スキルを学ぶことができます。このスキルは、グローバル化が進む日本やアジア諸国の保育現場において重要です。

#### 4.5.2 教育理念の実践的学び

- **柔軟性のある教育:**

- EYLF の理念に基づき、子どもの自主性を尊重する教育方法を習得。

- **QIP による継続的改善の文化:**

- 自らの教育実践を客観的に見直し、改善を続ける姿勢を学ぶ。

#### 4.5.3 キャリア形成への貢献

オーストラリアでの学びは、留学生が将来的に国際的な保育士として活躍するために必要な実践的なスキルを身につけることができます。オーストラリア資格の国際的な認知度は高く、アジア諸国を含む多くの地域で通用するスキルを身につけることができます。

---

## 4.6 まとめ

本章では、日本とオーストラリアの保育の教育理念と実践方法を比較分析しました。オーストラリアの EYLF は、子どもの自主性や探究心を育む柔軟な教育理念が特徴であり、日本は**規律や協調性を重視する集団教育**が中心となっ

ています。日本の保育士配置基準では、**保育士1人あたりの子どもの数が多く、個別ケアが難しい現状**が課題とされています。一方、オーストラリアは**少人数制を採用し、個別対応が可能な環境が整備**されています。

また、オーストラリアの**NQFとQIP**は、保育施設の質的向上を目的とし、定期的な評価と継続的な改善が求められます。教材面では**多文化教育や自然素材を活用した教育**が特徴的であり、**日本でも応用可能な視点**を提供します。さらに、オーストラリアでの学びは、日本やアジアの留学生にとって**多文化対応力を高め、国際的なキャリア形成に貢献**することが期待されます。

---

## 参照情報

1. 厚生労働省「保育士配置基準」(2023)
2. Early Years Learning Framework (EYLF) – Australian Government
3. National Quality Framework (NQF) – Australian Children’s Education & Care Quality Authority
4. ACECQA: Guide to the National Quality Standard
5. 日本保育協会「子どもの成長を支える保育の現場」(2022)

## 第5章 留学生向け支援体制と実習

### 調査内容と結果の要約

本章では、オーストラリアに留学する日本人学生を対象とした支援体制と実習プログラムを検討しました。調査では、特に学費や生活費の負担を軽減する奨学金の必要性や世界的にも珍しい就労可能な学生ビザ制度のメリットが確認されました。また、留学生が実習を通じて現地の保育現場に適応する過程で、スーパーバイザーの役割が重要であることが示されました。一方で、英語力不足や異文化適応が課題となることも明らかになりました。これらの課題に対応するためには、英語力の向上を含む事前学習や異文化教育の充実が不可欠です。

### 5.1 オーストラリア職業専門学校への留学プロセス

オーストラリアでは、保育士資格を取得して就労するために諸外国からの留学生が増加しています。豪州政府管理下にある職業専門学校(Registered Training Organisation, RTO)は、Certificate III や Diploma を取得するための実践的な教育プログラムを提供しており、多くの留学生が選択する進路の一つです。

#### 5.1.1 留学プロセスの流れ

##### 1. 情報収集と学校選択:

- 教育内容、立地、学費、実習プログラムの内容を基に学校を選定。
- 公立職業専門学校 TAFE (Technical and Further Education)、私立名門校 Charlton Brown、Imagine Education などの職業専門学校が人気。

##### 2. 入学申請:

- 英語力の証明 (IELTS スコアなど)、学歴証明書、推薦状を提出。
- 一部の学校では、簡単なインタビューやエッセイが求められる。

##### 3. 入学許可書 (Confirmation of Enrolment, CoE) の発行:

- 学校から入学許可が出ると、CoE が発行される。
- CoE は学生ビザ申請に必要な書類の一つ。

---

### 5.2 必要なビザ内容及び取得方法

オーストラリアで保育士資格を取得するために留学する際は、適切な学生ビザ (Subclass 500) が必要です。特に、保育等の専門課程に進学する場合、ビザ申請及び許可の前提である英語力証明 (例えば、IELTS スコア 5.5 以上) が鍵となります。なお、短期 (一般に 1 週間～最大 3 か月以内) の語学研修や、資格取得を目的としない研修や体験目的の短期保育実習に参加する場合は、観光ビザやワーキングホリデービザで構いません。なお、オーストラリアのビザ制度は頻繁に改廃があるため、最新の情報を確認する必要があります。(本項目での要件は、2024 年 12 月末時点)

### 5.2.1 学生ビザ (Subclass 500) の場合

- 申請要件:

1. CoE の提出。
2. オーストラリアでの生活費を賄う経済的能力の証明 (AUD 29,710 以上)。
3. 健康保険 (Overseas Student Health Cover, OSHC) の加入。

- 申請プロセス:

1. オンラインでアカウントを作成し、申請書を記入。
2. 必要書類 (パスポート、CoE、英語能力証明、資金証明) を添付。
3. 申請費用 (2024 年 7 月 1 日より AUD 1,600) を支払い、審査結果を待つ。

### 5.2.2 短期保育実習に参加する場合

オーストラリアの職業専門学校が提供する短期の研修プログラム (一般に Study Tour と称されることが多い) や、オーストラリアで保育事業展開する Global Sky Education Group が提供する短期保育実習プログラム (例: Hello Kids Trainee Program) に参加する場合は、以下のビザが適用されます。

- 訪問者ビザ (Subclass 600):

- 最長 12 週間の短期実習に適用可能。

- ワーキングホリデービザ (Subclass 417 または 462):

- 実習と観光の両方を目的とする場合に利用される。
- 

## 5.3 留学中の学習・実習内容

留学生は、座学と実習を組み合わせたカリキュラムで学びます。以下は、Certificate III および Diploma における主な学習内容です。

### 5.3.1 Certificate III in Early Childhood Education and Care

- 学習期間: 一般的に 46 週間

- 学習内容:

- 子どもの健康管理、安全対策。
- 基本的な教育活動の設計と実施。

- 実習要件:

- 160 時間の実習を通じて、現場での基本スキルを習得。

### 5.3.2 Diploma of Early Childhood Education and Care

- **学習期間:**一般的に 52 週間
- **学習内容:**
  - 高度な教育プログラムの設計、特別支援を必要とする子どもの対応。
  - リーダーシップスキルの習得。
- **実習要件:**
  - 280 時間以上の実習を通じて、施設運営やチームマネジメントを学ぶ。

### 5.3.3 留学生の一般的な学習・生活パターン(参考例)

- 授業スケジュールについて、クィーンズランド州の TAFE における ECEC Certificate III (1 年間)コースは週 2 日フルタイム (水・木)となっており、その他の平日はアルバイトや実習に充てることになっています。なお、RTO の一つ Skills Australia によれば、1 年間 (52 週間) のコースは 4 学期制を採っており、1 学期は学習期間 10 週間と期末休暇 3 週間からなる計 13 週間です。

	授業	その他
日曜日	休み	
月曜日		アルバイトや実習
火曜日		アルバイトや実習
水曜日	フルタイム授業	
木曜日	フルタイム授業	
金曜日		アルバイトや実習
土曜日	休み	

---

## 5.4 カリキュラム概要

オーストラリアの保育士資格取得プログラムは、学位ごとに設計され、理論と実践をバランスよく組み合わせています。以下では、Certificate III、Diploma、Bachelor のカリキュラムについて詳述します。

---

### 5.4.1 Certificate III in Early Childhood Education and Care

#### 学習目標

Certificate III は、保育の基礎を学ぶエントリーレベルの資格であり、以下のスキルを習得することを目的としています。

- 子どもの健康、安全、福祉の管理。
- 基本的な教育活動の設計と実施。
- 多文化対応力の基礎の習得。

#### 主要科目

1. **子どもの健康と安全(Support the health and safety of children)**
  - 安全対策、衛生管理、緊急時対応。
2. **遊びを通じた学び(Provide experiences to support children's play and learning)**
  - 子どもの興味に基づいた遊び活動の計画と実践。
3. **多文化教育の基礎(Work with diverse people)**
  - 異なる文化的背景を持つ子どもや保護者との関係構築。

#### 実習内容

- **実習時間:** 160 時間。
  - **主な活動:**
    - 子どもの食事や衛生管理の補助。
    - 基本的な遊び支援や学びの場の提供。
  - **スーパーバイザーの役割:**
    - 実習生の進捗を評価し、具体的なフィードバックを提供。
- 

### 5.4.2 Diploma of Early Childhood Education and Care

#### 学習目標

Diploma は、より高度なスキルを学び、保育リーダーや施設運営者として活躍するための資格です。以下のスキルを重点的に学びます。

- 教育プログラムの計画、実施、評価。
- 特別支援が必要な子どものケア。
- チームマネジメントや施設運営スキル。

## 主要科目

1. **教育プログラムの設計 (Develop and implement curriculum to foster learning and development)**
  - EYLF に基づいたプログラムの作成と評価。
2. **特別支援教育 (Provide care for children with additional needs)**
  - 発達障害や特別なケアが必要な子どもの支援。
3. **リーダーシップと運営 (Lead and manage a childcare team)**
  - チーム運営、スタッフ管理、保護者対応。

## 実習内容

- **実習時間:** 280 時間以上。
  - **主な活動:**
    - 教育プログラムの計画と実施。
    - 特別支援を必要とする子どもへの対応。
    - 保護者とのコミュニケーションの実践。
  - **スーパーバイザーの役割:**
    - 実習生がリーダーシップを発揮する機会を提供し、指導。
- 

### 5.4.3 Bachelor of Early Childhood Education

#### 学習目標

Bachelor は、保育士資格の中で最も高度な学位であり、教育理論と実践を統合するスキルを学びます。以下の能力を重視しています。

- 教育政策の理解と応用。
- リサーチスキルの習得。
- 多文化社会におけるリーダーシップ。

#### 主要科目

1. **教育理論と実践 (Theories of early childhood education and care)**
  - 発達心理学や教育理論を学び、実践への応用を研究。
2. **教育政策と法規制 (Education policy and legislation)**

○ NQF や EYLF に基づいた法的基準の理解。

### 3. 研究プロジェクト (Research in early childhood education)

○ 子どもの発達や教育プログラムの効果を分析するリサーチプロジェクト。

#### 実習内容

● **実習時間:** 680 時間以上。

● **主な活動:**

○ 施設全体の運営支援と改善提案。

○ 高度な教育プログラムの実践。

○ 子どもと保護者の関係性を深める活動の企画。

● **スーパーバイザーの役割:**

○ 実習生が独立して教育プログラムを実施できるよう指導。

○ 実習生の研究活動を支援。

表: Certificate III、Diploma、Bachelor の比較

項目	Certificate III	Diploma	Bachelor
主な対象	初心者	保育リーダー職を目指す者	教育政策や研究にも関心がある者
実習時間	160 時間	280 時間以上	680 時間以上
学習内容	基本スキル	高度なスキルとリーダーシップ	教育理論、政策、研究
キャリアパス	アシスタント保育士	チームリーダー、施設運営者	幼稚園教諭、教育リーダー

## 5.5 留学生の実習における課題と支援例

### 5.5.1 実習の意義と基本概要

Certificate III in Early Childhood Education and Care 及び Diploma の取得にあたって、実習はそのカリキュラムの中核を成しています。実習は、学んだ理論を実践に活かす貴重な機会であり、以下のような目標があります。

● 子どもの健康、安全、福祉の実践的な管理スキルを習得する。

- EYLF に基づいた教育プログラムの計画と実施を学ぶ。
- チームメンバーや保護者とのコミュニケーション能力を高める。

Certificate III では、少なくとも 160 時間の実習が必須とされ、多くの場合、職業訓練校が提携する保育施設で実施されます。

---

## 5.5.2 実習における具体的な課題

以下は、各職業専門学校及び Global Sky Education Group の保育施設に訪問した際のヒアリングに基づく課題を整理しました。

### 5.5.2.1 言語の壁

英語が母語ではない留学生にとって、保育現場で使用される専門用語や日常的な会話のスピードが大きな課題となります。

- 具体例:

- 保護者への報告やチーム内での意見交換が円滑に進まず、コミュニケーションの齟齬が発生する可能性がある。
- EYLF の理念を理解して実践する際、英語で書かれた指導要領や教材が難解と感ずる場合がある。

### 5.5.2.2 異文化適応

多文化社会であるオーストラリアでは、保育現場における文化的な期待や慣習が日本とは大きく異なります。

- 具体例:

- 日本では重視される集団行動や規律が、オーストラリアでは子どもの自主性を尊重するアプローチに置き換えられている。
- 多国籍・異文化の子どもたちとの関わりに戸惑う場面がある。

### 5.5.2.3 実習先との関係構築

スーパーバイザーやチームメンバーとの信頼関係が構築できず、十分なフィードバックを得られない場合があります。

- 具体例:

- スーパーバイザーが求めるスキルや基準に対する認識の違いが、評価の低下につながる可能性がある。
- チームメンバーから十分なサポートを得られず、孤立感を抱く場合がある。

### 5.5.3 実習先の見つけ方

#### 5.5.3.1 職業専門学校によるサポート

- **概要:** 多くの職業専門学校では、学生が実習先を見つけるためのサポートを提供しています。
  - **内容:** 提携している保育施設や企業リストの提供、実習先との連絡調整、履歴書作成支援など。
  - **事例:**
    - **TAFE:** 提携保育施設への実習配置を学校が手配。
    - **Charlton Brown:** 実習配置(Placement)を100%保証して手配。
    - **その他、保育系職業専門学校:** インターンシップコーディネーターが個別に実習先を紹介。
  - **利点:** 職業専門学校のネットワークを活用することで、学生がスムーズに実習先を確保可能。

#### 5.5.3.2 自己応募

- **概要:** 学生が直接保育施設や企業に応募する方法。
  - **内容:** 職業専門学校が提供する情報を活用しつつ、自身で実習希望先に連絡し、受け入れ条件を交渉。
  - **注意点:** 自己応募の場合、受け入れ条件の確認(保険、給与、スーパーバイザーの有無)が重要。

#### 5.5.3.3 公共機関や求人サイトの利用

- **概要:** 公共機関が提供するインターンシップ情報や、求人サイトを通じて実習先を探す方法。
    - **例:** オーストラリアでは「Seek」「Jobactive」などの求人サイトが活用される。
- 

### 5.5.4 実習中のサポート内容

#### 5.5.4.1 職業専門学校のサポート

- **種類:** 実習期間中の連絡窓口の提供、トラブル対応、指導内容の確認など。
  - **事例:** 一部職業専門学校では、実習期間中に定期的な面談を実施し、学生と実習先の間を調整。

#### 5.5.4.2 スーパーバイザーの配置

- **概要:** 実習生の指導や評価を担当するスーパーバイザーの配置。
    - **所属:** 一般的に、スーパーバイザーは実習先の保育施設に所属しています。訓練資格(Certificate IV in Training and Assessment)を持つ現場スタッフが担当することが多い。
    - **学校との連携:** スーパーバイザーが学生の進捗を学校に報告し、評価の一環とする。
-

### 5.5.5 実習中の給与の有無

実習は教育プログラムの一環とみなされ、無給で行われる場合が一般的だが、一部の大手運営者や保育施設では、実習中に給与が支払われるケースがあります。具体的事例としては、実習生が一部アドミニ業務を担当する場合、パートタイム雇用として給与を受け取る場合があります。なお、有給の場合は、事前に雇用契約を結ぶ必要があります。

---

### 5.5.6 現地教育機関の支援例

#### 5.5.6.1 英語力向上支援

多くの職業訓練校では、実習に向けた英語力を強化するためのプログラムを提供しています。

● 具体例:

- **英語ワークショップ:** 実習で頻出するフレーズや専門用語を学ぶ集中講座。
- **バディシステム:** 現地学生や経験豊富な保育士とペアを組み、実践的な会話練習を行う。

#### 5.5.6.2 異文化教育

実習前に異文化理解を深めるためのオリエンテーションが提供されています。

● 具体例:

- **文化的感受性トレーニング:** オーストラリアの保育文化や多文化社会でのエチケットを学ぶセッション。
- **シナリオベースの演習:** 保育現場で直面しうる場面をシミュレーションし、対応スキルを身につける。

#### 5.5.6.3 スーパーバイザーとの連携

教育機関は、実習先のスーパーバイザーと密に連携し、留学生への適切なサポートを促進します。

● 具体例:

- **定期的なフィードバックセッション:** スーパーバイザーが留学生の進捗状況を報告し、教育機関がその内容を基にアドバイスを提供。
  - **サポートガイドの提供:** 留学生が現場で直面する可能性のある課題を事前に共有し、スーパーバイザーが対応できるよう指導。
- 

### 5.5.7 課題克服に向けた取り組みの重要性

留学生が実習を通じて成功を収めるためには、以下の取り組みが重要です。

1. **実習前の事前準備の充実:** 英語力強化や文化的理解を深めるためのプログラムを、日本での学習段階から導入する。
2. **教育機関と実習先の連携強化:** 留学生一人ひとりに合わせた個別支援を提供し、スーパーバイザーとの定期的なコミュニケーションを図る。
3. **メンタルサポートの提供:** 実習中に感じるストレスや孤立感を軽減するための相談窓口を設置する。

---

## 5.6 正規留学以外の短期留学の事例

オーストラリアにおける保育士資格取得を目指す正規留学のほかに、短期留学の事例を調査した。現地職業訓練校である Charlton Brown や Imagine Education では、1 週間から数週間単位の短期留学プログラムのほか、日系の保育事業者 Globak Sky Education が提供する Hello Kids Trainee Program は短期保育実習プログラムで、留学生が実践的なスキルを短期間で学ぶ機会が提供されていることを確認しました。

### 5.6.1 プログラムの概要と目的

- **現地の教育理念を体験:**
  - EYLF に基づいた教育プログラムの実践。
- **多文化対応スキルの習得:**
  - 異なる文化的背景を持つ子どもたちとの交流。

### 5.6.2 必要なビザ

- 訪問者ビザ(いわゆる観光ビザ)またはワーキングホリデービザが一般的。

### 5.6.3 実習概要

- **期間:** 2 週間から 12 週間。
- **活動:**
  - 保育施設での遊び支援、教育プログラムの補助。
  - 地域行事やイベントへの参加。

ただし、6 日以上の実習を行う場合は、18 歳未満の子どもと関わる仕事に就く際に必要な無犯罪歴チェックを含む許可申請が必要です。オーストラリアのクィーンズランド州ではブルーカードと呼ばれており、他州も同様のチェックシステム(Working with Children Check)での申請とカード取得が必須となります。

#### 5.6.4 1週間の短期保育実習例

日数	曜日	主な行動計画
1日目	土曜日	日本各地より出発、夜行便にて東京発ブリスベンへ。
2日目	日曜日	到着後、コアラ園往訪。昼食後ゴールドコーストへ陸路で移動。
3日目	月曜日	午前中、センター長と日本人保育士によるオリエンテーション。 午後、チームビルディングを兼ねてパレット・プレイ(遊具制作)を体験。
4日目	火曜日	終日、保育実習。夕方、大手スーパーマーケット見学ツアー。
5日目	水曜日	終日、保育実習。夕方、保育系職業専門学校見学。
6日目	木曜日	終日、保育実習。夕方、自由行動。
7日目	金曜日	午前中、保育実習。午後、振り返りと教職員らとBBQ。
8日目	土曜日	早朝ゴールドコースト出発、ブリスベンより昼便で帰国。

#### 5.7 まとめ

本章では、オーストラリアに留学する日本人学生を対象とした支援体制と実習プログラムについて検討しました。調査の結果、学費や生活費の負担を軽減する奨学金や、就労可能な学生ビザ制度のメリットが確認されました。また、留学生が現地の保育現場に適応する過程では、スーパーバイザーの役割が重要であることが示されました。一方で、英語力不足や異文化適応の課題が明らかになりました。

保育実習は、留学生が保育士としてのスキルを習得するための重要な機会ですが、言語や文化的な壁、現地施設との連携において課題が多いことが明らかになりました。これらの課題に対応するため、教育機関が提供する具体的な支援策を活用し、留学生が成功するための環境を整備することが必要不可欠です。

具体的には、英語力向上のためのサポート、異文化教育の充実、スーパーバイザーとの定期的な連携などが求められます。また、職業専門学校や保育施設が実習先の確保やメンタルサポートを提供することで、留学生の適応を促進できます。こうした支援を充実させることで、留学生の成功を支え、国際的に活躍できる保育人材の育成につながると考えられます。

#### 参照情報

1. Australian Government Department of Home Affairs – Visa Information
2. Australian Skills Quality Authority (ASQA)
3. Imagine Education Official Website
4. Global Sky Education: Hello Kids Trainee Program Overview
5. 厚生労働省「保育士需給調査報告書」(2023)

## 第6章 資格取得後のキャリアパスと就職機会

### 調査内容と結果の要約

本章では、資格取得後のキャリアパスと就職機会について、日本とオーストラリアの双方の視点から分析しました。調査の結果、オーストラリアでは保育士資格が高い需要を持ち、特に多文化社会における経験が評価されています。一方で、就労ビザ取得に課題があり、資格取得だけでは長期的な就労が難しい現状も確認されました。日本では、国際的な経験を持つ保育士がインターナショナルスクールやプリスクール、教育コンサルタントとして活躍できる可能性が示されています。

### 6.1 オーストラリアにおけるキャリアパス

#### 6.1.1 キャリアパスの概要

オーストラリアで保育士資格を取得した後、以下のようなキャリアパスが一般的です。

- アシスタント保育士(Childcare Assistant):

- Certificate III 取得者に適したエントリーレベルの職種で、日常的な子どものケアや活動の補助を担当します。

- リードエデュケーター(Lead Educator):

- Diploma 取得者が目指す職種で、教育プログラムの設計・実施やチーム管理を行います。

- 幼稚園教諭(Early Childhood Teacher:ECT):

- Bachelor 取得者に適した職種で、Early Years Learning Framework(EYLF)に基づいた教育活動の実施と施設運営のリーダーシップを発揮します。

#### 6.1.2 就職機会の現状

オーストラリアでは、本調査冒頭(第1章)にて確認した通り、必要な保育士総数に対する求人(空席)割合22%にも上る保育士不足が深刻な状況であり、資格取得者の需要が高まっています。政策的にも2025-26年の2年間で政府助成により保育士の基本給を15%引き上げることが打ち出されています。

- 多文化社会への対応:

- 異なる言語や文化的背景を持つ子どもへの対応が求められ、多文化対応力を持つ保育士が重宝されています。

- 早期教育への投資:

- 政府による保育補助金の拡大が進み、保育施設の需要が増加しています。

- Diploma以上の有資格者に対する高い需要:

- National Quality Framework(NQF)の基準により、各センターの教職員の半数がDiploma以上の資格を保持している必要があるため、Diploma以上の有資格者が優遇される傾向があります。

## 6.2 日本におけるキャリアパス

### 6.2.1 キャリアパスの概要

オーストラリアの保育士資格を持つ人材は、日本国内でも以下のようなキャリアパスが考えられます。

- **インターナショナルスクール、プリスクール教員:**
  - 多文化対応力や英語力を活かして活躍できます。ネイティブ講師と日本人保育士の間を取り持つ役割も期待される場面が多いようです。
- **研修講師やコンサルタント:**
  - オーストラリアの教育理念や実践経験を活用し、日本の保育現場を支援します。
- **英語やグローバル教育を取り入れる保育施設の運営者:**
  - 国際的な知見を取り入れた施設運営を目指します。

### 6.2.2 就職機会の現状

- **英語力を活かした需要:**
  - 日本国内での英語教育の需要拡大に伴い、英語が堪能な保育士のニーズが増加しています。
- **多文化対応力の評価:**
  - 外国籍の子どもが増加する中、文化的な背景に配慮した保育が求められています。

---

## 6.3 豪州の留学促進事業実施機関の取り組みと国際人材の事例

### 6.3.1 留学促進事業実施機関の一つで日系の Global Sky Education の取り組み事例

Global Sky Education は、オーストラリアを主要拠点とし、日本の学生や社会人向けに異文化・就労体験プログラムを提供しています。

- **Hello Kids Trainee (短期保育実習プログラム):**
  - 保育士や幼稚園教諭としてのキャリアアップを目指す方や、オーストラリアで保育士として働きたい方、バイリンガル保育士を目指す学生や社会人を対象に、直営のアーリーラーニングセンター・チャイルドケアセンターで短期間(1週間)の体験実習の機会を提供しています。
- **Global Career Pathway (正規留学・就労支援プログラム):**
  - 幼児教育・保育分野におけるグローバル人材を育成し、オーストラリア現地および日本への帰国後の就労支援までを行う一貫したサポートプログラムです。具体的には、日本国内で IELTS スコア 5.5 以上を取得できるレベルまで個人レッスンをを行い、同社提携校である Imagine Education もしくは Charlton Brown にて Certificate III を取得する際には現地の同社保育施設での実習を受け入

れ、(年齢制限に応じて)ワーキングホリデービザを活用した現地での就労機会もしくは帰国後の就職先推薦を行うものです。

### 6.3.2 グローバル保育士の事例

Global Sky Education のプログラムを通じて、オーストラリアで保育士資格を取得し、現地で就職した日本人の事例を紹介します。

#### 事例 1: 酒井初音さん

##### ● 背景:

- 日本の大学で幼児教育を専攻後、Global Sky Education の Global Career Pathway プログラムに参加。オーストラリアで Diploma of Early Childhood Education and Care を取得し、現在はゴールドコーストのチャイルドケアセンターで Lead Educator として勤務しています。

##### ● コメント:

「オーストラリアの多文化環境で働くことで、異なるバックグラウンドを持つ子どもたちへの理解が深まりました。日本で学んだ知識とオーストラリアでの実践経験を融合させることで、より質の高い保育を提供できると感じています。」

## 6.4 就労ビザ取得の課題

### 6.4.1 就労ビザの種類と要件

オーストラリアで保育士として長期的に働くには、就労ビザの取得が必要不可欠です。しかし、以下のビザ申請に関して課題が存在します。なお、オーストラリアのビザ制度は頻繁に改廃があるため、最新の情報を確認する必要があります。(本項目での要件は、2024年12月末時点)

#### Temporary Skill Shortage Visa (Subclass 482)

##### ● 要件:

- 雇用主スポンサーが必要。
- 指定スキルリスト (Short-Term Skilled Occupation List) に「保育士」が含まれており申請可能。

##### ● 課題:

- 多くの中小規模の保育施設は、スポンサーシップに必要な 73,000 ドル以上の年俸とビザ申請費用 (3,000~4,000 ドル程度) を提供する経済的余裕がないため、申請者は雇用主探しに苦勞する。

#### Skilled Nominated Visa (Subclass 190)

##### ● 要件:

- 州政府の推薦が必要。(極めてハードルは高い。)
- 高い英語能力 (IELTS 7.0 以上) が求められる。

● 課題:

- ポイント制 (SkillSelect) で高スコアが必要なため、学位が低い場合には不利。

ワーキングホリデービザ (Subclass 417/462)

● 特徴:

- 一時的な就労を可能とするが、就労期間に制限がある (同一雇用主で最長 6 か月、かつ、最長 3 年間の滞在が可能であるものの、年次を重ねるためには 8 週間の農作業従事が必要)。日本国籍の場合、31 歳の誕生日を迎えるまでの年齢制限がある。

● 課題:

- 長期的なキャリア形成には不向きであるが、多くの留学生在が一時的にこのビザを利用せざるを得ない状況にある。
- 日本人がワーキングホリデービザで滞在した後の進路に関する定量的データは、現時点で公的な統計情報が限られており、具体的な数値を提供することが難しい状況ですが、Global Sky Education の現地肌感的には、おそらく 6~7 割程度は日本に帰国、2~3 割程度が滞在経験を基に学生ビザや就労ビザ、パートナービザなどに切り替えて滞在を継続、残りの 1 割はニュージーランドや他国へのワーキングホリデープログラムを利用すると推測されます。さらに、ワーキングホリデービザ取得者が従事する主な就労分野として、飲食業 (日本食レストラン等)、農業・酪農業 (収穫作業等)、小売業 (販売、棚卸作業等)、教育・保育 (日本語教師やチャイルドケア等)、観光業 (ガイドやインストラクター等) での業種が挙げられますが、具体的な割合を示す公式な統計は見つかりませんでした。なお、いずれの場合も、語学力や専門スキル、異文化適応力が求められる豪州の労働市場において苦勞する場面が多い印象である。

---

## 6.5 資格取得後の現状と将来への展望

資格を取得した留学生在が直面する課題を踏まえ、以下の現状と展望を述べます。

### 6.5.1 現状

● 資格の有効活用:

- 保育士資格は国際的に認知されているものの、まだ日本では NQF や EYLF の知識を活かせる場が限定的。

● 文化的な壁:

- オーストラリアでの就労には、文化的適応が必要であり、特に保護者や職場の同僚とのコミュニケーション能力が重要。

### 6.5.2 将来への展望

● グローバルなキャリア形成:

- 多文化教育の経験を基に、国際的な保育士ネットワークを構築し、地域社会や国際教育分野で貢献する可能性。

● 日本国内での多文化対応力の活用:

- 外国籍の子どもが増加する日本において、国際経験を活かした保育士の役割が今後さらに重要になる。

表: 就労ビザの要件と課題の比較

ビザの種類	主な要件	主な課題
Subclass 482 (TSSビザ)	雇用主スポンサー、職業リスト該当	スポンサー提供が困難
Subclass 190 (州政府推薦ビザ)	高スコア、州政府推薦	ポイント制の競争が激しい
Subclass 417/462 (ワーホリ)	年齢制限(18~30歳)、観光を主目的とすること	長期就労やキャリア形成には不向き

参照情報

1. Australian Government Department of Home Affairs – Visa Information
2. Early Years Learning Framework (EYLF) – Australian Government
3. National Quality Framework (NQF) – ACECQA
4. Global Sky Education – Official Website
5. 厚生労働省「保育士需給調査報告書」(2023)

## 第7章 グローバル保育士の育成と展望

### 調査内容と結果の要約

本章では、日本とオーストラリア間のグローバル保育士の育成について、その意義と可能性を分析しました。調査では、多文化教育や英語教育に対応するため、国際保育士の需要が高まっていることが明らかになりました。さらに、日本の伝統的な遊びや文化をオーストラリアの保育現場に導入することで、異文化交流と知育を両立させる教育モデルの可能性が示唆されました。今後は、教育制度や文化を融合させた新しい教育プログラムの提供が期待されます。

#### 7.1 グローバル保育士の重要性

##### 7.1.1 グローバル化する保育の現状

保育の分野では、国際的な視点やスキルを持つ人材の需要が拡大しています。その背景には以下の要因があります。

- 多文化社会の進展:

- 日本でも外国籍の子どもの割合が増加しており、多文化対応力が求められています(総務省「外国人住民統計」2023)。

- 国際的な教育基準の導入:

- オーストラリアのNQFやEYLFは、世界中の教育現場で注目されており、日本でも参照する動きが見られます。

##### 7.1.2 国際人材がもたらす価値

国際的な教育経験を持つ保育士は、以下のような付加価値を提供できます。

- 異文化理解と対応力:

- 多様な文化的背景を持つ子どもや保護者に対応できる。

- 教育革新への貢献:

- 海外での経験を基に、新しい教育手法やプログラムを提案可能。
- 

#### 7.2 日本とオーストラリア間のキャリア形成の相乗効果

##### 7.2.1 日本の保育における国際視点の必要性

- 多文化教育の強化:

- 外国籍の子どもが増加する中、異文化対応力を持つ人材が求められています。

- 英語教育のニーズ拡大:

- 英語が堪能な保育士の需要が増加しており、国際経験が強みになります。

## 7.2.2 オーストラリアの教育現場における日本人の活躍

### 7.2.2.1 日本の歴史・文化的交流の意義

オーストラリアは多文化社会であり、教育現場ではさまざまな文化を尊重し、取り入れる姿勢が広く受け入れられています。その中で、日本の歴史や文化を教育活動に活用することは、子どもの知育や異文化理解に貢献します。

#### 1. 日本の伝統的な遊びの知育効果

- **折り紙:** 空間認識能力や創造性を育てる遊びとして注目されています。特に、数学的思考や手先の器用さを養う効果が期待されています。
- **けん玉やお手玉:** 手と目の協調性を育む遊びとして、身体的スキルの向上に寄与します。
- **凧作り:** 子どもたちが自分でデザインし、飛ばすプロセスを通じて、創造性と科学的な考察力を学ぶことができます。

#### 2. 日本文化を通じた異文化理解

- **季節の行事:** 七夕やひな祭りを通じて、日本の季節感や伝統行事を紹介することで、異文化に対する理解を深める活動が実施されています。
- **絵本の読み聞かせ:** 「桃太郎」や「かぐや姫」などの日本の昔話を活用して、物語の中で倫理や教訓を学ぶ機会を提供します。

### 7.2.2.2 オーストラリア教育現場への具体的な貢献

日本語及び文化を基にした知育活動は、オーストラリアの教育現場において以下のような形で貢献しています。

#### ● 日本語教育のサポート:

- 親日的で対日輸出の多いオーストラリアでは、日本語を学ぶ子どもや家庭が多く、日本人保育士がその支援において大きな役割を果たしています。

#### ● 多文化教育の補完:

- 日本の伝統や遊びを取り入れることで、子どもたちが多様な文化的視点を学ぶ機会を提供。

#### ● 新しい知育プログラムの開発:

- 日本の文化的要素を取り入れた教育プログラムが、EYLF の「Belonging(所属感)」や「Being(現在を生きる)」と調和しやすい形で導入されています。

#### ● 地域社会とのつながり:

- 日本文化をテーマにしたイベント(例: ジャパンフレンズデー、日本食フェスティバル、和太鼓演奏会、日本舞踊発表会等)が、保育施設と地域社会を結びつける役割を果たしています。

## 事例紹介: オーストラリア保育施設での活用

### 例 1: クイーンズランド州 Global Sky Education のセンター

#### ● 活動内容:

- 折り紙を使った動物作りや、七夕の短冊飾りを子どもたちと一緒に作成。

#### ● 成果:

- 子どもたちの集中力や細かい作業能力が向上し、親からも高評価を受けた。
- 保護者が子どもの作品を通じて日本文化を学ぶ機会となり、家庭内での異文化交流も促進された。

### 7.2.3 キャリア形成のモデルケース

- オーストラリアで保育士資格を取得後、現地の保育施設で働き、今後は、帰国後にはインターナショナルスクールやプリスクール活躍する人材が増加することも期待されます。
  - 名古屋短期大学では、オーストラリアの保育資格を取得するための留学プログラムを開発し、2009 年度から 2014 年度までに 66 名の学生がこのプログラムを通じてオーストラリアの保育資格を取得しています。これらの卒業生の多くが日本に帰国して就職しています。
- 

## 7.3 グローバル保育士育成の課題と可能性

### 7.3.1 課題

#### 1. ビザや資格の相互認定:

- 日本とオーストラリア間での保育士資格の相互認定が未整備であり、人材移動に障壁があります。

#### 2. 文化的な適応:

- 異なる文化や教育環境への適応が求められる。

#### 3. 言語の壁:

- 高い英語能力が必要であり、特に IELTS スコアの要件が留学生の負担となっています。

### 7.3.2 可能性

#### 1. 相互補完的な教育モデルの構築:

- 日本の集団活動や規律重視の教育理念と、オーストラリアの個別最適化を組み合わせた新しい教育モデルづくりが可能です。

#### 2. デジタル技術の活用:

- オンライン学習やバーチャル実習を通じて、物理的な制約を超えた国際的な教育が可能になります。

---

## 7.4 グローバル保育士の将来展望

### 7.4.1 グローバルキャリア形成の促進

日本国内において、オーストラリアの保育士資格保持者は、特にインターナショナルスクールやプリスクール、英語保育を提供する施設で高い評価を受けています。

#### 7.4.1.1 保育施設での評価

- **英語力の強み:**

- 英語保育を提供する施設では、ネイティブレベルの英語を使いこなせる保育士が求められており、オーストラリア資格保持者はその要件を満たすことが多いです。

- **多文化教育の実践力:**

- 外国籍の子どもが増加する日本において、多文化教育に関する知見を活かした保育士が重宝されています。

- **保護者の信頼獲得:**

- 国際的な資格を保持していることが、保護者にとって安心材料となり、施設のブランド価値向上にもつながります。

#### 7.4.1.2 一般的なキャリア形成

- **インターナショナルスクールやプリスクールでの勤務:**

- 東京や大阪など都市部では、英語力と国際経験を活かした職場が増加しており、オーストラリア資格保持者が活躍しています。

- **教育コンサルタント:**

- 保育施設の国際化支援や多文化教育プログラムの開発に関与する例が増えています。

---

## 7.4.2 日本での活用の課題

### 7.4.2.1 資格認定の制限

オーストラリアの保育士資格は日本国内では直接認定されず、日本の国家資格である保育士資格と互換性がないため、就職の際に課題が生じる場合があります。

- **解決方法:**

- 日本で保育士資格を取得するために国家試験に挑戦する必要があります。ただし、オーストラリアでの学びと経験が実技や筆記試験で有利に働く場合もあります。

#### 7.4.2.2 給与や待遇の差

日本の保育士全体における給与水準が比較的低い点が、キャリア形成における障壁となることがあります。

##### ● 現状:

- 国際的な経験を持つ保育士が、その経験に見合う待遇を得られない場合があり、インターナショナル保育園や都市部の施設に就職する傾向があります。

#### 7.4.2.3 異文化適応力の活用範囲

- 多文化教育の需要は都市部に集中しており、地方の保育施設では活用の機会が限定される場合があります。

したがって、オーストラリアの保育士資格を日本国内で部分的に認定し、補完的なトレーニングや試験を経て日本の保育士資格を取得できる仕組みを検討する必要があります。

#### 図: 日本とオーストラリアの保育士キャリア形成のフロー

1. 日本で保育士資格取得 → 2. オーストラリアで Diploma/Bachelor 取得 → 3. オーストラリアで就労 → 4. 日本または他国で国際保育士として活躍

#### 表: 日本とオーストラリアの教育環境比較

項目	日本	オーストラリア
保育士配置基準	集団ケアが中心	個別ケアが可能
教育理念	規律と協調性の重視	自主性と探究心の尊重
資格取得後のキャリアパス	国内就職中心	国内および国際的なキャリア形成が可能

#### 参照情報

1. Australian Children's Education & Care Quality Authority (ACECQA)
2. Early Years Learning Framework (EYLF) – Australian Government
3. Global Sky Education Official Website
4. 厚生労働省「保育士需給調査報告書」(2023)
5. 総務省「外国人住民統計」(2023)

## 第8章 留学生の学費・生活費の課題と対応策

### 調査内容と結果の要約

本章では、オーストラリアへの留学にかかる学費と生活費の課題を中心に分析しました。調査では、学費が Certificate III で年間 AUD 10,000～15,000、Diploma では AUD 15,000～20,000 に達し、生活費の高騰と相まって留学生の経済的負担が増加していることが判明しました。一方、学生ビザでのパートタイム就労が留学生の生活を支える有効な手段であることも確認されました。この課題への対応として、奨学金制度の拡充や生活支援の強化が求められます。

### 8.1 留学に必要な費用の概要

#### 8.1.1 学費の現状

オーストラリアでの職業訓練校(Vocational Education and Training (VET)や Registered Training Organisation (RTO))への留学費用は近年急激に高騰しています。Certificate III や Diploma of Early Childhood Education and Care を提供するプログラムの学費も高騰しています。

##### ● 学費の相場:

1. Certificate III: AUD 10,000～15,000(年間)。
2. Diploma: AUD 15,000～20,000(年間)。
3. 一部の大手 RTO では、年間 AUD 25,000 以上の学費が必要となる場合もあります。

##### ● 学費の上昇要因:

1. 教育機関の運営費の増加。
2. 教育プログラムの高度化と資格基準の改定。

#### 8.1.2 生活費の現状

オーストラリアの主要都市では、生活費の高騰が留学生にとって大きな負担となっています。

##### ● 賃料の上昇:

- 2023年のデータによると、シドニーやメルボルンでの1ベッドルームのアパートメントの賃料は、平均で AUD 400～600/週 (Domain Housing Report, 2023)。
- 都市別・住居タイプ別の賃料水準比較(1週間あたり)

	学生寮	シェアハウス	ホームステイ
シドニー	\$480～	\$245～	\$231～
メルボルン	\$285～	\$200～	\$252～
ブリスベン	\$299～	\$270～	\$175～
ゴールドコースト	\$300～	\$265～	\$259～

(出典)Global Sky Education 調べ。各地の住居タイプ別にウェブにて空室検索を行い、最も安価なものを記載した。

● **その他の生活費:**

- 食費: 月額 AUD 300～500。
- 公共交通費: 月額 AUD 120～200。
- 健康保険(Overseas Student Health Cover, OSHC): 年間 AUD 500～800。

## 8.2 課題の背景と影響

### 8.2.1 留学費用の高騰

学費および生活費の増加により、留学生が以下の課題に直面しています。

1. **経済的負担の増大:**

- 留学費用を自己負担する学生にとって、長期的な負担が計り知れません。

2. **教育機会の制約:**

- 特に中低所得層の留学生が、高騰する費用のために進学を断念するケースが増加。

### 8.2.2 生活費の高騰

30年以上にわたって右肩上がりの成長を遂げてきた豪州においては、足元の賃料や物価が一段と上昇しており、留学生の生活を圧迫しています。

● **住居の確保の難しさ:**

- 主要都市での住宅不足により、留学生が安全で手頃な住居を見つけるのが難しくなっています。

● **物価高騰の影響:**

- 食料品や日用品の値上げが、生活費全体に影響を及ぼしています。

## 8.3 就労可能な学生ビザの活用

### 8.3.1 学生ビザでの就労可能性

オーストラリアの学生ビザ(Subclass 500)では、学業とパートタイム就労の両立が可能です。一般に学生ビザでの就労には制限があり(例:米国は学内のみ認められる)、仮に就労できても週に20時間まで(英国、カナダ、ニュージーランド等)となっています。

- 就労時間の制限:

- 学期中は2週間で合計48時間まで、休暇期間中は制限なしで就労可能。

- 主な就労先:

- ホスピタリティ産業(レストラン、カフェなど)。
- 小売業(スーパーマーケット、ショップスタッフ)。
- 一部の学生は、保育施設でのアシスタントとしても働いています。

### 8.3.2 就労による生活費を補う実例

- 平均時給:

- パートタイムの時給はAUD 20~30(Fair Work Ombudsman, 2023)。

- 月間収入の目安:

- 学期中: AUD 1,600~2,400。
- 休暇期間中: AUD 3,200~4,800。

就労収入は、賃料や生活費の補助となり、多くの留学生がこの制度を利用しています。

---

## 8.4 留学生支援の具体例

### 8.4.1 教育機関の奨学金制度

- 奨学金の種類:

- 学業成績優秀者向け奨学金。
- 特定分野(保育や教育)を対象とした奨学金。

- 事例:

- Imagine Education では、年間最大AUD 5,000の奨学金を提供。

### 8.4.2 安価な住居の提供

- 学生寮の活用:

○ 教育機関が提供する学生寮は、市場価格よりも安価で安全。

● ホームステイプログラム:

○ 地元家庭との交流を通じて、文化的経験を深めながら低コストで住居を確保。

### 8.4.3 地域コミュニティの支援

● 留学生向けイベント:

○ 地域コミュニティが主催する交流イベントを通じ、生活や就労に関する情報を共有。

---

#### 図: 留学費用と生活費の内訳(年間)

項目	費用(AUD)
学費	15,000~25,000
賃料	20,800~31,200
食費	3,600~6,000
公共交通費	1,440~2,400
健康保険	500~800
合計	41,340~65,400

---

#### 参照情報

1. Australian Government Department of Home Affairs – Student Visa Information
2. Domain Housing Report, 2023
3. Fair Work Ombudsman, 2023
4. Imagine Education Official Website
5. 厚生労働省「保育士需給調査報告書」(2023)

## 第9章 提携校設置の意義と課題

### 調査内容と結果の要約

本章では、オーストラリアの職業訓練校(VET)との提携校設置の意義と課題について分析しました。調査の結果、提携校を通じた教育交流は、学生に多様な学びの機会を提供し、国際的なキャリア形成を支援する上で重要であることが明らかになりました。また、両国の教育機関が協力して異文化適応力や英語力を強化する事前学習プログラムを構築する意義が示されました。一方で、財政的負担や文化的適応の課題も提起され、これらの克服には政策的な支援が必要であると結論づけました。

### 9.1 提携校設置の背景と目的

#### 9.1.1 背景

オーストラリアでは、職業教育とトレーニングの仕組みが労働市場と教育機関を結びつける重要な役割を果たしています。日本の教育機関がオーストラリアの職業専門学校(VET: Vocational Education and Training、RTO: Registered Training Organisation)と提携することで、以下の目的が達成されます。

- 国際教育の推進と教育機会の拡大:

- グローバル人材の育成を通じた社会貢献。
- 学生に多様な学びの選択肢を提供。

- 文化交流の促進:

- 異文化理解を深め、両国の相互関係を強化。

- 新たなキャリアの提供:

- オーストラリアにおける就労機会や日本に帰国後のグローバル保育士としての活躍機会を提供。

#### 9.1.2 提携のメリット

- 日本の教育機関にとって:

- 国際的な教育カリキュラムの導入。
- グローバルキャリア形成を支援するプログラムの提供。

- オーストラリアの教育機関にとって:

- 外国人学生の増加による多文化的視点の強化。
- 国際交流活動の促進。

## 9.2 日豪間の提携事例

### 9.2.1 名古屋文化学園保育専門学校 国際こどもコース

- 幼児教育の国際化に貢献できる保育者を目指すコースで、同学園「総合こどもコース」(2年制)のカリキュラムをベースに、保育英語、英会話、国際理解、多文化共生などを学び、新しい時代に相応しい人を養成するものとされています。同校独自のオーストラリア保育実習ツアー(1年次に20日間)には全員が参加することが奨励されています。
- 同校と提携関係にある Imagine Education に指定校推薦枠で進学して、豪州保育士資格(サーティフィケートⅢ)を取得、そのままオーストラリアの園に就職するという進路もあります。

### 9.2.2 桜花学園大学 教育保育学部 国際教養こども学科

- 日本とオーストラリアの2か国で保育・幼児教育に関する3つの資格・免許(保育士資格、幼稚園教諭一種免許状、Certificate III in Early Childhood Education and Care)を4年間で取得することを目指す学科です。短期・長期の2回の必修留学が特徴であり、1年次に海外の保育施設での実習を兼ねた短期留学に参加し、3年次にはオーストラリアの保育士資格取得のために約11か月の長期留学に参加します。
- 卓越した奨学金制度を有しています。入学試験の成績上位者を対象とし、年間70万円を給付します。2年次以降も条件に応じ継続して給付、卒業後の返済は不要という独自の奨学金制度があります。

#### 【桜花学園奨学金制度】

<https://www.ohkagakuen-u.ac.jp/nyusi/dream-support/>

---

## 9.3 日本からの留学生に必要な準備

### 9.3.1 英語力向上の重要性

オーストラリアで成功するためには、IELTS スコア 5.5 以上の英語力が必要とされています。日本での在学中に英語力を高めるため、以下の取り組みを推奨します。

#### 1. アカデミック英語の強化:

- 専門用語や実習で使う英語を習得。

#### 2. 試験対策:

- IELTS 模擬試験の実施と定期的な評価。

#### 3. 実践的な会話練習:

- 現地での生活や職場環境を想定した会話スキルを習得。

## 9.3.2 事前学習と異文化理解

### ● 事前学習:

- オーストラリアの教育理念(EYLF)や NQF について学ぶことで、現地の教育環境にスムーズに適応。

### ● 異文化理解:

- 日本とオーストラリアの教育文化の違いを理解し、柔軟な対応力を養う。
- 

## 9.4 教育機関同士の連携と重要性

### 9.4.1 全豪共通の教育基準

オーストラリアでは、単位相互認定など全国共通の教育制度や職業訓練制度による全豪・州単位の資格制度が整備されています。この枠組みは、教育機関間の連携を促進し、以下のメリットを提供します。

#### 1. 資格の互換性:

- RTO 間で取得した単位は互換性が認められ、進路変更が柔軟。

#### 2. 教育の質の均一化:

- 地域差を超えて、高品質な教育が提供される。

### 9.4.2 日本との連携の可能性

#### ● 共同プログラムの開発:

- 日本の教育機関と RTO が共同で開発したプログラムを提供してもらい、日本に居ながらして英語で履修できる環境を整備する。

#### ● 短期留学と交換留学:

- 日本の学生がオーストラリアの教育を体験し、現地の学生が日本文化を学ぶ機会を設ける。
- 

## 9.5 提携校設置における課題

### 9.5.1 制度・運営的課題

- 日本とオーストラリアの保育士資格制度は異なり、日本の専門学校で学んだ内容がオーストラリアの資格取得に直結しないため、オーストラリアの職業専門学校(RTO)とカリキュラムを調整して両国で通用する学習プログラムを設計する必要がある。
- 資格相互認定の仕組み(例:日本の専門学校での2年間の学習をオーストラリアの Diploma と一部互換)を確立するための交渉が必要である。

- オーストラリアでの保育士資格(Diploma や Bachelor)を指導するには、現地の教育資格を持つ教員が必要となるため、オンラインで補完できる可能性を模索する必要がある。(現在、豪州教育省はオンラインでの受講を単位認定していない。)

## 9.5.2 言語と文化の壁

- 留学生が英語力不足により教育を十分に活用できない可能性。
- ビザ取得、現地生活全般、異文化適応における支援体制の整備が求められる。滋慶学園グループの様に駐在員を配置して、短期留学・実習の受入を実施するような体制整備が必要である可能性がある。

---

## 9.6 提携校設置の展望と提言

### 9.6.1 国際的な人材育成の拠点化

提携校を設置することで、日本とオーストラリア間の人材交流を強化し、グローバル人材育成の拠点としての役割を果たします。

### 9.6.2 日本からの留学生支援の強化

1. 留学準備プログラムの充実:
  - 英語力向上と事前学習を支援するオンラインプログラムの提供。
2. 留学中のサポート強化:
  - 留学生向けのカウンセリングや生活支援を整備。

## 9.7 提携校設置後の継続的な評価と改善

提携校の設置は、教育の質向上や地域社会への貢献を目指した重要な取り組みですが、その成功は設置後の継続的な評価と改善にかかっています。これにより、設置の目的が達成され、効果が最大化されるだけでなく、新たな課題に迅速に対応することが可能となります。本節では、日本の高校、大学、専門学校の留学制度の優良事例を参照しながら、提携校設置後の評価と改善の必要性と手法について分析します。

---

### 9.7.1 継続的な評価と改善の必要性

#### 9.7.1.1 教育効果の維持・向上

提携校の教育プログラムが学生の学びやキャリア形成に実際に貢献しているかを評価し、その効果を最大化するための改善が必要です。

- **例:** 日本の早稲田大学国際教養学部では、学生の多国籍環境での学びを定期的にアンケート調査や学業成績で評価し、カリキュラムを改善しています。

### 9.7.1.2 地域社会への影響測定

提携校が地域社会に与える影響(経済、教育、文化的な貢献)を測定し、地域のニーズに即した活動を展開する必要があります。

- **例:** 立命館アジア太平洋大学(APU)は、地域住民との交流イベントを実施し、その成果をフィードバックに活用しています。

### 9.7.1.3 持続可能性の確保

提携校の運営が長期的に持続可能であることを確認するため、財政面や学生数の変動を含む定量的なデータを用いた評価が重要です。

- **例:** 京都工芸繊維大学のグローバル留学プログラムでは、留学参加率と就職率の推移を定期的に分析し、プログラムの拡充に役立てています。

---

## 9.7.2 継続的な評価手法

### 9.7.2.1 定期的なモニタリング

- **手法:** 学生、教職員、地域住民を対象としたアンケート調査を実施し、提携校のプログラムや運営体制に対する満足度や改善要望を収集します。
- **実例:** 名古屋大学の留学プログラムでは、留学前後の学生の成長度合いを測定する自己評価シートを活用。

### 9.7.2.2 KPI(重要業績評価指標)の設定

- **指標:** 学生の学業成績、卒業率、就職率、資格取得率、地域社会との交流イベントの参加人数など、具体的な評価基準を設定します。
- **実例:** 東京大学の交換留学プログラムでは、留学後のキャリア成果を指標に含めています。

### 9.7.2.3 外部評価の導入

- **手法:** 第三者機関による定期的なプログラム監査を導入し、客観的な視点から評価を受ける。
- **実例:** 神戸大学では、外部の教育評価専門機関を通じて留学プログラムの国際水準を評価しています。

---

## 9.7.3 改善の具体的手法

### 9.7.3.1 学生支援の充実

- **提案:** 留学生の学業・生活支援を強化するため、オンライン学習プラットフォームや現地でのメンタリング体制を充実させる。
- **実例:** 慶應義塾大学のダブルディグリープログラムでは、現地コーディネーターが留学生を継続的にサポートしています。

### 9.7.3.2 カリキュラムの柔軟性向上

- **提案:** 日本とオーストラリアの教育要件を考慮したモジュール型カリキュラムを導入し、学生が自分の目標に合わせて選択肢を広げられるようにする。
- **実例:** 東京国際大学の留学プログラムでは、学生のキャリアニーズに応じたコース選択が可能です。

### 9.7.3.3 地域連携の強化

- **提案:** 現地コミュニティと連携した共同プロジェクトやボランティア活動を実施し、提携校が地域に根付いた存在となる。
- **実例:** 青山学院大学の国際教育プログラムでは、地域住民との共同活動をカリキュラムの一部として導入しています。

---

## 9.7.4 評価結果の共有と透明性の確保

### 9.7.4.1 結果の公開

評価結果を関係者(学生、教職員、地域住民)に定期的に共有し、透明性を確保します。

- **実例:** 関西学院大学では、留学プログラムの評価報告書を年次公開しています。

### 9.7.4.2 改善計画の発表

評価に基づく改善計画を公開し、進捗状況を追跡可能にする仕組みを構築。

- **実例:** 上智大学の海外留学プログラムでは、評価結果をもとに翌年度の計画を公式ウェブサイトで公開しています。

---

## 9.7.5 まとめ

提携校の設置後も、その目的と効果を最大限に発揮するためには、継続的な評価と改善が不可欠です。これには、学業成果、地域貢献、運営持続性を測定する評価手法と、それに基づいた具体的な改善策が含まれます。特に、日本の高校や大学・専門学校での優良事例を参考にすることで、現地と日本双方で成功を収める提携校運営が可能となります。

---

## 注記

1. 早稲田大学 国際教養学部 学生支援情報  
<https://www.waseda.jp>
2. 立命館アジア太平洋大学 地域貢献プログラム  
<https://www.apu.ac.jp>

3. 京都工芸繊維大学 グローバル留学プログラム  
<https://www.kit.ac.jp>
  4. 名古屋大学 留学プログラム  
<https://www.nagoya-u.ac.jp>
- 

#### 参照情報

1. Australian Children's Education & Care Quality Authority (ACECQA)
2. National Quality Framework (NQF) – Australian Government
3. Imagine Education Official Website
4. IELTS Official Website
5. 厚生労働省「保育士需給調査報告書」(2023)

## 第10章 結論と今後の展望

### 10.1 結論

本報告書では、オーストラリアの保育士資格取得を目指す日本の留学生に向けた支援体制や教育の現状、キャリアパス、提携校設置の意義について詳細に検討しました。この結果、以下の重要な結論が明らかになりました。

第一に、オーストラリアの保育士資格制度(Certificate III, Diploma, Bachelor)は、産業界と密接に連携した柔軟なカリキュラムと実践的な学びを提供する点で、グローバル基準において高く評価されています。National Quality Framework (NQF)や Early Years Learning Framework (EYLF)は、教育の質を保証しつつ、子どもの創造力と多文化対応力を育む重要な指針として機能しています。

第二に、日本の保育分野において、オーストラリアで学んだ国際人材が果たす役割は極めて大きいと考えられます。特に、異文化理解力や英語力、多文化社会での実践経験を活かした教育は、日本国内のインターナショナルスクールやプリスクール、英語教育を重視する保育施設において、保護者や地域社会から高く評価されることが期待されます。また、日本国内において、豪州の保育士資格保持者は、勤務先の保育現場や地域社会において、新たな価値創造に寄与できる可能性があります。

第三に、提携校設置は、両国間の教育交流を深化させ、国際人材の育成を推進するための有効な手段であることと考えます。これにより、オーストラリアの先進的な教育アプローチを日本に導入するだけでなく、日本の文化的価値をオーストラリアに共有する双方向の交流が実現します。さらに、提携校を通じて留学生が現地で実習・就職すれば、即戦力として活躍できるキャリアパスウェイを提供するだけでなく、帰国後のキャリア支援体制の強化にも寄与することが期待されます。

---

### 10.2 今後の展望

#### グローバル保育士の育成に向けて

保育分野は、グローバル化と多文化共生の時代において、単に多様化する地域社会への貢献に留まらず、国際的な教育課題に貢献する重要な分野となっています。そのため、今後の展望として、以下のような取り組みが求められます。

まず、オーストラリアと日本の保育士資格の相互認定に向けた取り組みや日豪での資格取得をシームレスにつなぐカリキュラム設計が必要です。現在、両国間では保育士資格の互換性はなく、日本人留学生がオーストラリアで資格を取得しても、日本の保育士資格を有しない場合、日本国内での活躍が制限される場合があります。このような障壁を解消することで、両国間の人材移動をより円滑にする基盤を整備することが可能です。

また、留学準備段階での支援体制をさらに強化することが重要です。特に、日本国内で留学要件に必要なIELTSスコア5.5以上となる英語力を身に着けるだけでなく、異文化理解プログラムを充実させることで、留学生が現地での学びをより効果的に活用できる環境を構築する必要があります。この支援は、日本の教育機関とオーストラリアの提携校が共同で開発するプログラムを通じて実現可能です。加えて、奨学金制度の拡充や経済支援策を強化することで、より多くの学生が留学の機会を得られる環境を整えることも求められます。

さらに、オーストラリアで学んだ知識とスキルを日本国内で応用するための仕組み作りも重要です。例えば、インターナショナルスクールやプリスクール、保育施設での英語教育プログラムの導入、多文化対応力を活かした保護者向けセミナーの開催などが考えられます。これにより、国際保育士としてのキャリア形成を促進すると同時に、日本の保育の質向上にも寄与できます。

---

### 教育と労働市場の相互連携

オーストラリアの教育制度は、産業界と教育機関の連携による人材育成において先進的なモデルを提供しています。この成功事例を基に、日本の教育機関と産業界が共同でプログラムを開発し、実務スキルと学術的知識を兼ね備えた保育士を育成することが期待されます。例えば、日本の保育施設が、オーストラリアの職業専門学校(RTO)と共同で短期実習プログラムを実施することで、留学生が現地で得たスキルを実際の職場環境で応用する場を提供することが考えられます。

---

### 国際教育交流の深化

提携校を中心とした国際教育交流は、単に学生を送り出すだけでなく、教育理念や文化の相互学習を通じて新しい価値を生み出す可能性を秘めています。日本の保育分野では、オーストラリアの「遊びを通じた学び」や多文化教育を導入し、子どもたちの創造力や多文化対応力を養い、地域社会や保護者にその価値を伝えることが求められます。一方で、オーストラリアの教育現場では、日本の伝統的な遊びや文化を知育に活用することで、子どもたちの多文化理解力を育むことができます。

---

### 持続可能なグローバル人材育成の基盤構築

国際保育士の育成を継続的に行うためには、財政的支援や政策的支援も重要です。奨学金制度や生活支援の強化により、経済的な理由で留学を諦める学生を減らすことができるでしょう。また、国際教育政策の枠組みを整備し、日本とオーストラリアが共通の目標を持って協力することで、持続可能な人材育成基盤を構築することが可能と考えられます。

---

## 10.3 結び

本報告書を通じて示されたオーストラリアと日本間の教育連携は、単なる技術や知識の共有にとどまらず、文化的価値観や教育理念を融合させ、新しい保育人材を養成する在り方を探求する試みです。これらの取り組みは、両国の子どもたちや保護者にとって、より豊かな教育環境を提供するものであり、グローバル社会における持続可能な発展に寄与するものであります。今後も、教育分野での国際協力をさらに深化させ、未来を担う人材育成の可能性を広げていくことが重要です。

## 調査協力者への謝辞

本調査は、多くの関係者のご支援とご協力のもとに進めることができました。日本側では、トビタテ！留学JAPANをはじめとする政府関係者、教育機関、保育事業者の皆様から貴重な情報とアドバイスをいただきました。オーストラリア側では、Charlton Brown 及び Imagine Education の職業専門学校、Study in Australia の関係者、保育業界のコンサルタントの皆様保育施設のスタッフの方々が現地の実情に基づく示唆を共有してくださいました。

また、教育現場や保育事業の最前線で活躍する方々のご意見は、今後の日豪間におけるグローバル保育士の養成に向けた方向性を示す重要な指針となりました。ここに深く感謝の意を表します。

---

## 今後の展開への期待

本調査を起点として、以下の展開が期待されます：

1. **提携校設置の実現:** 本報告書で提案した具体策が速やかに実行に移され、日豪間の教育連携が具体的な形を取ること。
  2. **持続的なプログラム改善:** 試行とフィードバックを重ねることで、教育プログラムが常に進化し、学生と社会のニーズに応えられるものとなること。
  3. **他分野への波及:** 本調査で得られた知見が、介護・看護やITなど他の専門職分野にも応用され、幅広い国際連携のモデルとして活用されること。
- 

## 締めくくり

本報告書が示した道筋は、未来の保育業界を形作るための一歩に過ぎません。しかし、この一歩が確かなものであるならば、次の世代を育む教育と保育の現場がより豊かで持続可能なものとなると確信しています。本調査が、日豪両国の保育業界の発展と、教育を通じた国際連携の深化に寄与する一助となれば幸いです。

最後に、改めて調査にご協力いただいたすべての方々に感謝を申し上げます。

---

### 3 留学前英語学習カリキュラム試作開発

#### (1) 大庭学園 留学前プログラム シラバス

授業科目名	留学前プログラム		科目	～科目	
必修・選択	～		単位数	～	
科目設備学部	～学部	開講学年	1年次	学期	前期と後期
担当教員	～	連絡先	研究室	～	
授業の概要、科目のねらい・到達目標					
<p>本講座「留学前プログラム」のねらいは、英語の習得や留学の事前準備を目的としたプログラムです。英語で会話が続かない、何を話してよいかわからない等の悩みを解消し、「道具として使える英語」を習得するものとなっています。英語初心者からでも始められる学習法を学び、英語を習得します。</p> <p>また本講座では、2年次後期に留学に必要な IELTS5.5 の取得準備を予定しています。それまでに、留学先でサバイバルできる英語力を習得します。</p> <p>1年次の到達目標として、英語に慣れ、簡単な会話、質問や確認が実践できるレベルとなっています。</p>					
授業方法・形体	講義と演習	講師	単独	氏名	～
<p>授業は講義とグループワークや発表などを中心とします。受講生は、初めに自己学習方法を学び、日々自己学習を実施することにより、より英語の定着を効果的にします。授業は学習内容に応じて、事前の課題学習や事後の課題を含めて展開していきます。</p>					

## カリキュラム(前期)

全56回(前期 28回)

週1回1時間

	テーマ	レッスン概要	コマシラバス概要
1	自己学習	トレーニングメニューを紹介、実践	自己学習の方法を紹介致します。内容理解、発音練習、音読、暗唱等それぞれの方法を学びます。また実際行うときの回数メニューを紹介致します。曲名:Let It Be
2	日常英会話	自己紹介をする	オーソドックスな自己紹介、趣味の話を学びます。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
3	自己学習	確認と再度学習	レッスン1と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。自分で題材を探すのが難しい場合、以降の自己学習方法を参考に活用します。曲名:Your Song
4	日常英会話	入国審査まで	飛行機内での会話(客室乗務員との会話等)、入国審査の会話を学びます。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
5	日常英会話	買い物をする	スーパーやブティックで、店員とのやり取りを学びます。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
6	日常英会話	注文をする	ファストフード、レストランで注文やり取りを学びます。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
7	日常英会話	予定を立てる	旅行や予定を立てる時に使う表現を学びます。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
8	日常英会話	観光をする	観光をする時に使う表現を学びます。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
9	自己学習	確認と再度学習	レッスン1と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。曲名:Fly Me to the Moon
10	日常英会話	5W1H①	Who, What, When, Where, Why, How(以降5W1H)の活用方法を紹介します。相手から情報を得るための質問方法などを学びます。
11	日常英会話	5W1H②	趣味に関する質問を英語で作れるようになります。また、会話を広げるための質問を学びます。
12	日常英会話	5W1H+Do①	5W1H と Do との組み合わせた会話を学びます。相手の意見や好みに興味を持って質問を広げる方法を学びます。

13	日常英会話	5W1H+Do②	パーティーの準備や招待に関する英語表現を身につけます。自然な会話の流れで質問や返答を練習します。
14	日常英会話	I think + 5W1H①	I think を使った推測や意見表現と 5W1H との組み合わせた会話を学びます。情報を確認するスキルを養います。
15	日常英会話	I think + 5W1H②	体調や緊急時の状況を英語で表現するスキルを養います。相手の状況を理解するための 5W1H の質問スキルを向上させます。
16	日常英会話	5W1H+Do+Can①	5W1H と Do と Can との組み合わせた会話を学びます。職場や日常の会話でスムーズに情報を共有する力を向上させます。
17	日常英会話	5W1H+Do+Can②	具体的な情報を引き出すスキルを強化していきます。会話を楽しく続けるための質問スキルなども養います。
18	自己学習	確認と再度学習	レッスン 1 と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。 曲名:Tears in Heaven
19	日常英会話	自己紹介をする〈発展編〉	レッスン2と10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「自己紹介」を学びます。最後にオリジナルのダイアログを作成します。
20	日常英会話	入国審査まで〈発展編〉	レッスン 4 と 10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「入国審査」を学びます。最後にオリジナルのダイアログを作成します。
21	日常英会話	買い物をする〈発展編〉	レッスン 5 と 10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「買い物をする」を学びます。最後にオリジナルのダイアログを作成します。
22	日常英会話	注文をする〈発展編〉	レッスン 6 と 10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「注文をする」を学びます。最後にオリジナルのダイアログを作成します。
23	日常英会話	予定を立てる〈発展編〉	レッスン 7 と 10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「予定を立てる」を学びます。最後にオリジナルのダイアログを作成します。
24	日常英会話	観光をする〈発展編〉	レッスン 8 と 10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「観光をする」を学びます。最後にオリジナルのダイアログを作成します。

25	自己学習	確認と再度学習	レッスン1と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。 曲名:Piano Man
26	日常英会話	Free Combination	今まで学んだ総括として、レッスン28のプレゼンに向けて準備を行います。レッスン1～24で学んだ英語表現やフレーズを統合し、オリジナルの会話を作成し、シチュエーションに応じた英語表現を選びます。発表する内容をペア、またはグループワークで決めていただき、自分たちのダイアログ作成(日本語)をします。
27	日常英会話	Listen & Repeat	レッスン26で作ったダイアログを使い、自己学習方法で学んだ練習方法を使い、発表の準備をします。日本語から英語への翻訳スキルを高め、正確な発音と自然なイントネーションを身につけます。レッスン26で終えることができなかつた翻訳や、確認ができる最終日となります。
28	日常英会話	Presentation	完成したダイアログをクラスで発表します。自信を持って発表できるようにし、声の抑揚や発音、ボディランゲージを使って効果的に表現します。

## カリキュラム(後期)

全 56 回(後期 28 回)

週 1 回 1 時間

	テーマ	レッスン概要	コマシラバス概要
29	自己学習	トレーニングメニューを紹介、実践	前期で学んだ同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。間が空いている為、英語に慣れていただきます。 曲名:Part of Your World
30	日常英会話	前期の復習	レッスン 1～29 の内容を振り返り、学習した英語表現を復習致します。各シチュエーションに応じた会話の自信を高めます。
31	自己学習	確認と再度学習	レッスン 1 と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。 曲名:My Heart Will Go On
32	日常英会話	電話で会話をする	電話対応に必要な基本フレーズを習得し、相手が不在の場合の伝言の表現を練習します。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
33	日常英会話	友人との会話1	自分の趣味について英語で話せるようになります。相手の趣味について質問し、会話を広げます。
34	日常英会話	友人との会話2	過去の習慣や趣味について話します。過去の出来事や習慣を英語で説明も行います。定型文を使いながら英語を使うことに慣れていきます。
35	日常英会話	友人との会話3	丁寧な依頼表現を学び、自然に使えるようになります。依頼に対する適切な返答練習を行います。
36	日常英会話	不測の事態で使う表現	謝罪のフレーズを適切に使い、相手に誠意を伝え、体調不良や遅刻など、日常で起こりうる問題を説明する表現を中心に学びます。
37	自己学習	確認と再度学習	レッスン 1 と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。 曲名:You are the Reason
38	日常英会話	Do+Can①	Do+Can との組み合わせた会話を学びます。依頼や提案を英語でスムーズに行えるようになります。
39	日常英会話	Do+Can②	落し物を探す場面での英語表現を習得します。依頼や情報確認をスムーズに行い、会話を進めるための質問力を向上します。
40	日常英会話	Can+Is①	Can+Is との組み合わせた会話を学びます。相手の予定や意見を確認し、自然なやり取りを行えるようになります。
41	日常英会話	Can+Is②	Can や Could を使った依頼や許可の表現を習得します。仕事や予定に関連した英語表現を学び、相手に依頼や許可を求めるスキルを学びます。
42	日常英会話	Is+That①	Is+That との組み合わせた会話を学びます。相手の話を引き出し、会話を広げるスキルを習得します。
43	日常英会話	Is+That②	提案や相手の理解を得る確認表現を身につけます。会話を通じて提案や解決策を提示するスキルを向上します。

44	日常英会話	That + I think①	That + I think との組み合わせた会話を学びます。自分の意見を自然に表現するスキルを習得します。
45	日常英会話	That + I think②	That + I think を使い、「～だと予想する」といった意見を述べるスキルを強化します。相手の意見を聞きながら、柔軟に会話を進めます。
46	自己学習	確認と再度学習	レッスン 1 と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。曲名: Santa Claus Is Comin' to Town
47	日常英会話	前期の復習(発展編)	レッスン 38～45 で学んだ内容を基に、質問と回答を自然に組み立てられるようにします。自分の得意なトピックを選び、会話の応用力を高めます。
48	日常英会話	電話で会話をする(発展編)	電話での問い合わせや会話スキルを強化し、大学やアルバイト先での実用的なやり取りを練習します。丁寧な電話対応のフレーズを学び、練習をします。
49	日常英会話	友人との会話1(発展編)	趣味について詳しく話し、友人との自然な会話を深める練習を行います。5W1H を活用し、より深い会話を展開できるようになります。
50	日常英会話	友人との会話2(発展編)	楽しかった経験をテーマに会話を展開し、エピソードを共有する練習をします。5W1H を活用し、詳細なエピソードを構成できるようになります。
51	日常英会話	友人との会話3(発展編)	パーティーの準備をテーマに、友人と計画を立てる練習をします。必要なタスクを分担し、適切に依頼や提案を行うスキルを強化します。
52	日常英会話	不測の事態で使う表現(発展編)	予期せぬトラブルや失敗に対応する表現を学び、謝罪や状況説明をスムーズに行う練習をします。トラブル発生時に状況を説明し、解決策を提示できるようにします。
53	自己学習	確認と再度学習	レッスン 1 と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行います。曲名: What a Wonderful World
54	日常英会話	Free Combination	今まで学んだ総括として、レッスン 56 のプレゼンに向けて準備を行います。学んだ英語表現やフレーズを統合し、オリジナルの会話を作成し、シチュエーションに応じた英語表現を選びます。発表する内容をペア、またはグループワークで決めていただき、自分たちのダイアログ作成(日本語)をします。
55	日常英会話	Listen & Repeat	レッスン 54 で作ったダイアログを使い、自己学習方法で学んだ練習方法を使い、発表の準備をします。日本語から英語への翻訳スキルを高め、正確な発音と自然なイントネーションを身につけます。レッスン 54 で終えることができなかった翻訳や、確認ができる最終日となります。
56	日常英会話	Presentation	完成したダイアログをクラスで発表します。自信を持って発表できるようにし、声の抑揚や発音、ボディランゲージを使って効果的に表現します。

## 学習者へのポイント:

語学はコミュニケーションの道具です。この道具を取得するためには、時間、経験、及び技術が必要とされます。本カリキュラムでは、語学を取得するために必要な技術(How to)を提供し、テキストに従って学習をすることで、学習者は自己学習(時間と経験の実施)を実践し、語学学習が取得できるものとなっております。

また、本カリキュラムでは IELTS の試験対策を行ってまいります。試験対策の技術を学ぶものであり、試験の練習、対策は学習者が行うものとします。理由として IELTS 試験は、英語をどこまで上手に使えるかを評価する試験であるため、受験者の経験値を試す傾向となっております。そのため、英語をいかに日々使い、自己学習を執り行うかが重要なポイントとなり、自己学習を進めた分、結果に反映されやすい傾向があります。

この自己学習ですが、このカリキュラムでは、ある種の「トレーニング」として捉えます。スポーツでのトレーニングと同じであると考えてください。スポーツでは反復練習、トライアンドエラーを繰り返し、上達します。英語も同様、反復練習やトライアンドエラーを繰り返す事で、上達します。カリキュラムはじめでは学習方法を学び、自己学習の基礎とします。その学習法をレッスン外で日々反復練習することにより、英語の定着、慣れを目指します。カリキュラムの日常会話では、会話に必要な表現、技術を学んで行きます。そこでトライアンドエラーを繰り返し、学んだ技術で反復練習をすることにより、英語が取得できるようになっていきます。

## IELTS について:

留学準備として、IELTS5.5 の取得が必要になります。そのため、IELTS について紹介致します。

### IELTS 試験概要

名称:IELTS, アイエルツ

(International English Language Testing System)

主催:ケンブリッジ、ブリティッシュ・カウンシル

### 試験の種類:

1. Academic Module (大学・大学院進学)
2. General Training Module (外国人の永住権、ビザ取得)

### 試験内容:

Reading, Writing, Listening, Speaking それぞれバンドスコア 0~9

\*Reading, Writing のバンドスコアは別紙①、②を参照

(公式の翻訳でないため、参考程度に見てください)

スコア合計の平均点で IELTS のスコアが出されます。

例1:

Reading 5.5

Writing 5.5

Listening 5.5

Speaking 5.5

**スコア平均 5.5**

例2:

Reading 6

Writing 4.5

Listening 5.5

Speaking 6

**スコア平均 5.5**

### IELTS スコアのレベル感

IELTS	TOEFL iBT®	TOEIC®	英検
9.0	120	—	—
8.5	115～119	—	—
8.0	110～114	—	—
7.5	102～109	970～990	—
7.0	94～101	870～970	1 級
6.5	79～93	820～870	1 級
6.0	60～78	740～820	準1 級
5.5	46～59	600～740	準1 級
5.0	35～45	550～600	2 級
4.5	32～34	500～550	2 級
4.0	31	450～490	準2 級

\*公式ではないため、参考程度に見てください

日本人の平均スコアは以下の通りです。

IELTS 科目	平均バンドスコア
リスニング	6.0
リーディング	6.1
ライティング	5.7
スピーキング	5.5
オーバーオール	5.9

### IELTS 5.5 に必要なレベル:

IELTS 5.5 に必要とされる正答率やスコアの取り方を紹介致します。公式では、リーディングとライティングのバンドスコアに対する具体的な採点方法を紹介されていないため、おおよその内容となります。公式の採点基準が記載されているものがありますので、別紙を参照ください。

リンク:<https://ieltsjp.com/japan/about/about-ielts/ielts-band-scores>

#### ・リスニング

リスニングは 40 問出題されます。40 問中、18 問～22 問を正解数が必要です。

#### ・リーディング

リーディングも 40 問出題されます。40 問中、19 問～22 問の正解数が必要です。

#### ・ライティング

ライティングタスク 1 とタスク 2 でスコア 6 と 5 の間のレベルが必要になります。4 つの評価基準が設けられております。

1. 「語彙力」の評価では、ある程度一般的ではない語句も適切な文脈で使用できる必要があります。
2. 「文法知識と正確さ」では、簡単な構文だけでなく、関係詞などを取り入れた複雑な構文を使えると、5.5 のレベルが超えやすくなります。
3. 「課題の達成度」、文章の 4. 「一貫性とまとまり」も評価となります。

#### ・スピーキング

ライティングと同様に、スピーキングの評価基準における、6 と 5 の間が必要になります。こちらも 4 つの評価基準が設けられております。

1. 「流暢さと一貫性」では、話し続けるスピードが時折落ちるとスコア 5.0 になります。一方、一貫性を時折失ったとしても進んで詳細に話せるとスコア 6.0 に達します。

2. 「語彙力」3. 「文法知識と正確さ」はライティングと同様になります。4. 「発音」では、リエゾンやリンキング等の特徴が発話できると点数が取れやすくなります。

#### IELTS 5.5 に必要な最低条件:

1. 学習時間 500 時間以上
2. 単語 3000 語以上学習
3. 文法の復習
4. 日々自己学習すること(1~2時間程)

\*アルバイト先での英語利用、留学生と英語での交流などで置き換えるのも OK

\*正しい学習方法であれば、動画、音楽、他のメディアでの代用も OK

\*1 日長く学習するよりも、日々コツコツ、少しずつ学習することが重要

1 年通しての学習時間を単純計算で:

1 日 1 時間	365 日	365 時間
授業 1 時間	週 1 回 56 コマ	56 時間
	合計	421 時間

#### 自己学習課題:

- 各自実施
- Duolingo 等のアプリを併用
- 洋楽を使ってリスニング、ディクテーション、発話の練習
- 映画・ドラマを使ってリスニング、ディクテーション、発話の練習

#### IELTS のスコアアップに大切なこと:

- 単語:2000~3000 語 (英検準一級レベル)
- 文法:時制 前置詞 関係詞 仮定法...
- IELTS 対策ーテストテクニック

・学習時間がおおよそ 500～600 時間が必要だとされています。

(英語を使用した時間が多いほど効果的です)

ポイント:

・IELTS5.5 は中学、高校レベルの英語が最低限分かっており、2～3 ヶ月の対策を行えば達成可能とも言われています。

(2) 大庭学園 留学前プログラム コマシラバス

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第1回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ]  自己学習(トレーニングメニュー紹介、実践)  英語学習のトレーニング手法を学び、日常的な練習の習慣をつけるための基本を実践。		
[今日の目標]  効果的な英語トレーニング方法を理解し、毎日の学習習慣を確立する。  基本的なシャドーイング、発音強化、文法練習を行い、自己学習で使えるようにする。		
[今日の学習内容]  自己学習のポイント  正しいトレーニング法  トレーニングメニューの習得  ・内容理解  ・音声とのリンク  ・ディクテーションの方法  題材は:Let It Be / Beatles		[今日の重要用語・キーワード]  ディクテーション  シャドーイング  音読  暗唱練習
[“今日の学習内容”の記載箇所]  テキスト p.1～12		
[授業に参加する学生へのアドバイス]  日々の練習を怠らず継続してみましよう。  「広く浅く」の学習ではなく、「狭く深く」取り組んでみてください。  発音やイントネーションを意識し、ネイティブスピーカーの音声を真似してみましよう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第2回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(自己紹介をする) 英語での自己紹介の基本を学び、初対面の相手との会話を練習。		
[今日の目標] 自己紹介をスムーズに行うスキルを身につけ、会話を始めるために適切な質問を学ぶ。 名前の呼び方や話題選びの工夫の仕方を習得する。		
[今日の学習内容] 英語で自己紹介を行う ・初対面の会話の重要性と注意点 ・会話例を使って練習 ・名前の呼び方、仕事や出身地などの質問をする方法	[今日の重要用語・キーワード] great to meet you what do you do? I'm a ～.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 初対面で必ず話す内容ですので、自分の型を作るといいでしょう。 初対面の会話では個人的な質問を避けるようにしてみてください。 最後に笑顔を忘れずに、リラックスした態度で会話を楽しんでみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第3回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] レッスン1と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行う。 歌詞を通して英語表現を理解し、リスニングスキルと音声のコピー力を高める。 言葉の感情やニュアンスを学ぶ。		
[今日の学習内容] 題材は:Your Song / Elton John ・歌詞の内容を理解 ・音声を聴きながら歌詞を音読 ・シャドーイングと暗唱練習	[今日の重要用語・キーワード] if I did but then again now that put down in words excuse me	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-5		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 歌詞の意味を事前に予習をして理解しておきましょう。 また、音声を繰り返し聴いて、発音に慣れてみてください。 少しスピードが早くなっていますが、発音や発話練習に最適な楽曲となっております。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第4回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(入国審査まで) フライトや入国審査に必要な英会話を練習。		
[今日の目標] 機内での乗務員へのリクエストや入国審査の質問に対応するスキルを養う。 海外旅行に必要な基本表現を習得する。		
[今日の学習内容] 機内での会話 ・飲み物や物をリクエストする表現  入国審査 ・入国審査での質問(目的や滞在先)に答える	[今日の重要用語・キーワード] What would you ～ Can I have ～ I'm fine. Thank you. What's the purpose of ～ I'm here for ～ Where will you ～	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 入国審査で聞かれる質問を想定して練習してみましょう。 笑顔で落ち着いて対応することを心がけてみてください。 また、聞き取れない場合は「Sorry?」(主に豪州)や「Pardon?」(主に英国)と尋ねる勇気を持ってみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第5回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(買い物をする) 海外での買い物に必要なフレーズとやり取りを学ぶ。		
[今日の目標] スーパーやブティックでの、店員とのやり取りを学ぶ。 商品の場所や価格を尋ねるスキルを養い、日常の買い物をスムーズに行うための表現を習得する。		
[今日の学習内容] 海外のスーパーでの商品購入の場面: ・商品の場所を尋ねる表現 ・値引きやセールの読み方 ・店員との簡単な会話例	[今日の重要用語・キーワード] Where can I find ～ They're on ～ Do you have ～ They're over there. I'm also looking for ～	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 買う商品名をレッスン前にリストアップしてみましょう。 食料品に限らず、洋服、備品、化粧品、道具等様々な状況を想定してみましょう。 店員に聞く際は簡潔に質問してみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第6回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(注文をする) レストランでの注文方法を学び、練習。		
[今日の目標] ファストフード、レストランで注文やり取りを学ぶ。 メニューの読み方を理解し、注文時の質問や応答を練習する。		
[今日の学習内容] レストランでの注文の場面 ・特別メニューを尋ねる表現 ・ステーキの焼き加減や追加注文の確認 ・ファストフード店での会話例	[今日の重要用語・キーワード] What's your special tonight? How would you like the steak cooked? Anything else? That's for here That'll be ~ in total.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 臨場感のある注文風景を YouTube で見てみましょう。「リアル 英会話 注文」と検索するとよいでしょう。 他には、メニューに記載されている単語を調べてみましょう。 焦らず丁寧な注文を心がけましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第7回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(予定を立てる) 週末や休暇の予定を英語で立てる。		
[今日の目標] 旅行や予定を立てる時に使う表現を学ぶ。 予定について英語で説明できるようになり、簡単な質問を通じて会話を広げるスキルを養う。		
[今日の学習内容] 週末や休暇の予定について同僚や友人と話す 場面 ・予定を尋ねる表現 ・自分の予定を説明し、感想を述べる ・会話を広げるための質問	[今日の重要用語・キーワード] What are you going to do ～ What about you? That's cool. That's awesome. Probably	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 自分の予定を簡単な英語で話してみましょう。 相手の予定を聞く際は、興味を持って質問を続けてみてください。 会話の最後には「Have a good weekend!」を添えると親しみが増します。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第8回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(観光をする) 観光地での英会話や道案内を学習。		
[今日の目標] 観光をする時に使う表現を学ぶ。 観光地への行き方を尋ねるスキルを養い、簡単な道案内ができるようになる。		
[今日の学習内容] 観光地で道を尋ねたり案内する場面: ・行き方を尋ねる表現 ・簡単な地図を使って道案内 ・観光地の感想を述べる	[今日の重要用語・キーワード] Do you know how to get there? Is it walkable? It's quite close. What time do you close today? Do I have enough time to see everything?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 地元のインフォメーションセンターなどに置いてあるパンフや案内を見てみると、レッスンのヒントになるかもしれません。 その時、レッスン前に訪れる観光地の英語名を調べておきましょう。 また、地図アプリを活用しながら、道案内の練習をしてみてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第9回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] レッスン1と同じトレーニングメニューを使い、別の題材を使って行う。 歌詞を通じてリスニング力を高め、発音やリズムを意識して歌を楽しむ。		
[今日の学習内容] 題材は:Fly Me to the Moon ・歌詞の内容を理解 ・音声を聴きながら歌詞を音読 ・シャドーイングと暗唱練習	[今日の重要用語・キーワード] Fly me Let me sing what S is like fill A with B forevermore	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp. 1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 曲のリズムに合わせて楽しく練習してみましょう。 シャドーイングを繰り返し行い、発音を改善してみてください。 歌詞を暗記することで、さらに自信を持って歌えるようになります。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第10回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(5W1H①) 5W1Hを活用して基本的な情報を引き出す練習を行う。		
[今日の目標] 日常会話で Who, What, When, Where, Why, How(以降5W1H)の活用方法を紹介する。 相手から情報を得るための質問スキルを養う。		
[今日の学習内容] 初対面の相手と自己紹介を交わす場面 ・質問文の作成 ・会話を広げるためのフォローアップ質問 ・短いロールプレイ ・「Make your own」セクションで、初対面の相手との会話文を作成	[今日の重要用語・キーワード] Where are you from originally? What do you do? How do you like living in Japan? Why did you move to Japan? When did you move to Japan? Who do you live with?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 5W1Hの質問を使って、相手に興味を持って話しかけてみましょう。 短い答えでも会話が途切れないようにフォローアップしてみてください。 自然な会話を目指して練習を繰り返してみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第11回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(5W1H②) 5W1Hを使って、趣味についての会話を広げる。		
[今日の目標] 趣味に関する質問を英語で作れるようになり、趣味についての会話をスムーズに進めるスキルを養う。 会話を広げるためのフォローアップ質問を学ぶ。		
[今日の学習内容] 友人と互いの趣味について語る場面 ・5W1Hを使った質問 ・趣味に関する会話のロールプレイ ・自分の趣味を英語で表現 ・「Make your own」セクションで、初対面の相手との会話文を作成	[今日の重要用語・キーワード] What is your favourite ～ What other ～ do you like? Where do you ～? How did you find ～? Why do you play on ～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 自分の趣味を英語で説明できるよう、簡単な文章を準備しましょう。 具体例やエピソードを入れると会話が広がりやすくなります。 相手の趣味に興味を持ち、続けて質問する練習をしてみましょう。たとえば、「Why do you enjoy it?」や「How often do you do it?」などを使ってみてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第12回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(5W1H+Do①) 食べ物についての会話を5W1H+Doを用いて行う。		
[今日の目標] 5W1Hと一般動詞を使った質問文を作成できるようになり、食べ物の好みについて質問し、会話を続けるスキルを養う。 相手の意見や好みに興味を持って質問を広げる。		
[今日の学習内容] 相手との日常会話の中での質問 ・食べ物に関する質問 ・自分の好きな食べ物を説明し、フォローアップ質問 ・「Make your own」セクションで、自分自身の食べ物に関する会話文を作成	[今日の重要用語・キーワード] What kind of ～? How about ～? Why don't you ～? Where's your favourite ～? Who cooks it? When is ～? Do you want me to ～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 相手の嗜好に興味を持ち、「Why don't you like it?」や「Where do you usually eat it?」のようなフォローアップ質問を取り入れてみてください。 話題に困ったときは、「What about you?」などのフレーズで相手に質問を返す練習をしてみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第13回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(5W1H+Do②) パーティーへの招待や準備に関する会話。		
[今日の目標] 5W1Hと一般動詞を使った質問文を応用できるようになり、パーティーの準備や招待に関する英語表現を身につける。 自然な会話の流れで質問や返答を練習する。		
[今日の学習内容] 友人同士での日常会話 ・パーティーに関する質問 ・自分が主催するパーティーのシチュエーションを考え、会話文を作成 ・「Make your own」セクションで独自の会話文を作成し、発表	[今日の重要用語・キーワード] What's the occasion? How many people are coming? Where are they all going to fit? Do you need ~? When should I come? Do you need more help? Who is it?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] パーティーの目的やテーマについて、英語で簡単に説明してみましょう。 相手の手助けを促す表現(例: “Do you need help?”)を使って、会話を広げる練習をしてください。 自然な会話の流れを意識し、リラックスして相手に質問をしてみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第14回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(I think + 5W1H①) I think を使った 5W1H の質問や情報の確認を練習。		
[今日の目標] I think を使った推測や意見表現を練習し、5W1H の疑問文を組み合わせ、情報を確認するスキルを養う。 道案内や位置確認のための会話をスムーズに行えるようになる。		
[今日の学習内容] 道に迷い、アドバイスを求めている場面 ・迷子になった場面を設定し、相手に質問 ・「Make your own」セクションで、I'm lost. を起点に独自の会話文を作成 ・実際の地図や場所を活用したシミュレーション	[今日の重要用語・キーワード] Where were you headed to? What do you see around you? I think I know where you are. I think you have ～.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 実際の地名や施設名を使って、会話練習を行ってみましょう。 推測や意見を伝える際には、I think を活用して、相手に配慮した表現を心がけましょう。 道に迷った場合の基本フレーズ(例: "I'm lost. / Can you help me?")を覚えておくと安心です。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 15 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(I think + 5W1H②) 体調や緊急時の状況における 5W1H の質問と I think を使った会話を練習。		
[今日の目標] 体調や緊急時の状況を英語で表現するスキルを養い、I think を活用して意見や推測を伝える表現を身につける。 相手の状況を理解するための 5W1H の質問スキルを向上させる。		
[今日の学習内容] 体調や状況確認のための基本的な質問 ・「I don't feel good」から始まるシナリオを作成 ・体調や緊急時のフレーズ ・「Make your own」で独自の会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] What's wrong? Why didn't you go ~? I think this is ~. I think you need to ~.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 体調不良時に使える基本フレーズ(例: “I don't feel well.” / “I have a headache.”)を覚えておきましょう。 相手の状況を確認する際、冷静に 5W1H を活用して必要な情報を引き出せるよう練習してください。 I think を使って、相手に配慮しつつ意見やアドバイスを伝える方法を身につけましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第16回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(5W1H+Do+Can①) 5W1Hに加え、Do や Can を使った質問文で会話を広げる練習。		
[今日の目標] 5W1H + Do や Can を使った質問で、具体的な情報を得られるスキルを身につけ、嬉しい出来事をシェアしつつ、相手に必要な情報を尋ねる会話スキルを養う。 職場や日常の会話でスムーズに情報を共有する力を向上させる。		
[今日の学習内容] Do や Can を織り交ぜた質問集を学ぶ ・嬉しいニュースを起点に会話を作成 ・「Make your own」で「I'm happy that ～」 を使った独自の会話文を作成 ・シチュエーションごとの質問 (例: 休暇、仕事の引き継ぎ)	[今日の重要用語・キーワード] When is ～? Do you have ～? Who is it? What should I do ～? Can you let me know ～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 質問をする際、Can や Do を使って相手に丁寧に依頼する練習をしてみましょう。 自分の嬉しい出来事をシェアする練習を行い、リラックスした雰囲気でも楽しんでもください。 念のための情報確認(例: “Can you let me know just in case?”)を意識して取り入れましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第17回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(5W1H+Do+Can②) 5W1HにDoやCanを組み合わせて会話を広げるスキルを養う。		
[今日の目標] サプライズニュースを効果的に伝えるためのフレーズを学び、5W1HにDoやCanを組み合わせた質問で、具体的な情報を引き出すスキルを強化する。 会話を楽しく続けるための質問スキルを養う。		
[今日の学習内容] Guess whatを使った会話の重要性と、相手の興味を引きつける方法 ・自分の最近のニュースを題材にした会話文を作成 ・5W1HとDo/Canを組み合わせて、質問を考える ・ペアで「Guess what」から始まるシナリオのロールプレイ	[今日の重要用語・キーワード] How much did you win? Can you share it with me? Don't you think ~? Where will you go?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 自分に起きた驚きの出来事を考え、それを伝えられるようになりましょう。 相手の話に興味を持ち、Don't you think...?やWho can...?のような質問を活用してみてください。 会話を楽しく続けるために、ポジティブなアクションを心がけましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第18回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 英語の歌詞を通じて表現力を高め、歌詞の内容を理解し、感情を込めて発音やリズムを練習する。 リスニングスキルと語彙を強化する。		
[今日の学習内容] 題材は:Tears in Heaven ・歌詞を読みながら意味を確認 ・リスニング練習: 音声を聴きながら歌詞を 追い、発音やリズムを学ぶ ・感情表現を意識した音読とシャドーイング	[今日の重要用語・キーワード] Would you know~, if I ~? help O do bend your knees have you begging	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 歌詞の内容を深く理解することで、感情を込めた発音練習が効果的になります。 音声を繰り返し聴き、リズムやイントネーションを習得してみてください。 自分の好きな英語の歌も探し、日常のリスニング練習に取り入れてみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 19 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ]  日常英会話(自己紹介をする〈発展編〉)  自己紹介を深めるための 5W1H 質問の作成と、オープンクエスチョンを活用した会話の練習。		
[今日の目標]  レッスン2と 10～17 で学んだ内容を基に、もう一度「自己紹介」を学び、自己紹介をする際の質問や回答の幅を広げるスキルを養う。  オープンクエスチョンを使い、会話を続ける能力を向上させる。  初対面の相手とのスムーズな会話の流れを身につける。		
[今日の学習内容]  自己紹介の重要性と発展的な質問の構造を説明  ・5W1H を使った質問と回答をペアで作成  ・自己紹介シナリオを設定  ・「Make your own」で独自のダイアログを作成	[今日の重要用語・キーワード]  Background(背景)  Career choice(職業選択)  Influence(影響)	
[“今日の学習内容”の記載箇所]  テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス]  自分のバックグラウンドや趣味について、詳細に答えられるようにしましょう。  オープンクエスチョンを使い、相手の話を広げられるよう練習してみてください。  会話の締めくくりには、相手に好印象を与えるフレーズ(例: “It was nice meeting you!”, “Let’s catch up soon!”)を添えてみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第20回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(入国審査まで(発展編)) 入国審査における質問と回答を深め、より詳細なやり取りを練習。		
[今日の目標] レッスン4と10～17で学んだ内容を基に、もう一度「入国審査」を学ぶ。 入国審査での質問や回答を発展させ、応用力を養い、フォローアップ質問を使い、会話を広げるスキルを養う。 実際の場면을想定した応答力を向上させる。		
[今日の学習内容] 入国審査での重要なフレーズを復習 ・Unit 10～17の内容を参考に、5W1Hを用いた質問文を作成 ・パートナーとペアになり、入国審査のシナリオを基にダイアログを作成 ・「Make your own」で新しい場面設定を作り、練習を反復	[今日の重要用語・キーワード] Purpose of visit (訪問目的) Duration of stay (滞在期間) Customs declaration (税関申告)	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 入国審査の質問例と回答を想定しておきましょう。 (例: “What’s the purpose of your visit?”) 会話の中でわからない単語があれば、Sorry?や Could you repeat that?を活用して丁寧に確認しましょう。機内でのリクエストや税関申告なども復習し、安心して使えるようにしておきましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第21回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(買い物をする<発展編>) 海外でのショッピングを想定し、買い物に必要な英語表現を深める練習。		
[今日の目標] レッスン5と10～17で学んだ内容を基に、もう一度「買い物をする」を学ぶ。 買い物に関連する会話スキルを向上させ、商品や値段について詳細な質問ができるようにさせる。5W1Hを活用して会話を自然に広げる能力を養う。		
[今日の学習内容] ショッピングで使えるフレーズやよくあるシチュエーションを説明 ・海外のショッピングモールやスーパーマーケットを舞台にした会話を作成 ・商品の場所や価格を尋ねる (例: "Where can I find...? / How much is this?") ・Make your own セクションでオリジナルの買い物シナリオを作成	[今日の重要用語・キーワード] Discount (割引) Price tag (値札) Refund policy (返品規則)	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 商品名や買いたい物の英単語を事前に調べておきましょう。和製英語もあるので、疑問を持って調べてみてはいかがでしょうか? 例: × ペットボトル → ○ plastic bottle (プラスチック ボトル) 会話中にわからないことがあれば、“Could you repeat that?”や“Can you explain that again?”を活用しましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第22回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(注文をする(発展編)) レストランやファストフード店での注文に必要な英語表現を深める練習を行う。		
[今日の目標] レッスン6と10～17で学んだ内容を基に、もう一度「注文をする」を学ぶ。 レストランでの注文やリクエストに対応するスキルを習得し、料理に関する質問をして、好みや要望を伝える力を養う。 スムーズで自然なやり取りができるようにさせる。		
[今日の学習内容] 注文時によく使われる表現や場面ごとのフレーズを紹介 ・メニューを読み解き、注文の練習をする(例: "What's today's special? / Could I have this without onions?") ・友人と食事するシナリオを設定し、注文の流れ ・Make your own セクションでオリジナルの会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] Special(おすすめメニュー) Dietary restrictions(食事制限) Side dish(付け合わせ)	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 注文する料理や飲み物をイメージし、練習しておくともスムーズに会話ができます。 食事制限や苦手な食材がある場合、それを伝えるフレーズを覚えておきましょう。 注文後には、感謝の言葉(例: "Thank you!" / "Looks great!")を添えて、店員とのコミュニケーションを楽しんでください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第23回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(予定を立てる<発展編>) 友人や家族と予定を立てる際の会話を深め、自然なコミュニケーションを練習。		
[今日の目標] レッスン7と10～17で学んだ内容を基に、もう一度「予定を立てる」を学ぶ。 予定を立てる際の5W1Hを使った質問と回答を学び、他者の意見や希望を取り入れた会話の展開を練習する。 自然な会話の流れでフォローアップ質問を行うスキルを養う。		
[今日の学習内容] 予定を立てる際に役立つ表現やフレーズ ・予定を立てる会話をペアで作成(例: "When shall we meet? / Where shall we go?") ・具体的なスケジュールを立てる ・Make your own セクションでオリジナルの会話を作成し、発表	[今日の重要用語・キーワード] Schedule(スケジュール) Venue(会場) Preference(希望)	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 予定を立てる際、自分の希望を具体的に伝える練習をしましょう。相手の意見に関心を持ち、“What do you think?”や“Does this work for you?”などの表現を取り入れてみてください。会話の最後に合意を確認し、スムーズな締めくくりを意識しましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第24回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(観光をする(発展編)) 観光地での英会話を想定し、旅行の計画や現地での会話を深める練習を行う。		
[今日の目標] レッスン8と10～17で学んだ内容を基に、もう一度「観光をする」を学ぶ。 観光地での質問や案内を行うスキルを習得し、旅行計画を立てる際の英語表現を強化する。 現地での質問に対応できる応答力を向上させる。		
[今日の学習内容] 観光に必要なフレーズや会話例を紹介 ・オーストラリアでの観光を想定した会話を作成 (例: "How do I get to the Opera House?" / "What's the best time to visit?") ・ペアで観光プランを立てる ・Make your own セクションで観光地でのやり取り を作成し、発表	[今日の重要用語・キーワード] Tourist attraction(観光名所) Directions(道案内) Admission fee(入場料)	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 訪れる予定の観光地について、レッスン前に英語で簡単な説明を準備しておきましょう。 両替ができるか、トイレの有無、食事する場所や服装など、実際の場面で活用できるようにしてください。 観光地での会話では、感謝の言葉(例: "Thank you for your help!")を添えることで、相手に好印象を与えられます。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 25 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 歌詞を通じて英語表現や語彙を深く理解し、リズムと発音を練習し、リスニングスキルを向上させる。歌詞の感情やメッセージを読み取り、会話で活用する力を養う。		
[今日の学習内容] 題材は:Piano Man ・感情を込めた音読とシャドーイング ・歌詞に登場する単語やフレーズ(例: tonic and gin, melody, loneliness)の意味を確認し、実際の会話に応用	[今日の重要用語・キーワード] shuffles in makin' love play me a memory in the mood for get out of for life practicing politics	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-5		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 慣用句や口語体の省略等、日常会話で見られる単語や発音が練習できる曲となります。 例えばこの曲には、夢を持ちながらも叶わなかった人々の姿が描かれており、仮定法を使って「もし彼らが違う選択をしていたら…」という別の人生を表現することができます。 仮定法を使うことで、現実とは異なる世界を描写し、歌詞の持つ切なさやノスタルジーをさらに強調できます。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第26回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Free Combination) これまで学習した内容を活用して、自分たちで自由に日本語のダイアログを作成。		
[今日の目標] 今まで学んだ総括を行い、Lesson28のプレゼンに向けて準備する。 レッスン1～24で学んだ英語表現やフレーズを統合し、オリジナルの会話を作成し、シチュエーションに応じた英語表現を選び、実践的なスキルを養う。 自信を持って自分のアイデアを英語で表現する力を高める。		
[今日の学習内容] レッスン1～24の復習 ・各トピック(自己紹介、注文、観光など)の振り返り ・ダイアログのシチュエーションをグループで決定(例: レストランでの注文、観光案内) ・学んだフレーズを活用しながら日本語で下書きを作成	[今日の重要用語・キーワード] レッスン1～24を参照	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1～6		
[授業に参加する学生へのアドバイス] グループ内で意見を出し合い、シンプルで効果的なダイアログを作成しましょう。 短く簡潔な文を意識することで、スムーズに英語に翻訳できます。 自分の話す順番を確認し、発表時の自信につなげてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 27 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Listen & Repeat) 前回作成した日本語ダイアログを英語に翻訳し、発音やリズムを練習。		
[今日の目標] レッスン 26 で作ったダイアログを使い、自己学習方法で学んだ練習方法を使い、発表の準備をする。 日本語から英語への翻訳スキルを高め、正確な発音と自然なイントネーションを身につける。 会話の流れを意識し、スムーズな英語表現を練習する。		
[今日の学習内容] ・英語翻訳のポイント(シンプルな文、自然な表現、語順の注意など)を解説 ・日本語ダイアログを英語に翻訳 ・グループ内で英語ダイアログのリピート練習を行い、発音やリズムを調整 ・フィードバックを受け、改善した英語ダイアログを完成	[今日の重要用語・キーワード] レッスン 1～24 を参照	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 翻訳作業のポイントを踏まえることで、IELTS 試験やレポート作成時に活用ができます。 英語に翻訳する際は、直訳ではなく、状況に合った表現を意識しましょう。 発音はリピート練習を繰り返し、自然な抑揚やリズムを身につけてください。 不明な点や自信がない箇所は、積極的に講師に質問して確認しましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第28回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Presentation) 完成したダイアログをクラスで発表し、プレゼンテーションスキルを向上。		
[今日の目標] 英語ダイアログで自信を持って発表できるようにし、声の抑揚や発音、ボディランゲージを使って効果的に表現する。 聴衆に分かりやすく、印象に残るプレゼンテーションを行う。		
[今日の学習内容] ・英語プレゼンテーションのポイント(声の大きさ、抑揚、ボディランゲージ)を解説 ・グループ内で発表(リハーサル) ・クラス全体の前でダイアログを発表 ・発表後に講師とクラスメイトからフィードバックを受ける	[今日の重要用語・キーワード] レッスン1～24を参照	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 発表時には、聴衆に向けて声をしっかり出し、自信を持って話しましょう。 アイコンタクトやジェスチャーを使って、聴衆にメッセージを効果的に伝えてください。 完璧を目指すよりも、自分らしく自然に話すことを心がけましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 29 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 歌詞を通じて英語表現や語彙を学び、リズムと発音を練習し、リスニングスキルを向上させる。 感情を込めた英語の表現力を身につける。		
[今日の学習内容] 題材は:Part of Your World ・歌詞の音読とシャドーイング ・歌詞に登場するフレーズの意味やニュアンスを確認	[今日の重要用語・キーワード] Wouldn't you think～? thingamabobs no big deal wanna bet'cha reprimand	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-5		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 韻を踏んでいる歌詞の作りや造語の表現、英語のテンポなどが学べる曲となります。 歌詞の感情を考えながら音読することで、自然な抑揚や発音が身につきます。 歌詞に含まれるフレーズを日常会話で使えるよう練習してください。 他の英語の歌も学習に取り入れることで、楽しくリスニング力を伸ばしましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第30回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(前期の復習) レッスン1～29の内容を振り返り、学習した英語表現を復習。		
[今日の目標] 前期で学んだ重要なフレーズや語彙を再確認し、実用的な会話スキルを復習し、総合的な英語力を強化する。 各シチュエーションに応じた会話の自信を高める。		
[今日の学習内容] ・自己紹介の練習 ・各テーマ(旅行、レストラン、買い物など)のフレーズやシナリオ(例: "What's the purpose of your visit?" "I'll have the teriyaki steak.") ・ペアでロールプレイ(例: 入国審査、観光案内、予定を立てるなど) ・グループで短い会話を作成し、発表	[今日の重要用語・キーワード] Purpose of visit (訪問の目的) Special menu (特別メニュー) Directions (道案内)	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] レッスンで学んだフレーズを自分の言葉で使えるように練習してください。 グループでのロールプレイは、リラックスしながら楽しむことを心がけましょう。 なるべく使いやすい型をつくり、それを覚えましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第31回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 歌詞を通じて英語表現や語彙を学び、正しい発音とイントネーションを練習する。 感情を込めた表現力を養い、英語のリズムに慣れる。		
[今日の学習内容] 題材は:My Heart Will Go On ・音読とシャドーイング ・歌詞に登場する表現やフレーズ(例: "Love can touch us one time")の解説	[今日の重要用語・キーワード] that is how go on far across spaces between A and B hold on there is nothing S V	
["今日の学習内容"の記載箇所] テキスト p. 1-3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] ゆっくりとした楽曲なので、丁寧に発音練習をしましょう。 また、感情を込めて歌詞を音読することで、自然な発音やリズムを身につけましょう。 歌詞の意味を考えながら、日常会話に応用できるフレーズを見つけてください。 他の英語の曲を聴きながら、楽しくリスニング練習を続けましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 32 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(電話で会話をする) 電話での会話スキルを強化し、不在時の伝言や問い合わせに対応。		
[今日の目標] 電話対応に必要な基本フレーズを習得し、相手が不在の場合の伝言の表現を練習する。 自然なイントネーションで電話のやり取りができるようになる。		
[今日の学習内容] ・電話対応の基本マナーとフレーズを紹介 ・相手の名前を確認し、用件を伝える ・不在時の伝言を受ける(例: "Would you like to leave a message?") ・Make your own セクションで、異なるシナリオ(問い合わせ、予約、ビジネス電話)を想定した会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] Can I speak to～ I'm sorry, but ～ He's on another line.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 実際の会話と異なり、電話では相手の表情が見えないため、明確な発音を意識しましょう。 不在時の対応(例: "He's not at his desk right now.")を覚えておくと便利です。 実際の場면을想定し、何度も繰り返し練習することで自信を持ちましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第33回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(友人との会話①) 趣味について話すスキルを磨き、会話を自然に広げる練習を行う。		
[今日の目標] 自分の趣味について英語で話せるようになる。相手の趣味について質問し、会話を広げるスキルを養う。 週末の過ごし方や興味のあることを英語で表現する。		
[今日の学習内容] ・友人同士で趣味について話す ・自分の趣味を紹介 ・相手の趣味について質問し、フォローアップ (例: "How long have you been doing it?") ・「Make your own」セクションで、自分の興味に基づいた会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] Do you ～? What do you like to do ～? I often go to ～. recently Almost ～ Not at all	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 自分の趣味について簡単に話せるよう、レッスン前に説明内容を考えておきましょう。 相手の話に興味を持ち、“How often do you do it?”などのフォローアップ質問を活用してみましょう。 趣味の話から、共通点を見つけて会話を弾ませることを意識してください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第34回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(友人との会話②) 過去の経験や昔好きだったことについて話すスキルを強化。		
[今日の目標] 過去の習慣や趣味について話せるようになり、“Used to” を使い、過去の出来事や習慣を英語で説明する。 映画や音楽についての会話を広げる力を身につける。		
[今日の学習内容] ・友人と好きなものについて語る ・自分が昔好きだったことを話す ・“Used to” を使い、過去の習慣や興味についての会話を作成 ・映画館での会話を想定し、おすすめの映画を紹介し合う	[今日の重要用語・キーワード] back then did you play start up again a special deal it's amazing it's up to you	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 昔好きだったことや経験したことを英語で話せるよう、いくつか準備しておきましょう。 “Used to” の使い方を意識し、過去の経験を自然に話せるように練習してください。 相手の話に共感を示し、“That sounds fun!” や “I used to do that too!” などのフレーズを活用しましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 35 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(友人との会話③) 英語での丁寧な依頼やお願いの仕方を学び、友人とのカジュアルな会話で活用。		
[今日の目標] 丁寧な依頼表現を学び、自然に使えるようにし、「Do you mind if I ～?」や「Could you ～?」を用いて、許可を求めるスキルを養う。 依頼に対する適切な返答を練習する。		
[今日の学習内容] ・依頼表現と許可を求めるフレーズの紹介 ・友人宅での状況を想定し、食べ物や飲み物を頼む ・カフェや職場での依頼フレーズを使い、実践的な会話を作成 ・「Make your own」セクションで、自分の生活に合ったシナリオを作成	[今日の重要用語・キーワード] Do you mind if ～ No, not at all. Did you have to ask ～ Call A and tell them ～ Don't forget to ～	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 依頼するときには、“Could you～?”や“Would you mind～?”を活用し、丁寧な印象を持たせましょう。 英語では「No」が肯定の意味になることがあるので、“No, go ahead.”や“No, not at all.”などの返答に注意してください。 依頼の際には、状況に応じた適切なトーンを意識し、失礼にならないようにしましょう		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第36回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(不測の事態で使う表現) 予期せぬ出来事やトラブルが発生したときの対応方法を学ぶ。		
[今日の目標] 謝罪のフレーズを適切に使い、相手に誠意を伝え、体調不良や遅刻など、日常で起こりうる問題を説明する表現を習得する。 問題が発生した際に、冷静に対応するスキルを養う。		
[今日の学習内容] ・謝罪表現と体調不良時の英語表現を紹介 ・友人との約束を忘れた場合の謝罪 ・体調不良を理由に仕事や授業を休む際の英語表現 ・「Make your own」セクションで、不測の事態に関するダイアログを作成	[今日の重要用語・キーワード] I'm really sorry I apologize for that Well, it's okay. You look ～	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] ただ「I'm sorry」と言うのではなく、「I apologize for being late.」や「It was my fault.」など、具体的な理由を伝えるとより誠実な印象を与えます。 体調不良を説明する際は、症状を具体的に伝えると相手に伝わりやすくなります(例: “I have a fever.” “I feel dizzy.”)。 不測の事態が発生した際には、冷静に状況を説明し、相手に対処をお願いする練習をしておきましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 37 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 歌詞を使って英語の語彙力を強化する。 感情を込めた英語のリズムや発音を練習する。 歌詞のテーマを理解し、日常会話への応用を目指す。		
[今日の学習内容] 題材は:You are the Reason ・音読とシャドーイング練習を行い、発音やイントネーションを強化 ・歌詞に登場するフレーズのニュアンスを理解し、日常会話に応用できる表現をピックアップ	[今日の重要用語・キーワード] heart beating mind racing there goes 主語 turn back defeated	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 歌詞に出てくる感情表現を意識して、感情を込めた音読を練習しましょう。 曲を何度も聴き、リズムや発音を自然に覚えていくことを目指してください。 学んだフレーズを会話で使えるよう、自分の経験に関連付けて練習しましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第38回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Do+Can①) 「Do」と「Can」を使った疑問文や依頼表現を練習し、計画を立てるスキルを磨く。		
[今日の目標] 「Do」と「Can」を使った表現を習得し、自然に会話で使えるようになる。 キャンプや旅行の計画をテーマに、具体的な英語フレーズを活用する。 依頼や提案を英語でスムーズに行えるようになる。		
[今日の学習内容] Do や Can を使った質問集を学ぶ ・キャンプや旅行の計画を想定した会話をペアで作成 ・具体的な持ち物や準備について話し合うシナリオ ・「Make your own」セクションで、自分の計画に基づいたオリジナルダイアログを作成	[今日の重要用語・キーワード] Do you think ～? Don't forget to ～? Can you ～? Do you ～? Can I～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 依頼や提案をする際、「Can you ～?」や「Do you think ～?」を使ってスムーズな会話を目指しましょう。 会話の中で、相手の意見を確認する質問(例: “What do you think?”)を取り入れる練習をしてみてください。 実際の計画を想定し、自分の体験を反映した会話を作成することで実践力を高めましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 39 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Do+Can②) 落とし物をテーマに、相手に依頼したり情報を確認する会話スキルを学ぶ。		
[今日の目標] 落とし物を探す場面での英語表現を習得する。 「Can」や「Do」を使って依頼や情報確認をスムーズに行う。 会話を進めるための質問力を向上させる。		
[今日の学習内容] Do や Can を使った質問集を学ぶ ・落とし物の特徴を伝え、相手に協力を依頼する会話 ・落とし物を探すシナリオを設定し、ペアでロールプレイを実施 ・「Make your own」セクションで、実際の経験を基にした会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] Did you ～? Can you ～? Does it ～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 具体的な特徴(色、大きさ、形状など)を英語で伝える練習をしておきましょう。 相手に協力を依頼する際には、“Can you ～?” を使い丁寧かつシンプルに伝えましょう。 実際の落とし物に関するエピソードを考えて、練習に活かしてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第40回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Can+Is①) イベントや映画に誘う会話をテーマに、「Can」や「Is」を使った表現を練習。		
[今日の目標] 「Can」と「Is」を使った質問や依頼の表現を習得する。 相手の予定や意見を確認し、自然なやり取りを行えるようになる。 丁寧に誘いや提案を行うスキルを強化する。		
[今日の学習内容] Can や Is を組み合わせた質問例を学ぶ ・映画やイベントに誘うシナリオを設定し、ペアでロールプレイを行う ・相手の意見を聞き、柔軟に予定を調整する会話 ・「Make your own」セクションで、自分の興味に基づいたダイアログを作成	[今日の重要用語・キーワード] Is that ～? Ca you ～? Is this ～? Can't you do it ～? Can we go ～? Can I ～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] ニュアンスが含まれる質問や表現を意識しましょう。 相手を誘う際には、「Can you ～?」を使って丁寧に伝える練習をしましょう。 断られた場合でも、「Can we ～ instead?」など代替案を提案して会話を続けてみてください。 実際のイベントや映画を想定し、興味を持って話せる内容を準備すると効果的です。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第41回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Can+Is②) 仕事や予定に関連した英語表現を学び、相手に依頼や許可を求めるスキルを養う。		
[今日の目標] 「Can」や「Could」を使った依頼や許可の表現を習得する。 「Is」表現を使って状況や意見を確認するスキルを強化する。 丁寧なやり取りを通じて、職場や日常生活での会話力を向上させる。		
[今日の学習内容] Can や Is を組み合わせた質問集を学ぶ ・職場でのスケジュール調整やタスクの進捗確認をテーマに会話を作成 ・「Could」や「I wonder」を使った丁寧な表現のロールプレイを実施 ・「Make your own」セクションで、実際の状況に基づいた会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] Are you in ～? Could I go ～? Is ～ the only thing you have to do ～? Could I do it ～? Are you sure you want to ～?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] フレンドリーな表現、丁寧な表現の使い分けを意識しましょう。 「Could」を使うと丁寧な印象を与えるため、職場やフォーマルな場での練習を心がけましょう。 「I wonder」を使った控えめな表現も、日常会話で役立ちます。 自分のスケジュールやタスクに基づいたシナリオを作り、実践的に練習してください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 42 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Is+That①) 過去の経験や出来事について話すスキルを学び、「Is」と「That」を活用した会話を練習。		
[今日の目標] 「Is」と「That」を使って状況や感想を確認するスキルを向上させる。 「I used to」を使った過去の習慣や経験についての会話力を強化する。 相手の話を引き出し、会話を広げるスキルを習得する。		
[今日の学習内容] Is と That を掛け合わせた活用を学ぶ ・自分の過去の経験や趣味について話し、相手から質問を受ける ・相手の話に対する感想や確認のフレーズを使ったロールプレイ ・「Make your own」セクションで、自分の実体験に基づく会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] That sounds fantastic Is it really? Aren't you ~? That's amazing Is this ~?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] That の活用方法がわかると、とても便利です。 自分の過去の体験や習慣を振り返り、具体的に話せるよう準備しておきましょう。 相手の話に感想を添えることで、会話が自然に広がります。 「Is it really?」のような表現を使って、相手の話に興味を持つ姿勢を示してください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 43 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Is+That②) レポートの遅延をテーマに、謝罪や提案を含めた丁寧な会話スキルを練習。		
[今日の目標] 「Is + That」を使って提案や相手の理解を得る確認表現を身につける。 謝罪の表現を適切に使い、相手に理解を得る方法を学ぶ。 会話を通じて提案や解決策を提示するスキルを向上させる。		
[今日の学習内容] Is と That を掛け合わせた活用を学ぶ ・仕事や学業での締め切りに関連した状況を設定し、会話を作成 ・提案や確認を含むやり取りのロールプレイを行う ・「Make your own」セクションで、自分の体験に基づいたシナリオを作成し、ペアで発表	[今日の重要用語・キーワード] That's okay. This ~ is ~. Is that enough? That's a good spirit. Are you going to ~?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] That's のような短縮系は会話で見られます。聞き取りで意識できるようになりましょう。 例:that's → that is 単に謝罪するだけでなく、解決策や自分の取り組み姿勢を丁寧に伝える練習をしましょう。 「Is + That」の表現を活用して、相手の確認や安心感を引き出せるように工夫してください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第44回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(That+I think①) 提案や意見交換をテーマに、「I think」や「That」を用いた会話スキルを練習。		
[今日の目標] 「I think」を使って自分の意見を自然に表現するスキルを習得する。 「That」を用いて前述の内容を参照し、文脈を明確にする。 提案やアドバイスをを行う力を高め、会話を広げる。		
[今日の学習内容] ThatとI thinkを掛け合わせた会話を学ぶ ・自分の考えを伝える練習(例:「新しい趣味を始める」や「旅行計画」など) ・提案とその理由を含む会話を作成し、ペアで実践 ・「Make your own」セクションで、相談シナリオを作成し、提案や意見交換を行う	[今日の重要用語・キーワード] That's going to be ～. I think it's ～? I think your ～ is ～. That's not true. That option won't work for me.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキストp.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 日本と違い、はっきりと意見を言うことが大切とされています。 そのため、やんわりと意見を表現するよりも、はっきりと表現するようにしましょう。 自分の意見を「I think」を使って自然に表現できるよう、短い文から練習を始めましょう。 提案を行う際には、相手の状況を考慮しつつ、優しく伝えることを意識してください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 45 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(That + I think②) 休暇の申請をテーマに、許可を求める丁寧な表現や意見を述べる表現を練習。		
[今日の目標] 「That + I think」を使い、「～だと予想する」といった意見を述べるスキルを強化する。 「May I ～?」を用いたフォーマルな許可の求め方を習得する。 相手の意見を聞きながら、柔軟に会話を進めるスキルを養う。		
[今日の学習内容] That と I think を掛け合わせた会話を学ぶ ・休暇やスケジュール調整をテーマにした会話を作成 ・「May I ～?」を使い、職場や学校での許可を求めるロールプレイを実施 ・「Make your own」セクションで、自分の状況に合った会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] That's unusual for you to ～. I think you are ～. That's very ～. I think you have ～. This is ～.	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1-2		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 仕事や学校で許可を求めるシチュエーションを考え、適切なフレーズを練習しましょう。 「I think you have a point there.」のように、相手の意見に共感する表現を取り入れると会話がスムーズになります。 実際の状況を想定し、丁寧な表現を自然に使えるように練習してみてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第46回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 歌詞を活用して、英語の発音やリズムを習得する。 クリスマスに関連する英語表現を理解する。 歌詞の意味を考えながら、会話表現に応用できるフレーズを身につける。		
[今日の学習内容] 題材は: Santa Claus Is Comin' to Town ・歌詞の音読とシャドーイング練習を行い、発音の向上を目指す ・歌詞に登場する表現(例: "You better watch out" "He sees you when you're sleeping")の意味を解説	[今日の重要用語・キーワード] Watch out had better ～ pout checking it twice for goodness sake jubilee	
["今日の学習内容"の記載箇所] テキスト p. 1-3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] シンプルに聞こえて、所々囃みやすいポイントがある曲になります。 何度もまねて練習することで、発話ができるようになります。 リズムに合わせて発音することで、英語のイントネーションが自然になります。 歌詞の内容を考えながら、自分のクリスマスの思い出について英語で話す練習をしてみましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 47 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(前期の復習(発展編)) 前期に学んだ内容を応用し、実際の場면을想定して会話を作成・練習。		
[今日の目標] 5W1H を活用し、質問と回答を自然に組み立てられるようにさせる。 自分の得意なトピックを選び、会話の応用力を高める。 オープンクエスチョンを使って、会話を深めるスキルを強化する。		
[今日の学習内容] 前期の復習の重要性と、Lesson 38-45 の内容を 活用する方法を説明 ・簡単な質問から始めて、徐々に具体的な話題 に発展 ・相手の話に興味を持ち、フォローアップの質問 を工夫 ・実際の場면을想定し、自然な流れで会話	[今日の重要用語・キーワード] What do you like to do in ～ free time Have you ever been to ～? What were ～ for you?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 簡単な質問から始めて、徐々に具体的な話題に発展させましょう。 相手の話に興味を持ち、フォローアップの質問を工夫してください。 実際の場면을想定し、自然な流れで会話できるように練習しましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 48 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(電話で会話をする(発展編)) 電話での問い合わせや会話スキルを強化し、大学やアルバイト先での実用的なやり取りを練習。		
[今日の目標] 電話での問い合わせをスムーズに行うスキルを養う。 5W1H を活用し、必要な情報を明確に聞き出せるようになる。 丁寧な電話対応のフレーズを学び、練習する。		
[今日の学習内容] 電話での問い合わせの基本マナーと重要フレーズを紹介 ・大学やアルバイト先に電話で問い合わせをするシナリオを作成 ・役割を交代しながら、質問と回答 ・「Make your own」セクションで、実際に使えるような会話を作成し、発表	[今日の重要用語・キーワード] I have a question about my grades available for borrowing job posting deposited	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 問い合わせ内容を整理し、シンプルな英語で話せるように練習しましょう。 丁寧な言い回しを意識し、“Could you repeat that?” などの表現を活用してください。 実際の電話シチュエーションを想定し、会話の流れをスムーズに進める練習をしましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 49 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(友人との会話①〈発展編〉) 趣味について詳しく話し、友人との自然な会話を深める練習を行う。		
[今日の目標] 自分の趣味について具体的に説明するスキルを強化する。 相手の趣味について質問し、会話を広げる力を養う。 5W1Hを活用し、より深い会話を展開できるようになる。		
[今日の学習内容] 趣味に関する会話の重要性と、関連フレーズ それぞれの趣味について話し合うロールプレイ を実施 ・「Make your own」セクションで、自分の趣味をテーマにしたオリジナルダイアログを作成 ・自分と相手の趣味の共通点や違いについてディスカッション	[今日の重要用語・キーワード] makes you think working hard on it colour expression leave a strong impression	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 自分の趣味について、具体的な例やエピソードを準備しておきましょう。 相手の話をよく聞き、フォローアップの質問(例: “How long have you been doing it?”)を積極的に取り入れましょう。 自然な会話の流れを意識して練習し、リラックスして取り組んでください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第50回(全56回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(友人との会話②〈発展編〉) 楽しかった経験をテーマに会話を展開し、エピソードを共有する練習を行う。		
[今日の目標] 楽しかった経験について英語で詳しく話せるようになる。 相手の話を引き出し、共感やリアクションを適切に伝えるスキルを強化する。 5W1Hを活用し、詳細なエピソードを構成できるようになる。		
[今日の学習内容] 経験を話す際の重要なフレーズ ・自分の楽しかった経験を相手に話し、感想や質問 ・5W1Hを活用して、相手の話を深掘りするロールプレイを実施 ・「Make your own」セクションで、旅行や特別なイベントをテーマにしたオリジナル会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] ～is so much fun homemade pizza Have you been anywhere recently? ～are amazing!	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 自分の楽しかった経験を具体的に描写し、相手がイメージしやすいよう工夫しましょう。 相手の話に積極的に興味を示し、「That sounds amazing!」などのリアクションを活用してください。 旅行や特別な出来事など、自分が話しやすいトピックをレッスン前に考えておくとスムーズに話せます。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 51 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(友人との会話③<発展編>) パーティーの準備をテーマに、友人と計画を立てる英語スキルを練習。		
[今日の目標] 5W1H を活用し、イベントの計画や準備に関する会話をスムーズに進める。 必要なタスクを分担し、適切に依頼や提案を行うスキルを強化する。 相手の意見を尊重しながら、調整や変更を柔軟に行う能力を養う。		
[今日の学習内容] イベント準備に関する基本フレーズ ・パーティーのテーマを決め、準備について話し合うシミュレーションを実施 ・5W1H を活用して、持ち寄りのリストを作成し、それぞれの役割を決定 ・「Make your own」セクションで、オリジナルの会話を作成し、発表	[今日の重要用語・キーワード] decorations fairy lights in charge of grilling	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 役割分担を決める際には、“Can you bring ～?” や “I’ll take care of ～.” などの表現を活用しましょう。 相手の提案に対して、“That sounds good!” や “What do you think about this idea?” などのフレーズを使い、自然なやり取りを心がけてください。 実際のイベントを想定し、より実践的な練習を行いましょ。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 52 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(不測の事態で使う表現<発展編>) 予期せぬトラブルや失敗に対応する表現を学び、謝罪や状況説明をスムーズに行う練習。		
[今日の目標] 不測の事態における謝罪表現を学ぶ(例: "I'm terribly sorry for the inconvenience."). トラブル発生時に状況を説明し、解決策を提示できるようにする。 冷静に適切な対応をするための会話スキルを向上させる。		
[今日の学習内容] 予期せぬ問題が発生した際の基本フレーズ ・仕事や日常生活でのトラブルを想定したロールプレイ(例: 約束を忘れた、重要なファイルを紛失した) ・5W1H を活用し、謝罪と説明をスムーズに行う ・「Make your own」セクションで、過去に見た他人の失敗を参考にした会話を作成	[今日の重要用語・キーワード] being late I feel awful recover from a cold Do you want me to bring you something?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 謝罪の際は、状況を説明しつつ、解決策を提示することで誠意を伝えましょう。 「I understand your frustration.」などの共感フレーズを取り入れると、相手の気持ちに寄り添うことができます。 実際の経験を振り返り、自然な表現で対応できるよう練習してみてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 53 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 自己学習(確認と再度学習) 音楽を使った英語学習を通じて、リスニングと発音を強化。		
[今日の目標] 歌詞を通して英語の表現力とリスニングスキルを向上させる。 英語のリズムに慣れ、ナチュラルな発音やイントネーションを練習する。 歌詞の意味を考えながら、日常会話で応用できるフレーズを習得する。		
[今日の学習内容] 題材は:What a Wonderful World ・シャドーイング練習で英語の流れを意識 ・歌詞に登場するフレーズの意味を理解し、日常会話での応用方法を学ぶ	[今日の重要用語・キーワード] bloom blessed sacred on the faces much more	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p. 1-3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 聞きなれない発音でも練習できるようになりましょう。 歌詞を単なる単語の羅列として捉えず、情景をイメージしながら音読しましょう。 歌詞の一部を自分の言葉に置き換えて、英語の表現を応用する練習をしましょう。 シャドーイングを繰り返し行うことで、リスニング力と発音が向上します。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 54 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Free Combination) これまで学んだ英語表現を使い、自分たちでオリジナルのダイアログを日本語で作成。		
[今日の目標] 全てのレッスンで学んだフレーズを統合し、自然な会話を作る力を養う。 グループで協力し、シナリオを組み立てるスキルを向上させる。 実際のシチュエーションを想定し、実践的な会話力を高める。		
[今日の学習内容] ダイアログ作成のコツ ・グループで発表するトピックを選択(例: 旅行、 買い物、レストランでの注文、友人との会話など) ・5W1H を活用し、日本語でダイアログを作成	[今日の重要用語・キーワード] Can you tell me more about that? That's an interesting point! Sorry, could you say that again?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～6		
[授業に参加する学生へのアドバイス] シンプルな表現を使い、分かりやすいダイアログを作成しましょう。 実際の場면을想定し、日常で使える会話を考えることが重要です。 発表を意識し、リラックスして話す練習をしましょう。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 55 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Listen & Repeat) レッスン 54 で作成した日本語ダイアログを英語に翻訳し、正しい発音とリズムで練習。		
[今日の目標] 日本語から英語への翻訳スキルを向上させる。 自然な英語の語順や表現に慣れる。 発音やイントネーションを意識しながら、スムーズな会話ができるようにする。		
[今日の学習内容] 翻訳時のポイント ・ペアまたはグループで、日本語ダイアログを英語に翻訳 ・辞書やオンライン翻訳ツールを活用しつつ、講師に質問や添削を依頼 ・翻訳したダイアログを読み上げ、発音やイントネーションを調整 ・グループ内で音読し、聞き手が理解しやすい発話を意識	[今日の重要用語・キーワード] Have you ~ anything recently? What kind of dishes do you make? Is photography your hobby?	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～4		
[授業に参加する学生へのアドバイス] 英語ではシンプルな文が好まれるため、日本語の長い文を短く翻訳することを意識しましょう。 発音やイントネーションに注意しながら、ネイティブスピーカーの発話を真似して練習しましょう。 スムーズな会話の流れを意識し、聞き手が理解しやすい発話を心がけてください。		

コマシラバス		
[科目名] 留学前プログラム		第 56 回(全 56 回)
[学科 または コース名] ～学科	[学年] 1 年次	[担当教員] ～
[今日のテーマ] 日常英会話(Presentation) グループで作成したダイアログをクラスで発表し、英語のスピーキング力とプレゼンテーションスキルを強化。		
[今日の目標] 自信を持って英語で発表するスキルを習得する。 発音やイントネーション、ジェスチャーを使いながら効果的に話す能力を高める。 聴衆に伝わりやすい話し方を身につける。		
[今日の学習内容] 発表時のポイント(声の大きさ、アイコンタクト、ジェスチャー、抑揚の工夫)を説明 ・グループ内で発表のリハーサルを行い、発音や流れを調整 ・発表本番 ・フィードバックと振り返り	[今日の重要用語・キーワード] Sounds fun! Let's do it! Exactly! I love being able to explore freely! That's excellent! Of course!	
[“今日の学習内容”の記載箇所] テキスト p.1～3		
[授業に参加する学生へのアドバイス] プレゼンテーションでは、聞き手の目を見て話すことで、より自然なコミュニケーションが取れます。 大きな声でゆっくり話し、明瞭な発音を意識しましょう。 ボディランゲージを活用し、話の内容にメリハリをつけることで、聴衆の関心を引きつけられます。		

### (3) 教材

#### 留学前プログラム

## Lesson 1: トレーニングメニューを紹介、実践

---



### 英語学習トレーニングの考え方

英語を話せるようになるためには、何をすれば効果的なトレーニングになるでしょうか？もちろん英語学校やラジオ講座での学習、映画やニュース、音楽といったものを使った学習も間違いではありませんが、必要なのは、英語の知識や方法を学ぶ素晴らしい機会です。しかし「効果的に話せるようになる」という部分では、ただ学習するだけでは十分とは言えません。「話せるようになる」ために最も大切なことは、「日々の継続的な学習」と「正しいトレーニング法」にあります。それではどのようにトレーニングすれば効果的か見てみましょう。

英語学習は、いわゆる「トレーニング」です。スポーツでのトレーニングと同じであると考えてください。日々の練習を行うことで、次第に口と舌の動きが、英語を喋る事に慣れていきます。 間があいてしまうと、口と舌が英語の使い方を忘れ、動きづらくなってしまいます。また、間違ったトレーニング方法で学習を進めると、最大の効果が得られない可能性があります。レッスンで紹介される会話の例を使い、効果的に英語を学習しましょう。

英語学習を始める時の鉄則は、「広く浅く」と思われがちですが、実は「狭く深く」が正しい考えです。「広く浅く」で学習を始めた場合、土台が無い状態で膨大な知識に振り回されてしまうため、いざ英語を使う場面で、思うように口から出てこないことが多くあります。これは、しっかりとした土台を持たないまま自分の持っている知識をかき集め、そこから一番近いものを選んで話そうとしていることが原因です。一方、「狭く深く」で学習を始めると、英語の土台がしっかりと整っている状態で、その基本の形から必要な情報のみを選び出し、様々な場面で応用させるスキルを伸ばすことが出来るようになります。こうすることで、効果的に話せるだけでなく合理的に学習を進めることが可能になります。したがって、決していろいろな教材には手を出さず、基本のベースを作るためにまずは「狭く深く」を念頭に学習を始めて行きましょう。

「広く浅く」× 「狭く深く」○

1. シャドーイング練習:リスニング力とスピーキング力 ↗
2. 英会話文法トレーニング:文法項目別短文練習と表現力 ↗
3. 発音強化トレーニング:音声を使った発音練習で発音力を ↗



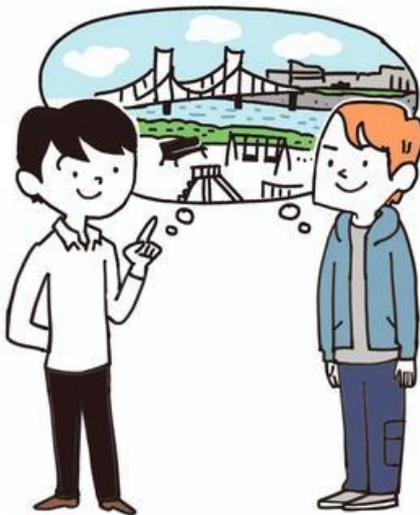
## トレーニングメニュー

次が、発音強化のトレーニングメニューになります。必ずしも全てのステップを行う必要はありませんが、最大の効果を得るためにはステップ1~7を毎日繰り返し、継続していくことをお勧めします。また、オプションとしては、リスニング強化に特化したディクテーションの方法を記載しています。ぜひ、リスニング力UPのトレーニングにも挑戦してみましょう。

今回は、一緒にトレーニングメニューを体験してみましょう。実際に、感覚や達成感を味わい、今後の自主学習に励んでください。

1. 内容と発音を理解する
2. 音声を聴く(3回)
3. 文字を見ながら音声を聴く(3回)
4. 文字を見ながら音読をする(3回)
5. 音読をする(3回)
6. シャドーイング<sup>1)</sup>をする(3回)
7. 暗唱練習

### オプション:ディクテーションの方法



- 1 聴いた音声を文字に書き写す練習方法
- 2 聴いた音を追いかけて発話する練習方法

### 1. 内容と発音を理解する

英語を学習する上で大切なことは、学習に使う素材の内容をしっかりと理解し、発音を鮮明にすることです。本格的にトレーニングする前に、しっかりと理解をする必要があります。せっかく口や舌が英語を喋る動きに慣れてきたところで、トレーニング中に「この意味は?」「この発音は?」「この文法は?」等の疑問を持ってしまうと、練習効果が薄れてしまう可能性があります。この時点でなるべく参考書や辞書で調べるなどして、疑問を解消しておきましょう。

#### Point:

- トレーニングに入る前に、頭でしっかりと理解する必要がある
- ここをおろそかにすると、その後の練習の効果が薄れてしまう

歌詞: Let It Be / Beatles (0:12 ~ 0:50) <https://www.youtube.com/watch?v=QDYfEBY9NM4>

When I find myself in times of trouble  
Mother Mary comes to me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

And in my hour of darkness  
She is standing right in front of me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be  
Wisper words of wisdom  
Let it be

歌詞: Let It Be / Beatles (0:12 ~ 0:50) 和訳版

When I find myself in times of trouble  
苦境に立たされている時  
Mother Mary comes to me  
マリア様が僕のところに現れて  
Speaking words of wisdom  
素晴らしい言葉をくれたんだ  
Let it be  
「身をゆだねなさい」って

And in my hour of darkness  
僕が暗い時を過ごしていると  
She is standing right in front of me  
彼女は僕の前に立って  
Speaking words of wisdom  
素晴らしい言葉をくれたんだ  
Let it be  
「身をゆだねなさい」って

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be  
あるがままに、なすがままに  
Wisper words of wisdom  
彼女はささやいた  
Let it be  
「身をゆだねなさい」って

## 2. 音声を聴く(3回)

ここでは、文字を見ないで音声のみを聴きます。意味は考えず、音のみに集中してください。音楽を聴くような感覚で、目を閉じて音に耳を傾けましょう。

### Point:

- ・意味を取ろうとはせずに、音を聴くことだけに集中
- ・目を閉じて、全神経を集中し音に耳を傾けましょう
- ・音を体に入れる感覚



## 3. 文字を見ながら音声を聴く(3回)

ここでは、歌詞を見ながら、音声を聴いていきます。文字と音を合致させるためのトレーニングです。文字と音をつなげることで、「**意味の塊**」として理解することができるようになります。これにより、単語一つ一つの知識が、一つの語句(いくつかの単語の塊)としての理解に変わり、より早く英語を理解/習得することが可能になります。それでは以下の歌詞を見て、イントネーション<sup>1</sup>を意識しながら音声を聴いてみましょう。

### Point:

- ・音と文字を合致させるためのトレーニング
- ・文字を見ながら聴く → 音から、意味の塊として理解する力を養う
- ・イントネーションを意識しながら聞く

**歌詞:** Let It Be / Beatles (0:12 ~ 0:50) <https://www.youtube.com/watch?v=QDYfEBY9NM4>

When I find myself in times of trouble  
Mother Mary comes to me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

And in my hour of darkness  
She is standing right in front of me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be  
Wisper words of wisdom  
Let it be

---

<sup>1</sup> 話し手の感情、意図によって生ずる声の調子

#### 4. 文字を見ながら音読をする(3回)

ここでは、音声を聴きながら音読を行います。なるべく音声を真似しながら声に出して歌詞を読み上げてください。移動中や周りに人がいる場合は、つぶやくような声でも構いません。ここでの目的は、聴いた音をそのまま発話できるようにすることです。

##### Point:

- ・声を真似ながら、つぶやくように声に出す
- ・声に出して歌詞を読み上げる
- ・聴いた音を発話できるようにすること

歌詞: **Let It Be** / Beatles (0:12 ~ 0:50) <https://www.youtube.com/watch?v=QDYfEBY9NM4>

When I find myself in times of trouble  
Mother Mary comes to me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

And in my hour of darkness  
She is standing right in front of me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be  
Wisper words of wisdom  
Let it be

#### 5. 音読をする(3回)

ここでは、音声を聴かず歌詞を見て音読を行います。今まで何度も聞いた音を思い出しながら、音読してみてください。注意するポイントは、機械的に読まないこと・無理に速さを上げないことです。抑揚をつけながら、あたかも自分が話しているかのように、気持ちを込めて音読をしましょう。アドバイスとして、手の動きや体を動かすと、より気持ちを込めやすくなります。

##### Point:

- ・何度も聞いた音を思い出しながら、音声に近づけるように音読してみる
- ・機械的に読まないこと / 無理に速さを上げないこと
- ・自分が話しているかのように、気持ちを込めて音読する

歌詞: **Let It Be** / Beatles (0:12 ~ 0:50) <https://www.youtube.com/watch?v=QDYfEBY9NM4>

When I find myself in times of trouble  
Mother Mary comes to me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

And in my hour of darkness  
She is standing right in front of me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be  
Wisper words of wisdom  
Let it be

## 6. シャドーイングをする(3回)

最後のステップです。「シャドーイング」とは、尾行する、追いかけるという意味があります。意味と同じように、聴いた音を追いかけて発話する練習をシャドーイングと言います。つまり、音が聞こえたら、その音の後に追うように同じイントネーション、同じ速さ、同じ抑揚をつけて発話します。また、ここでは歌詞を見ずにシャドーイングを行います。音に集中しながら、今まで練習してきた発話を活かしてください。初めは難しいかもしれませんが、何回か繰り返すと楽に発話出来るようになります。それでは、やってみましょう。

### Point:

- ・音読とは違い、音声のスピードと同じ速さで発声する
- ・イントネーションに注意して真似る
- ・リズムを意識して真似る



## 7. 暗唱練習

### Read & Look Up & Speak

この練習を行うことで、「リテンション」という、聴いたり読んだりした内容を、一定時間保持する能力を高めてくれます。この能力が向上すると、聴いた英語を一時的に記憶保持できる量が増え、その分意味を考える時間が作れます。また、英語を読むときに一時的に記憶保持ができると、スピーチやプレゼンテーションの時、原稿を凝視した発表のスタイルを回避することができます。

### 練習方法:

1. 歌詞を読む
2. 見上げる
3. 発話する
4. 1に戻り、次の文を読む

歌詞: Let It Be / Beatles (0:12 ~ 0:50) <https://www.youtube.com/watch?v=QDYfEBY9NM4>

When I find myself in times of trouble  
Mother Mary comes to me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

And in my hour of darkness  
She is standing right in front of me  
Speaking words of wisdom  
Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be  
Wisper words of wisdom  
Let it be

### オプション:ディクテーションのやり方

ここではディクテーションという、聴いた音声を文字に書き写す練習をします。この練習の目的は、自分の聴き取れていない音を認識することで、細かい音を聞き取れるようにすることです。自分のリスニングの弱点も見つけることができます。ディクテーションは時間も負荷もかかるトレーニングですので、毎日する必要はありません。自分の聴き取りが甘いと感じたときに、取り入れてみて下さい。

### Point:

- 自分の聴き取れていない音を認識する → 細かい音を聞き取れるようにする
- 自分のリスニングの弱点を見つけることができる
- 時間も負荷もかかるトレーニング → 毎日する必要はありません
- 自分の聴き取りが甘いと感じたときに、取り入れてみて下さい

例題:

歌詞: Let It Be / Beatles (0:50 ~ 1:04) <https://www.youtube.com/watch?v=QDYfEBY9NM4>

And when \_\_\_\_\_  
Living in \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ an answer

Let it be

## Lesson 1: 付録

---

---

スクリプト: Let It Be / Beatles

<https://www.youtube.com/watch?v=QDYIEBY9NM4>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞: 作曲: Lennon-McCartney

Let it be

When I find myself in times of trouble

Mother Mary comes to me

Speaking words of wisdom

Let it be

And in my hour of darkness

She is standing right in front of me

Speaking words of wisdom

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

Wisper words of wisdom

Let it be

And when the broken-hearted people

Living in the world agree

There will be an answer

Let it be

For though they may be parted there is

Still a chance that they will see

There will be an answer

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

Yeah, there will be an answer

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

Wisper words of wisdom

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

Wisper words of wisdom

Let it be

And when the night is cloudy

There is still a light that shines on me

Shine until tomorrow

Let it be

I wake up to the sound of music

Mother Mary comes to me

Speaking words of wisdom

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

There will be an answer

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

There will be an answer

Let it be

Let it be, Let it be, Let it be, Let it be

Wisper words of wisdom

Let it be

困難な時に

マリア様が私のところに来て

知恵を授けてくれた、ありのままに

そして暗闇の時間には

彼女は私の目の前に立っていて

知恵を授けてくれた、ありのままに

あるがままを あるがままに

全てを受け容れるのです

それは知恵のささやき

「あるがままを受け入れなさい」

そして心が傷ついた人々が  
この世界に生きていて同じ思いをしている時に  
答えがあるでしょう、ありのままに

たとえ彼らが異なる考え方があったとしても  
まだ彼らが見つける可能性がある  
答えがあるでしょう、ありのままに

あるがままを あるがままに  
全てを受け容れるのです  
そうさ 答えはそこにあるだろう  
「あるがままを受け入れなさい」

あるがままを あるがままに  
全てを受け容れるのです  
それは知恵のささやき  
「あるがままを受け入れなさい」

あるがままを あるがままに  
全てを受け容れるのです  
それは知恵のささやき  
「あるがままを受け入れなさい」

そして夜空が曇っている時も  
まだ私に輝く光がある  
明日まで輝いていて、ありのままに

私は音楽の音で目覚める  
マリア様が私のところに来て  
知恵を授けてくれた、ありのままに

あるがままを あるがままに  
全てを受け容れるのです  
そうさ 答えはそこにあるだろう  
「あるがままを受け入れなさい」

あるがままを あるがままに  
全てを受け容れるのです  
そうさ 答えはそこにあるだろう  
「あるがままを受け入れなさい」

あるがままを あるがままに  
全てを受け容れるのです  
それは知恵のささやき  
「あるがままを受け入れなさい」

## Lesson 2 : 自己紹介をする



ここでは、初対面の人とどのように話したらよいかを考えてみましょう。  
皆さんは初めての人と話すのは好きですか、それともあまり得意ではないでしょうか。  
英語でその場の雰囲気を和ませるような話題を考えておくゆとりがあると、新しい出会いもリラックスして楽しめるようになります。

### Let's talk about yourself!

- 1) Are you shy to meet new people?
- 2) Do you have any ice breaking topics?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 初対面の2人、TimothyとAkikoが挨拶をしているところ ☆☆☆

A: Hi, ①great to meet you. I'm Timothy.

B: Hi, great to meet you, too. I am Akiko. Please call me Aki.

A: Hi, Aki. You can call me Tim.

B: So Tim, ②what do you do?

A: ③I'm a sales rep. What about you?

B: I'm a programmer.

初対面の時に気をつけたいのが名前の呼び方です。

日本の名前は分かりにくいこともあるので、覚えてもらいやすいニックネームを考えておきましょう。会った時にすぐに親しみを込めて、Please call me ○○.と言えるようにしておくとそのあとの会話もスムーズになります。

## Words & Phrases:

- ① Great to meet you. / はじめまして。  
お会いできて光栄です。/ It's a pleasure to meet you. (formal)  
調子はどうですか? / How's it going? (オセアニア風)

- ② What do you do? / お仕事は何をしているのですか。  
お仕事は何をしているのですか。/  
What do you do for a living?  
What is it that you do?

その他

出身はどちらですか。/ Where are you from?  
今日はどうやって来られましたか。/ How did you get here today?

- ③ I'm a sales rep. / 私はセールスマン(営業マン)です。  
～で働いています。I work for ～。  
I work for an automobile manufacturer. (自動車メーカーで働いています)  
I'm a marketing team manager in a cosmetic company.  
(コスメ企業でマーケティングのマネージャーをしています)

職業について

日本では比較的、会社員、学生などのように表現しがちですが、英語では何をやる会社で働いているのか、何を学ぶ学生なのかなどの内容を伝えるほうがより分かりやすいです。また無職といった言い方ではなく、主婦で家にいるという表現や、定年退職なども retired というふうに状況がわかると話しやすいかもしれません。また、主語を My company is～. としてしまいがちですが、主語はあくまで“I”で表すことにも気をつけましょう。

## Other situations:

- ① 友人が主催しているパーティーで、初対面の人と挨拶を交わしましょう。  
② バーで友人に紹介された人と会話をしてみましょう。

初対面の人と話す時は、質問をする内容にも注意をする必要があります。

例えば、女性の外国人教師が初対面の生徒数名に“Do you have a boyfriend?”

(彼氏はいますか。)と聞かれてびっくりしたと言っていたのを聞いたことがあります。

この様に‘彼氏’の事を聞くのは日本では親しみを込めた質問のように感じますが、悪気は無くとも、仲良くなる前からあまり個人的な事は聞く事は控えた方が良いでしょう。

\*初めて英語で話す相手との会話は不安や緊張もありますが、日本の考え方からは一旦離れて英語で親しくなっていく会話の入口を見つけて、ぜひ新しい出会いを楽しんで下さい。

## Lesson 3: 確認と再度学習

---

スクリプト: Your Song / Elton John

<https://www.youtube.com/watch?v=GIP1fCy1url>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞: バーニー・トープン 作曲: エルトン・ジョン

### Your Song

It's a little bit funny

This feelin' inside

I'm not one of those who can easily hide

I don't have much money, but boy if I did

I'd buy a big house where we both could live

If I was a sculptor,

But then again, no

Or a man who makes potions in a travelin' show, oh

I know it's not much, but it's the best I can do

My gift is my song and this one's for you

And you can tell everybody

This is your song

It may be quite simple, but

Now that it's done

I hope you don't mind

I hope you don't mind that I put down in words

How wonderful life is while you're in the world

I sat on the roof  
And kicked off the moss  
Well a few of the verses  
Well, they've got me quite cross  
But the sun's been quite kind  
While I wrote this song  
It's for people like you that keep it turned on

So excuse me forgettin'  
But these things I do  
You see I've forgotten  
If they're green or they're blue  
Anyway, the thing is, what I really mean  
Yours are the sweetest eyes I've ever seen

And you can tell everybody  
This is the song  
It may be quite simple, but  
Now that it's done

I hope you don't mind  
I hope you don't mind that I put down in words  
How wonderful life is while you're in the world

I hope you don't mind  
I hope you don't mind that I put down in words  
How wonderful life is while you're in the world

ちょっと可笑的かな  
今の気持ちを伝えたい  
気持ちを隠すのがどうも下手なんだ  
お金なんて大して持っていないけど、持っていたら  
君と一緒に住めるくらいの大きさの家を買いたいな

もし僕が彫刻家だったなら  
でも、それは違うな  
もしみんなを楽しませる魔法の旅芸人だったなら  
十分なことはできないけど、精一杯のことなんだ  
僕の歌を贈るよ、これは君への贈り物なんだ

みんなに言っているんだよ  
これは君のために作った歌なんだ  
ちょっとシンプル過ぎるかも、でも  
今できあがったんだ  
受けとめてくれればいいな  
受けとめてくれればいいな、言葉に込めた想いを  
君がこの世界にいてくれる、それだけで人生は素晴らしい

屋根の上に座って、苔を蹴落とした  
だって、いくつかの言葉がうまく出てこなくて  
それで、機嫌が悪くて  
でも、太陽はね  
この歌を書いている間とても優しかった  
そんないつも歌を聴いてくれる君みたいな人に贈るんだ  
それから、忘れっぽくてゴメン  
いつものことだけどね  
そう、忘れてしまったよ  
君の眼が緑だったか青だったか  
まあ、そんな話だけど、何が言いたいのかって、  
君の眼が今まで見たことがある中で一番優しい色した眼なんだ

みんなに言っているんだよ  
これは君のために作った歌なんだ  
ちょっとシンプル過ぎるかも、でも  
今できあがったんだ

受けとめてくれればいいな  
受けとめてくれればいいな、言葉に込めた想いを  
君がこの世界にいてくれる、それだけでこの人生は素晴らしい

受けとめてくれればいいな  
受けとめてくれればいいな、言葉に込めた想いを  
君がこの世界にいてくれる、それだけでこの人生は素晴らしい

## Lesson 4: 入国審査まで



機内での様子を確認していきましょう。何か乗務員にリクエストすることはありますか。フライトの間どのようなことをして過ごしていますか。快適な空の旅になるための工夫も考えてみましょう。

### Let's talk about yourself!

- 1) Would you usually prefer a window seat, or an aisle seat?
- 2) What do you like to do during the flight?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 搭乗員Aと乗客Bの会話 ☆☆☆

A: Hello sir, would you like chicken or fish?

B: Well, I'd like to have chicken, please.

A: Here you are. ①What would you like to drink?

B: ②Can I have a cup of coffee?

A: Sure. Anything else?

B: ③I'm fine. Thank you.

### Words & Phrases:

- ① What would you like to drink? / 何をお飲みになりますか。  
Would you like something to drink? / 何かお飲み物はいかがですか。  
Any drink, sir (ma'am)? / お飲み物はいかがですか。

- ② Can I have a cup of hot coffee? / ホットコーヒーを1杯もらえますか。  
Can I get a cup of hot tea? / ホットティーを1杯もらえますか。  
Do you have hot coffee? / ホットコーヒーはありますか。  
I'll have a cup of hot tea. / ホットティーをもらいます。

- ③ I'm fine. Thank you. / 大丈夫です。ありがとう。  
I'm okay. Thanks. / 大丈夫。ありがとう。  
That's okay. Thanks. / 大丈夫。ありがとう。  
I'm good. Thanks. / 大丈夫。ありがとう。  
I'm cool. Thanks. / 大丈夫。ありがとう。  
No thanks (thank you). / 結構です。ありがとう。

#### Other situations:

あなたは今飛行機に搭乗しています。Can I have ~? の表現を用いて様々なもの(例:雑誌、枕、毛布、水、)を搭乗員にリクエストしてフライトを快適なものにしましょう。

A: Excuse me? Can I have (\_\_\_\_\_)?

B: Sure. I'll bring it right away.

国をまたいで移動する際は入国審査用フォーム(Immigration Card)が機内で配られます。(到着空港でも用意されています)フォームは通常全て英語表記です。漏れや記入ミスのないようにし、入国審査をスムーズに行いましょう。



あなたはどのようにして行きたい国を決めますか。海外に到着するとまず入国審査を受けます。その国を訪れる目的や期間、滞在計画など出発前に頭に入れて確認しておくでスムーズです。

#### Let's talk about yourself!

- 1) What country would you like to go to?
- 2) Would you ever think of emigrating?

**Dialogue:**

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆★☆☆ 審査官Aと入国希望者Bの会話 ☆★☆☆

A: May I see your passport?

B: Here you are.

A: ①What's the purpose of your visit?

B: I'm here ②for sightseeing.

A: ③Where will you be staying?

B: I'll be staying at Best Western Hotel downtown.

**Words & Phrases:**

- ① What's the purpose of your visit? / 何が目的で来ましたか。  
What's the reason for your visit? / 何が理由で来ましたか。
- ② I'm here for sightseeing. / 観光で  
on business / 仕事で  
to study English / 留学で  
to visit my friends / 友人を訪ねに来ました。
- ③ Where will you be staying? / どこに滞在予定ですか。  
Where are you going to stay? / どこに滞在するつもりですか。  
Where are you planning to stay? / どこに滞在予定ですか。

**Other situations:**

あなたは今入国審査を受けています。Dialogue のやりとりの最後に滞在期間をたずねられました。以下の表現を使ってうまく返答しましょう。

A: How long will you be staying in the Australia? / 豪州にはどのくらい滞在しますか。

B: I'll be staying here for (\_\_\_\_\_).

- a. 2週間
- b. 3ヶ月
- c. 半年
- d. 1年と3ヶ月
- e. 数週間

\*入国審査で聞かれる質問の内容はほぼ決まっていますので、慌てず的確に答えましょう。目的や期間、滞在场所などはすぐに答えられるようにしておきましょう。質問の意味が分からない時は適当に答えるのではなく、もう一度言ってほしい、ゆっくり言ってほしいなどしっかりと伝えることが大切です。

## Lesson 5: 買い物をする



さて、買い物をしていきましょう。あなたは日常の買い物にどのくらい出かけますか。通販サイトなどで自宅まで配達してくれるところも多いですが、実際のお店に行って買うものはどのようなものですか。

### Let's talk about yourself!

- 1) How often do you go grocery shopping?
- 2) Do you check for any discounts?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 買い物客Aと店員Bの会話 ☆☆☆

A: Excuse me. ① Where can I find some potato chips?

B: They're ② on Aisle 6.

A: Okay. And how about bananas?

B: They are on Aisle A near the cashier.

A: ③ Thank you very much.

B: You're welcome.

### Words & Phrases:

- ① Where can I find some potato chips? /  
ポテトチップスはどこで見つけられますか。  
Where are potato chips? / ポテトチップスはどこですか。  
I'm looking for some potato chips. / ポテトチップスを探しています。  
Where do you keep potato chips? / ポテトチップはどこに置いていますか。

② They're on Aisle 6. / 6番通路にあります。

They're next to the cookies over there. / 向こうのクッキーの隣です。

They're right by the entrance. / 入口の直ぐそばです。

They're in the snack section. / お菓子売り場にあります。

③ Thank you very much. / どうもありがとうございます。

Thanks. / ありがとう。

Thanks for your help. / 助けて(教えて)くれてありがとうございます。

I appreciate your help. / あなたの助けに感謝します。

### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

Aさんは海外のスーパーで買い物をしています。店員Bに商品の場所を尋ねましょう。

主に欧米のスーパーでは、カートを使って買い物をする時に通常カート同士がチェーンでつながれていたり、硬貨を入れると使えるようになっていることが多く、買い物が終わって所定の場所へ戻したり、使い終わるとそのお金が返却されるようになっています。使い方を確認しておきましょう。またセルフレジが多く見られてきています。

ディスカウントの表示としては、"3 for 2" (3つ買っても2つの値段)や、"buy 2 get 1 free" (2つ買うともう1つ無料)、"2 for 5 dollars" (2つで5ドル)などスーパーでもよく見かけられます。

\*日常の買い物は決まったものを買うことが多いですが、このようにディスカウントしているものを見かけたり、いい商品に出会ったり、予定にはなくとも立ち寄ってみるのも楽しいでしょう。また規模の大きさもぜひ実感してみてください。



あなたはスーパーで買い物をする時にどのような基準で選びますか。消費期限や品質の良さ、価格など選ぶ条件はさまざまです。海外での日常生活を支える買い物にも慣れて充実させていきましょう。

### Let's talk about yourself!

1) Do you check the expiry date of the product?

2) Which do you value more, quality or price?

### Dialogue:

① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。

② 会話をペアになり練習しましょう。

③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 買い物客Aと店員Bの会話 ☆☆☆

A: Excuse me. ① Do you have cucumbers here?

B: Yes, they're ② over there.

A: Oh, thank you. I'm ③ also looking for seaweed and rice.

B: Seaweed and rice are both on Aisle 3.

A: Ok thanks.

B: What are you trying to cook?

A: Sushi.

### Words & Phrases:

- ① Do you have cucumbers here? / きゅうりはありますか。

Excuse me. I'm looking for cucumbers. /

すみません、きゅうりを探しているのですが。

Where are cucumbers? / きゅうりはどこですか。

- ② They're over there. / あっちはです。

They're over here. / ここです。

They're right around the corner. / ちょうどその角の向こうです。

Sorry, we don't have them here. / すみません、ここでは取り扱っていません。

- ③ I'm also looking for seaweed and rice. / 海苔とお米も探しているのですが。

～ as well (Ex: I'm looking for seaweed and rice as well.)

As well は普通、文の最後にもってきますが、also は文頭でも文中でも使えます。

### Other situations:

- ① プラスチックバックのために別料金を払わなくてはいけない場合がほとんどです。レジの人に袋はいりません、と伝えてみましょう。
- ② 海外のスーパーは想像を超えるぐらい広くて大きいところが多いです。上にある商品がとれないときに、お店の人にとってもらうように頼んでみましょう。

オーストラリア、ニュージーランドのように PIN コード(Personal Identification Number)がないキャッシュカードが使えないといった場合もあります。また日本のポイントサイトに似たキャッシュバックのシステムも国、地域によって異なるので、事前に確認して利用しましょう。また、お店の特典などのためにメールアドレスを聞かれることがあります、特に興味がなければ、That's okay (いや、それは結構です)と言って断りましょう。

\*日本でも場所によっては大型店でベルトコンベヤーに商品を自分で乗せて次の人との仕切りのバーを置くといった形も見られますし、セルフレジも一般的になってきていますが、スーパーでの買い方に慣れて品物を探していくと海外の日常の生活がまた一段と快適になってきます。ぜひ買い物は積極的にしてみましょう。

## Lesson 6:注文をする



海外のレストランで食事をゆったり楽しめるようになると、豊かな時を過ごすことができますね。あなたはどのような食事が好きですか。海外で、その土地ならではの食事もどんなものがあるかぜひ味わってみましょう。

### Let's talk about yourself!

- 1) What kind of food do you like best?
- 2) Where do you usually go when you eat out?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ レストランで、客である男性がステーキを頼んでいるところ ☆☆☆

A: ①What's the special tonight?

B: Our special tonight is the teriyaki steak with mashed potatoes.

A: I'll definitely have the steak.

B: ②How would you like the steak cooked?

A: Medium rare, please.

B: Alright. ③Anything else?

A: That's all, thank you.

### Words & Phrases:

- ① What's your special tonight? / 今夜のスペシャルメニューは何ですか。  
What do you recommend? / 何を勧めますか? → お勧めは何ですか。  
What's your recommendation? / お勧めは何ですか。  
What's your specialty? / このお店の名物は何ですか。

- ② How would you like the steak cooked? /  
ステーキはどのようにお焼きいたしましょうか。  
How would you like your steak done? / (同上)  
How would you like your steak prepared? / (同上)  
How would you like your steak? / (同上)

rare / medium-rare / medium / medium-well / well done

- ③ Anything else? / 他には何かございますか。  
Is there anything else? / (同上)  
Do you need anything else? / 他に何かお必要ですか。  
Is that everything? (カジュアルな表現) / それで全部ですか？

#### Other situations:

朝食のメニューを見ながら店員役のパートナーに注文をしましょう。店員役は特別メニューを勧めたり、調理法を確認したりサイドメニューの選択肢を確認しましょう。

海外ではチキンよりビーフの方が安い国々も多くあります。日本ではハンバーガーはファストフード(fast food)のイメージが強いですが、レストランのメニューとして載っていることも多いです。

また、国や地域によって宗教を含む思想的な立場や身体的な理由などから、HALAL、KOSHER(イスラム教、ユダヤ教で許可された食品)、GLUTIN FREE(グルテンを含まない食品)、VEGAN(動物由来ではない食品)など様々な食事が提供されています。

\*最近では感染症対策で Delivery やレストランでの人数制限など食事の仕方も今までは変化したものもあります。また日本ではあまり一般的ではありませんが、国や個人による食の多様性を重視した食事が求められています。食を通して相手の人を理解するきっかけもできることでしょう。



ファストフード店はどこでもおなじみです。気軽に利用できることも魅力の一つと言えましょう。あなたのお気に入りは何ですか。サイズや種類などその国や地域での独特の表現を確認して、楽しいひとときを過ごしましょう。

## Let's talk about yourself!

- 1) How often do you eat fast food?
- 2) What is the difference of fast food and junk food?

## Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
  - ② 会話をペアになり練習しましょう。
  - ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。
- ☆☆☆ お客さんAとファストフード店の店員Bの会話 ☆☆☆
- A: I'll have the Big Burger Combo with large coke.  
B: Is that all?  
A: Well, I'll also have ①an apple pie.  
B: Okay. Is that for here or take away? (米語では to go)  
A: ②That's for here.  
B: That'll be ③\$16.50 in total.

## Words & Phrases:

- ① I'll also have an apple pie. / アップルパイもいただきます。  
ice cream  
cookies  
chicken nuggets  
chicken wings
- ② That's for here. / 店内でいただきます。  
That's for take away. / 持ち帰ります。(米語では to go)  
I'll take it with me. / 持ち帰ります。  
I'll have it here. / 店内でいただきます。
- ③ That'll be \$16.50 in total.  
\$1 (a dollar)  
\$7.40 ( )  
\$16.00 ( )  
\$25.15 ( )

## Other situations:

お客さんと店員の役になって、メニューを見て好きなものを注文しましょう。合計金額もきちんと計算しましょう。

coke は飲み物(液体)なので厳密には不可算名詞(ひとつ、ふたつと数えることができないので a glass of coke, two cups of coffee と、わざわざ〇〇を一杯と表現する)ですが、ダイアログのように限定された状況では a coke, two cokes と表現します。

また、多くの Fast Food 店名は'sで終わっています。この'sは所有の'sで、〇〇さんのお店、という意味です。いくつかのお店の名前を挙げてみてください。

\*ファストフードレストランでの注文は基本的にどこの国でも共通のメニューはありますが、サイズや種類など全く異なるものもあります。現地での表現を確認して食事を楽しみましょう。

## Lesson 7: 予定を立てる



週末の予定について会話を進めていきましょう。あなたはどのような過ごし方をしていますか。先週はどのように過ごしましたか。お互いに週末の過ごし方のやりとりを試みましょう。

### Let's talk about yourself!

- 1) What 's your plan for the weekend?
- 2) What did you do last weekend?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 木曜日の仕事後、同僚2人が週末の予定について話しているところ ☆☆☆

A: ①What are you going to do this weekend?

B: Nothing special. I'm going to the mall with some friends.

A: That sounds pretty relaxing.

B: Yeah, I know. ②What about you? What are you going to do?

A: Oh, I'm going to check out the Q1 Tower.

B: ③That's cool. You have to take some pictures for me.

### Words & Phrases:

- ① What are you going to do this weekend? / 週末は何をする予定ですか。  
What are you up to this weekend? / 週末何をするの。  
Have you got any plans this weekend? / 週末は何か予定はありますか。  
Do you have any plans for the weekend? / 週末は何か予定はありますか。

② What about you? / あなたはどう。

How about you? / あなたはどう。

And you? / あなたはどう。

And yourself? / あなたはどう。

③ That's cool. / いいねえ。

That sounds fun. / 楽しそうだね。

You're so lucky. / いいな〜。

I'm jealous of you. / うらやましい。

### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

① 家族と朝食を取りながら、今日の予定について話しましょう。いつ何を行うか、お互いに質問をしましょう。

② 明日から一週間の休暇があるあなたと同僚は、休みの予定について話しています。色々な案を出して話しましょう。

予定について話す時は通常 be going to を使って話す事が多いです。

あらかじめ決まった予定などの時には、～する予定があるという意味で使います。

またさらに近い未来で、予定が決まっていて進行している(旅行へ行く予定で、その手配が出来ている等)場合は、I'm taking a trip to Taiwan. のように、現在進行形で話す事も出来ます。この場合、今この瞬間にしている事ではない事を、状況から判断をする必要があります。ぜひ使い分けてみましょう。

\*日本ではあまり使いませんが、英語ではよく、“have a good weekend!”

“You, too!” といった会話を聞きます。週末ゆったりと自分の時間をもって過ごすことの大切さが感じられます。私たちも週末の時間を大切にして、次の一週間のよいスタートを切っていきましょう。



このあとの予定や、これからの計画などを話していきましょう。単に予定を伝えるだけでなく、あいづちを打ったり、その感想を伝えたり、会話を続けていく表現も覚えていきましょう。

### Let's talk about yourself!

- 1) What are you doing after this?
- 2) What do you use to help you plan?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 木曜日の仕事後、同僚2人が休暇の予定について話しているところ ☆☆☆

A: ①What are you doing this summer?

B: I'm going to Hinterland with my family.

A: Wow, ②that's awesome. How long are you staying?

B: Yeah, I'm really excited. We'll go there for a week.

A: What are you planning on doing in Hinterland?

B: We'll ③probably go to hot springs and eat BBQ.

### Words & Phrases:

① What are you doing this summer? / この夏何するの。

When are you leaving? / いつ出るの。

How are you getting there? / どうやって行くの。

Who are you going with? / 誰と行くの。

② That's awesome. / それいいね。

That sounds good.

That's so nice.

I'm so jealous.

③ Probably / たぶん、きっと

Possibly

Be likely to ~

Definitely / 確実に

Absolutely

For sure

### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

①家族との夕食の場で、この夏の旅行の予定を話し合っています。どこにいつどのくらい行って、何をするのか質問しあって予定を立てましょう。

②友達とこの夏旅行に行こうという話になりました。具体的な日程と行動予定を話し合ってみましょう。

I'm really excited (楽しみにしてる)という文は他の言い換え方がたくさんあります。

たとえば、I can't wait (Ex: I can't wait to go on a trip with them) や、I'm looking forward to ~ (Ex: I'm looking forward to spending time in Hinterland with my family)。look forward to のあとにくる動詞には～ingをつけるということを忘れないようにしましょう。

\*みなさんが立てている予定について、やりとりが出来ましたか。どのようなことがしたいのかをお互いに聞き合うだけでも話題が広がり、親しく話すきっかけにもなります。会話では単に話を聞くだけではなく、それはいいですね!といった感想も加えていけるように心がけましょう。

## Lesson 8: 観光をする



あなたは渡航先でどのような観光をしたいですか。また外国の人が日本を訪れた際にどのような場所を勧めますか。目的地までの行き方や案内などを考えてみましょう。

### Let's talk about yourself!

- 1) In your hometown, are there any places you want to introduce?
- 2) Where would you like to take your guest from a foreign country?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 観光地へ向かう道すがらの会話 ☆☆☆

A: Excuse me. I want to go to the Pacific Fair Shopping Centre.

① Do you know how to get there?

B: It's down the street.

A: Can I walk there? ② Is it walkable?

B: Not so far. ③ It's quite close.

A: Is it worth going?

B: I think so. Enjoy!

### Words & Phrases:

- ① Do you know how to get there? / そこへの行き方を知っていますか。  
Could you tell me how to get there? / そこへの行き方を教えてください。  
Do you happen to know how to get there? / そこへの行き方をもしかしてご存知ですか。  
Do you know the directions? / 行き方を知っていますか。  
\* by any chance / もしかして

- ② Is it walkable? / 歩ける距離ですか。  
 Is it possible to walk there? / そこまで歩くことは可能ですか。  
 Is it a walkable distance? / それは歩ける距離ですか。  
 Is it within a walking distance? / それは歩ける範囲にありますか。  
 Is it far from here? / ここから遠いですか。
- ③ It's quite close. / それは結構近いです。  
 It's pretty (very/really) close. / それは結構近いです。  
 It's near here. / それはここから近いです。  
 It won't take long. / 時間はかからないですよ。

#### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

- ① 東京駅にて外国の方に皇居への行き方を尋ねられました。どの様に答えますか？
- ② 写真などを用いて外国であなたが行きたい目的地までの行き方を聞いてみましょう。

欧米で建物の所在を説明する際には番地ではなく、通りの名前(street's names)で説明します。小さい通りでも通り名が標識に表示されていますので、初めての町でも比較的分かり易い印象を受けます。ある通りの角に位置する建物を説明する際には、「〇〇通りと〇〇通りの交差するところ」という表現を使います。

\*日本を訪ねる外国人は通りの標識が分かりにくい日本の道には苦労することもあるようです。地図アプリなどで目的地には楽に行けますが、あなたは通りの標識表示はどちらが分かり易いと思いますか？



訪れたい施設について詳細が聞きたい時などの問い合わせ方を考えてみましょう。  
 施設ホームページなどで見ても分からないことは事前に聞き、閉館時間などは国や地域によってサマータイムや時差で異なることもあるので、現地時間を確認しておきましょう。

#### Let's talk about yourself!

- 1) Have you ever made an inquiry about a product or service you've got?
- 2) Did you have any problems getting an answer to your question?

#### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 美術館のインフォメーションデスクでの会話 ☆☆☆

A: Hi. ①What time do you close today?

B: It's Sunday, so ②we close at 5 p.m. today.

A: Great. ③Do I have enough time to see everything?

B: Yes. It takes about one hour.

A: Where is the Dali exhibit?

B: It's on the third floor.

### Words & Phrases:

- ① What time do you close today? / 今日は何時に閉館しますか。  
How late are you open today? / 今日は何時まで開館していますか。  
When are you open until? / 何時まで開館していますか。  
When do you close? / いつ閉館しますか。
- ② We close at 5 p.m. today. / 本日は5時に閉館します。  
We'll be closing at 5. / 5時に閉館します。  
We are open until 5. / 5時まで開館しています。
- ③ Do I have enough time to see everything? /  
全て鑑賞する時間はありますか。  
How long will it take to see everything? /  
全て鑑賞するのにどれくらい時間がかかりますか。  
Can I see everything in time? / 時間内に全て鑑賞できますか。  
Is it possible to see everything in time? /  
時間内に全て鑑賞するのは可能ですか。

### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

あなたは海外の動物園に来ています。閉館時間と、目的の動物の居場所を尋ねましょう。

日本国内に限らず、海外でも写真撮影が制限されている美術館や博物館があります。撮影料を払えば自由に撮影できる場所もありますので受付などで確認しましょう。

また、飲み物や筆記用具の持込みが禁止されている場合もあります。こちらも確認しましょう。国や地域によっては、服装などの制限がある場合もあります。どのような文化や習慣の地域なのかを訪れる前に確認しておきましょう。

\*訪れたい場所の詳細、たとえば混み具合や展示品の変更やその日のイベントなど直接窓口に電話で確認したほうが分かりやすいものもあります。楽しみにしていたものの変更などがないかをチェックして、渡航先での限られた時間を有効に使っていきましょう。

## Lesson 9: 確認と再度学習

---

スクリプト: Fly Me to the Moon / Frank Sinatra <https://www.youtube.com/watch?v=CFIMy48ui9s>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞: 作曲: バート・Howard

### Fly Me to the Moon

Fly me to the moon

Let me sing among those stars

Let me see what spring is like

On Jupiter and mars

In other words, hold my hand

In other words, baby kiss me

Fill my heart with song

And let me sing forevermore

You are all I long for

All I worship and adore

In other words, please be true

In other words, I love you

私の月へ連れてって

星々に囲まれ歌ってみたい

どんな春が来るのかな

木星や火星では

言いかえれば 手を握って

言いかえれば キスして欲しい

私の心を歌で満たして  
そしてずっと歌わせて  
あなたは私が待ち望んでいたすべて  
尊敬と愛情のすべて

言いかえれば どうか誠実でいて  
言いかえれば 愛してる

## Lesson 10:5W1H①

---

この単元では、皆さんがすでに学んでおられることをさらに相手の人との会話に活かして、よりスムーズなやりとりができるように練習していきましょう。

### 1. 相手について聞く



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: Hi, I'm Hiroshi, nice to meet you.

J: Hello, my name is Johnny, nice to meet you, too.

H: Where are you from originally?

J: I'm from London.

H: What do you do?

J: I work for an IT company.

H: How do you like living in Japan?

J: I love it. Food is delicious in Japan.

H: Why did you move to Japan?

J: I used to work in main office in London, but I was transferred to the Japan branch.

H: When did you move here?

J: I moved here 3 years ago.

H: Who do you live with?

J: I live with my girlfriend.

H: Great.

## 2. フレーズ

5W1H、つまり How, What, Why, Who, Where, When は情報を得るのにとっても有効な表現とされています。初めて話をする相手の人とのやりとりにも役立ちます。

★Where are you from originally?

出身はどちらですか。

★What do you do?

何を(職業)なさっていますか。

★How do you like living in Japan?

日本はどうですか。

★Why did you move to Japan?

何故日本に引っ越してきたのですか。

★When did you move to Japan?

いつ日本に引っ越してきたのですか。

★Who do you live with?

誰と一緒に住んでいますか。

## 3. Make your own.

相手について聞く会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

初対面の人たちとの会話はいかがでしたか。やりとりがあまり得意でないと感じていても、こうしたパターンを学んでおけば会話も自然とはずんできます。

## Lesson 11:5W1H②

---

話題がうまく見つけられない場合などは趣味について尋ねてみるのも話すきっかけが作りやすくなります。ぜひみなさんの趣味も英語で説明できるようにしておきましょう。

### 1. 趣味について聞く



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: What's your hobby?

J: My hobby is watching baseball. I became a big fan of Japanese baseball when I came to Japan.

H: What is your favourite team?

J: My favourite team is the Giants.

H: What other sports do you like?

J: I like to play football.

H: Oh, I love football, too. Where do you play it?

J: I play it near Meiji-Jingu.

H: How did you find your teammates?

J: I found them online.

H: When do you play football?

J: I play it on Wednesday night.

H: Why do you play on Wednesday nights?

J: That's the only time we can all meet.

H: I see. Great.

## 2. フレーズ

引き続き How, Ws(Wで始まる疑問詞の)ことを使っていろいろな質問をしていきましょう。

★What is your favourite team?

何処のチームが好きですか。

★What other sports do you like?

他に何のスポーツが好きですか。

★Where do you play it?

何処でそれをやりますか。

★How did you find your teammates?

どうやってチームメイトを探しましたか。

★When do you play football?

いつサッカーをやりますか。

★Why do you play on Wednesday nights?

何故水曜夜にやるのですか。

## 3. Make your own.

趣味について聞く会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

話題を見つけて会話が続けられるようになるとやりとりが楽しくなります。たとえ完全な形でなくとも、楽しい場面を想像しながら練習をしていくことが大切です。

## Lesson 12:5W1H+Do①

---

みなさんはどのような食べ物が好きですか。誰にとっても好みの食べ物がありますね。英語では何と言うのかをチェックして相手の人の好みも尋ねてみましょう。

### 1. 食べ物について聞く



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: What's your favourite food?

J: My favourite food is pasta.

H: What kind of pasta do you like?

J: I like salmon cream pasta.

H: How about carbonara?

J: Hmm, I don't like it that much.

H: Why don't you like it?

J: The taste is too thick for me.

H: Do you like vongole bianco, then?

J: Oh, I love vongole bianco. I eat it every week.

H: Where's your favourite restaurant for it?

J: I eat it at home.

H: Who cooks it? Your girlfriend?

J: Yeah, she's a great chef. You should come over to our house.

H: Great. When is a good day to go?

J: How about this Saturday?

H: Sure. Do you want me to bring anything?

J: No, just come.

## 2. フレーズ

H, Ws の疑問文に加え、Do you ~? などの一般動詞の疑問文を使ってみましょう。

★What kind of pasta do you like?

どの様なパスタが好きですか。

★How about carbonara?

カルボナーラはどうですか。

★Why don't you like it?

なぜ好きではないのですか。

★Where's your favourite restaurant for it?

どこのレストランでそれを食べるのが好きですか。

★Who cooks it?

誰が料理しますか。

★When is a good day to go?

いつ行くのが良いですか。

★Do you want me to bring anything?

何か持ってきて欲しい物がありますか。

## 3. Make your own.

食べ物について聞く会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

日本食も海外で人気があります。普段食べ慣れているものを英語で説明することも参考になります。ぜひトライしてみてください。

## Lesson 13:5W1H+Do②

パーティーなどに誘われた場合どのような話をすればよいでしょうか。ヒロシはパーティーの招待を受けたようです。目的や事前準備することなど歓迎する気持ちを伝えましょう。

### 1. お誘い



(J: Johnny | H: Hiroshi)

- J: I'm hosting a party this Sunday. Do you want to come?  
H: What's the occasion?  
J: It's my girlfriend's birthday party.  
H: How many people are coming?  
J: About 100 people.  
H: Wow! That's a lot of people. Where are they all going to fit?  
J: I think my house is big enough.  
H: Do you need help with the preparation?  
J: Thanks, that's very helpful.  
H: When should I come?  
J: How about at 5pm?  
H: Okay. Do you need more help? I can ask my girlfriend to come.  
J: Girlfriend? I didn't know that you have a girlfriend. Who is it?  
H: Oh, it's a secret.  
J: Why is it a secret?  
H: Well... I want to keep it a surprise.  
J: Hmm, it's suspicious.

## 2. フレーズ

Do you ~? の疑問文も引き続き使ってみましょう。

- ★What's the occasion?  
何か特別な事があるのですか。
- ★How many people are coming?  
何人来るのですか。
- ★Where are they all going to fit?  
どこに全員入りますか。
- ★Do you need help with the preparation?  
何かお手伝いしましょうか。
- ★When should I come?  
いつ来れば良いのですか。
- ★Do you need more help?  
他に手伝うことはありますか。
- ★Who is it?  
それは誰ですか。
- ★Why is it a secret?  
なぜ秘密なのですか。

## 3. Make your own.

お誘いの会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

日本ではよく”お構いなく“と言って遠慮したり、気を遣いすぎてしまうこともありますが、フランクにうれしい気持ちや手伝ってほしいことなどを伝え合いましょう。

## Lesson 14:I think + 5W1H①

大切なアポイントメントの行先情報の間違いでヒロシは道に迷ってしまったようです。  
電話を受けたジョニーの助けを借りて、無事時間通りにたどりつけたでしょうか。  
How, Where, What, Who, When, Why(5W1H) の聞き方も練習しましょう。

### 1. I'm lost.



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: Johnny, I'm lost. I'm in Red Hill but I don't know where I am.  
J: Where were you headed to?  
H: I was headed to Ms. Lespedeza's office.  
J: What do you see around you?  
H: I see an Indian restaurant, and a post office.  
J: I think I know where you are, but why are you there?  
Ms. Lespedeza's office is on the other side of Red Hill.  
H: Oh, really? I was just following the map.  
J: Who gave you the address? I think you have the wrong address.  
H: Clive did. Should I call Ms. Lespedeza to let her know that I'm late?  
J: When is your appointment with her? How late are you?  
H: An hour ago.  
J: Wait, your appointment was an hour ago and you didn't call her?  
She must be upset.  
H: Oh, no! I will call her now.  
J: You should!

## 2. フレーズ

5W1Hの聞き方も再度確認してみましょう。

Who ～? の疑問文で一般動詞を用いた場合は主語を尋ねるので Who did ～?ではなく、Who gave ～? Who gives ～? のように動詞を肯定文と同じように用いることも注意しましょう。

- ★Where were you headed to?  
どこに向かっていたのですか。
- ★What do you see around you?  
周りに何が見えますか。
- ★I think I know where you are.  
どこにいるか分かりますか。
- ★Why are you there?  
なぜそこにいるのですか。
- ★Who gave you the address?  
誰が住所を渡したのですか。
- ★I think you have the wrong address.  
あなたが持っている住所は間違っていると思います。
- ★When is your appointment with her?  
彼女との約束は何時からですか。
- ★How late are you?  
どれくらい遅れていますか。

## 3. Make your own.

I'm lost. から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

5W1H は情報を多く得られる大切な表現です。会話の中でも相手の人とのやりとりに積極的に使ってスムーズに使えるようになるまで練習しておきましょう。

## Lesson 15: I think + 5W1H②

体調が悪い時のようすを尋ねています。どのような具合なのでしょう？あなたなら具合が悪い時どうしますか。またまわりに具合が悪い人がいたらどのように声をかけますか。

### 1. I don't feel good.



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: Johnny, I don't feel so good.

J: What's wrong?

H: My head hurts badly.

J: How bad is it?

H: It feels like someone is hitting in my head with a hammer.

I took a painkiller, but it's not working.

J: When did you take it?

H: About three hours ago. Actually, I've had this problem since yesterday.

J: Why didn't you go to the hospital yesterday?

H: I had to visit my parents, so I didn't have enough time.

J: I think you need to go to the hospital now.

Where is the hospital you go to and who is your primary doctor?

H: I've never been hospitalized and rarely get sick, so I don't have a primary doctor.

J: Okay, I will go get the car, so lie down for now.

H: Thank you.

## 2. フレーズ

I think ～. 5W1Hの再確認です。相手や状況の把握に情報が多く得られる5W1Hを活用できるようにさまざまな場面を想定して、自然に問いかけができるように練習をしておきましょう。

- ★What's wrong?  
どうしましたか。
- ★How bad is it?  
どれくらいひどいですか。
- ★When did you take it?  
いつ飲みましたか。
- ★Why didn't you go to the hospital yesterday?  
なぜ昨日病院に行かなかったのですか。
- ★I think this is a common problem in Japan.  
これは日本でよくある問題だと思います。
- ★I think you need to go to the hospital now.  
今すぐ病院に行かないといけないと思います。
- ★Where is the hospital you go to?  
あなたが行く病院はどこですか。
- ★Who is your primary doctor?  
あなたの主治医は誰ですか。

## 3. Make your own.

I don't feel good から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

具合が悪くなったり何かアクシデントが起きたり、状況を冷静に把握するのは特に外国語では難しいことも想定できます。普段からこうした質問はスムーズに言えるように練習しておくで慌てずに対処できますね。

## Lesson 16:5W1H + Do + Can①

---

ジョニーが嬉しいニュースを伝えて休みを取り、仕事についての連絡をしているようです。あなたも最近うれしかったことを思い浮かべて会話を続けてみてください。

### 1. I'm happy that ~



(J: Johnny | H: Hiroshi)

J: I'm happy that my sister is getting married.

H: Congratulations. When is the wedding?

J: It's going to be in January.

H: Where is the wedding going to be?

J: It's going to be in Hawaii.

H: How long will you be away from work?

J: I would say, about two weeks.

H: Wow, for that long? Do you have paid holidays saved up?

J: Yes, I do and don't worry about work while I'm gone.

I already asked someone to cover for me.

H: Who is it? What should I do while you are away?

J: Michelle Beck is going to fill in for me. You should go to her while I'm away.

H: Why is she covering for you?

J: I'm training her to be a manager, so it's a good practice for her.

H: I see. Can you let me know your contact information just in case?

J: Sure, I will send everyone an email soon, so I will be sure to include my contact info.

H: Great.

## 2. フレーズ

How long ~? は「どのくらい(の時間、期間)?」を尋ねる表現です。  
Can you let me know ~? で教えてほしいことを依頼する時に使います。

- ★When is the wedding?  
結婚式はいつですか。
- ★Where is the wedding going to be?  
結婚式はどこで行われますか。
- ★How long will you be away from work?  
どれくらい仕事を休みますか。
- ★Do you have paid holidays saved up?  
有給は貯まっていますか。
- ★Who is it?  
それは誰ですか。
- ★What should I do while you are away?  
あなたが休みの間どうすれば良いですか。
- ★Why is she covering for you?  
なぜ彼女がカバーするのですか。
- ★Can you let me know your contact information just in case?  
念のためあなたの連絡先を教えてくださいませんか。

## 3. Make your own.

I'm happy that ~から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

「~してうれしい」という表現であなた自身が感じたことをまわりの人に伝えてみましょう。  
I'm happy that ~.で that 以下にその理由を入れます。単純だと思っても英語では口に出して表現することはまわりの人とのお互いの理解にも役立ちます。

## Lesson 17:5W1H + Do + Can②

さて、ジョニーにはビッグニュースがあるようです。Guess what. 「ねえ、聞いて！」  
と相手に関心を持たせて話を続ける表現です。あなたがまわりの人にすぐにも聞いてもらいたい話題はありますか。

### 1. Guess what.



(J: Johnny | H: Hiroshi)

J: Guess what. I won the lottery.  
H: Really? How much did you win?  
J: Five hundred million yen.  
H: Whoaaaa. Can you share it with me?  
J: I don't think so.  
H: But what are you going to spend it on?  
Don't you think it's a good idea to share it with a poor man like me?  
J: No! I won the money. It's up to me how I spend it.  
H: Who can spend that much money?  
J: I'm going to donate most of it.  
H: Really? Wow, you are a real man, Johnny.  
J: Thanks. I'm using only 0.1% of it to go travelling.  
H: Well, 0.1% of ¥500,000,000 is ¥500,000. Where will you go?  
J: Maybe to an expensive Onsen.  
H: When are you going? I want to go, too.  
J: Sure, but you have to pay for yourself.  
H: Stingy... Why won't you pay for me? (stingy ケチな)  
J: Well, like I said, I want to go to an expensive place, so I may not have enough for two people.  
H: Stingy...

## 2. フレーズ

Who can ~? で「誰が～することが出来るでしょう？(誰もできません)」そのようなことをできるはずがない、といった意味合いが表現できます。

Don't you think ~? は「～だと思いませんか？(思いますよね?) 」と相手に同意を得たい時に用いることができます。

★How much did you win?

いくら当たりましたか。

★Can you share it with me?

分けてくれませんか。

★What are you going to spend it on?

何に使いますか。

★Don't you think it's a good idea to share it with a poor man like me?

僕のようにお金のない人間と分けるのは良いアイデアとは思わないのですか。

★Who can spend that much money?

そんな大金を使い切る人がいますか。

★Where will you go?

どこに行くのですか。

★When are you going?

いつ行くのですか。

★Why won't you pay for me?

なぜ僕の方は払わないのですか。

## 3. Make your own.

Guess what から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

あなたには最近サプライズニュースはありますか。英語を学ぶときも単なる勉強としてだけではなくて、ぜひあなた自身の身の回りの何気ない出来事、また驚くようなニュースをまわりの人と共有してみてください。

## Lesson 18: 確認と再度学習

---

スクリプト: Tears in Heaven / Eric Clapton <https://www.youtube.com/watch?v=JxPj3GAYYZ0>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞: エリック・クラプトン、作曲: ウィル・ジェニングス

### Tears in Heaven

Would you know my name?

If I saw you in heaven

Would it be the same?

If I saw you in heaven

I must be strong

And carry on

'Cause I know I don't belong

Here in heaven

Would you hold my hand?

If I saw you in heaven

Would you help me stand?

If I saw you in heaven

I'll find my way

Through night and day

'Cause I know I just can't stay

Here in heaven

Time can bring you down

Time can bend your knees

Time can break your heart

Have you begging please

Begging please

Beyond the door

There's peace, I'm sure

And I know there'll be no more

Tears in heaven

Would you know my name?

If I saw you in heaven

Would you be the same?

If I saw you in heaven

I must be strong

And carry on

'Cause I know I don't belong

Here in heaven

もしも天国で会ったなら

君は僕の名前を覚えているだろうか

もしも天国で会ったなら

以前と同じでいられるのだろうか

僕は強くならなくてはいけない

そして頑張って生きていかななくてはならないね

ここ天国は僕がいるべき場所ではないとわかっているから

もしも天国で会ったなら

君は僕の手を握ってくれるだろうか

もしも天国で会ったなら

僕が立っていられるよう助けてくれるだろうか

僕は自分の進むべき道を見つけていくよ

昼も夜もね

ここ天国に僕がいることはできないとわかっているから

時の経過は、お前を落ち込ませるだろう

お前を神の前にひざまずかせるだろう

お前の心を打ち砕くだろう

そしてお前を神に請わせるようになるだろう  
どうかお願い...と

扉を超えたところには  
きっと平穏がある、そして僕にはわかる  
天国にはもう「深い悲しみなど存在しない」のだということ

もしも天国で会ったなら  
君は僕の名前を覚えているだろうか  
もしも天国で会ったなら  
以前と同じでいられるのだろうか

僕は強くならなくてはいけない  
そして頑張って生きていかななくてはならないね  
ここ天国は僕がいるべき場所ではないとわかっているから

## Lesson 19: 自己紹介をする〈発展編〉

---



Lesson 19～24 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 19 では、「自己紹介をする」の内容を[Lesson 10-17]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「自己紹介をする」で学んだ内容について、初めて会う人に対する質問を[Lesson 10-17]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson10-17 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:  
仕事、趣味、背景についての一般的な質問から始めます。

What do you like to do in your free time?  
(自由時間には何をするのが好きですか?)

Where did you grow up?  
(どこで育ちましたか?)

- ii. 「具体的にしましょう」:  
漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Why do you enjoy your hobby?  
(なぜその趣味が好きなのですか?)

How did you decide to move to your current city?  
(どうやって現在の都市に移ることを決めたのですか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:  
はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

Who influenced your career choice?  
(誰があなたの職業選択に影響を与えましたか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:  
自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love traveling! Where is the most interesting place you have visited?  
(旅行が大好きです！これまで訪れた中で一番面白かった場所はどこですか?)

- v. 「積極的に聞きましょう」:  
回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you play the guitar. How long have you been playing?  
(ギターを弾くと言いましたね。どのくらいの期間やっていますか?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

- i. 「場面を選びましょう」:  
会話がどこで行われるのかを決めましょう  
(例:カフェ、パーティー、学校のイベントなど)。
- ii. 「登場人物を紹介しましょう」:  
会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください  
(例:クラスメート、同僚、初対面の人)。
- iii. 「5W1H の質問を取り入れましょう」:  
たとえば「どこ出身ですか?」「ご職業は何ですか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。
- iv. 「会話らしくしましょう」:  
実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。
- v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:  
最後は「会えてよかったです!」「今度コーヒーを飲みに行きましょう!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.

**3. Make your own.**

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17 を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも 3 つの 5W1H の質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

Aさん	Bさん

## Lesson 20: 入国審査まで〈発展編〉

---



Lesson 19～24 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 20 では、「入国審査まで」の内容を[Lesson 10-17]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「入国審査まで」で学んだ内容について、機内での会話(客室乗務員や隣の乗客)や入国審査での会話を[Lesson 10-17]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson10-17 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:  
飲み物、食事、入国目的についての一般的な質問から始めます。

Hello sir, would you like chicken or fish?  
(こんにちは、鳥か魚どちらにいたしますか?)

What's the purpose of your visit?  
(何が目的で来ましたか?)

- ii. 「具体的にしましょう」:  
漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Can I have a cup of coffee?  
(ホットコーヒーを1杯もらえますか?)

Where will you be staying?  
(どこに滞在予定ですか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:  
はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

Would you like something to drink?  
(お飲み物はいかがですか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:  
自分の興味と相手の回答に関連付けます。

I love traveling! Where is the most interesting place you have visited?  
(旅行が大好きです！これまで訪れた中で一番面白かった場所はどこですか?)

- v. 「積極的に聞きましょう」:  
回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you visited Queensland. How long have you been there?  
(クイーンズランド州に行ったことがあるとのことですが、どのくらい滞在していましたか?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

- i. 「場面を選びましょう」:  
会話がどこで行われるのかを決めましょう  
(例:機内、入国審査)。
- ii. 「登場人物を紹介しましょう」:  
会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください  
(例:乗務員、隣の乗客、入国審査官)。
- iii. 「5W1H の質問を取り入れましょう」:  
たとえば「どこ出身ですか?」「ご職業は何ですか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。
- iv. 「会話らしくしましょう」:  
実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。
- v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:  
最後は「会えてよかったです!」「お疲れ様です!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.

### 3. Make your own.

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17 を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも 3 つの 5W1H の質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

Aさん	Bさん

## Lesson 21: 買い物をする〈発展編〉



「買い物をする」で学んだ内容について、海外のスーパーやショッピングモールで買い物を想定し、[Lesson 10-17]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson10～17の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:

商品の場所、在庫、キャンペーンを尋ねるなどの一般的な質問から始めます。

Excuse me, where can I find some potato chips?

(ポテトチップスはどこで見つけられますか?)

Do you have cucumbers here?

(きゅうりはありますか?)

- ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Is this bag on sale?

(このバッグはセール中ですか?)

Yes, we have it. Would you like to try it on?

(はい、こちらにあります。お試しになりますか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

What's the difference between these two kinds of cheese?

(この2種類のチーズはどう違いますか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答に関連付けます。

I love this design! What other design do you recommend?

(このデザインが大好きです!ほかにおすすめなデザインはありますか?)

- v. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned I can have a discount. Would this work?

(割引があると話してましたが、これでできますか?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう  
(例:スーパー、モール、家電量販店など)。

i. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください  
(例:店員、同僚、友人)。

ii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「～使えますか?」「試せますか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iii. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

iv. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「会えてよかったです!」「よい一日を!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.

ii.

iii.

iv.

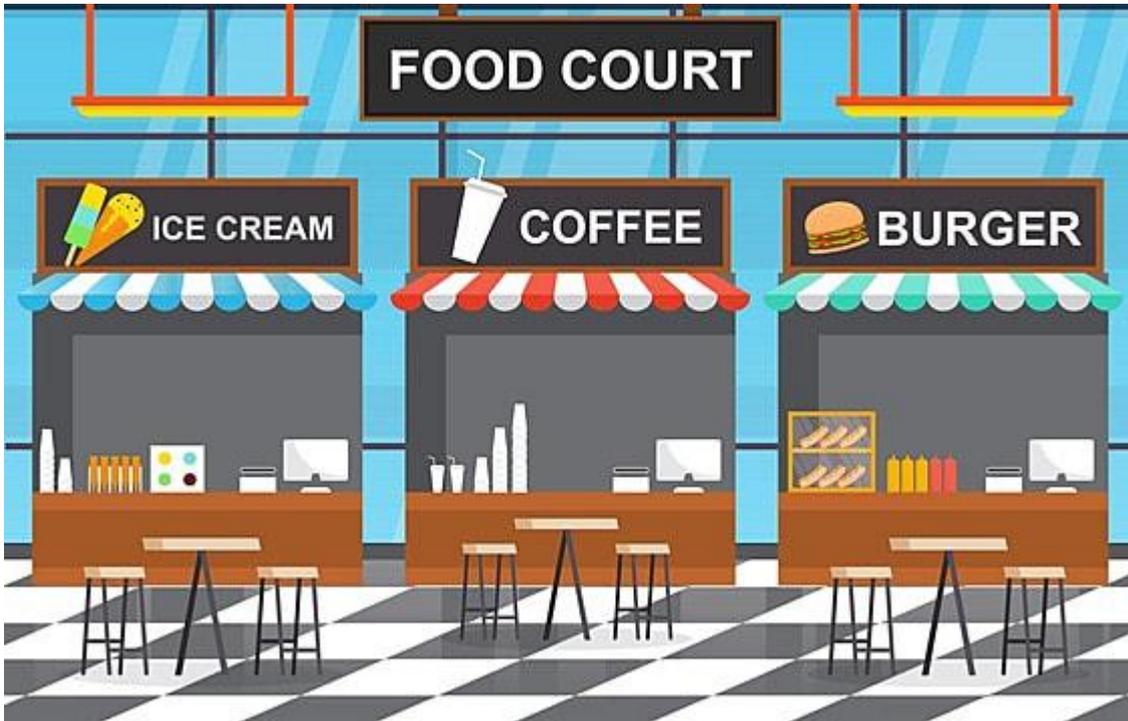
v.

**3. Make your own.**

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも3つの5W1Hの質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

Aさん	Bさん

## Lesson 22:注文をする〈発展編〉



Lesson 19～24 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 22では、「注文をする」の内容を[Lesson 10-17]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「注文をする」で学んだ内容について、ファストフードやレストランで友人と食事する想定で[Lesson 10-17]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson10～17 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:  
料理、メニュー、友人の好み等一般的な質問から始めます。

What's your special tonight?  
(今夜のスペシャルメニューは何ですか?)

What do you like?  
(何が好き?)

- ii. 「具体的にしましょう」:  
漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Do you have any vegetarian options?  
(ベジタリアン向けのメニューはありますか?)

Is that for here or take away?  
(こちらでお召し上がりですか? お持ち帰りですか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:  
はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

What do you recommend?  
(おすすめの料理は何ですか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:  
自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love meat! Where is the best restaurant to visit?  
(肉が大好きです! 最高のレストランはどこですか?)

- v. 「積極的に聞きましょう」:  
回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You are doing a dietary restriction? How is that coming?  
(食事制限をしているんだって? どんな感じ?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

- i. 「場面を選びましょう」:  
会話がどこで行われるのかを決めましょう  
(例: レストラン、ファストフード、カフェなど)。
- ii. 「登場人物を紹介しましょう」:  
会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください  
(例: ウェイター、同僚、友人)。
- iii. 「5W1H の質問を取り入れましょう」:  
たとえば「何にしますか?」「どのサイズにしますか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。
- iv. 「会話らしくしましょう」:  
実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。
- v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:  
最後は「楽しかった!」「おいしかった!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.

### 3. Make your own.

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも3つの5W1Hの質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

Aさん	Bさん

## Lesson 23: 予定を立てる〈発展編〉

---



Lesson 19～24 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 23では、「予定を立てる」の内容を[Lesson 10-17]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「予定を立てる」で学んだ内容について、友人と一緒に予定を立てて、[Lesson 10-17]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson10～17 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:  
日程、場所、目的についての一般的な質問から始めます。

What are you going to do this weekend?  
(週末は何をする予定ですか?)

How long are you staying?  
(どれくらい滞在しますか?)

- ii. 「具体的にしましょう」:  
漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

What time?  
(何時ごろにしますか?)

What movie are you going to watch?  
(どんな映画を観るんですか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:  
はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

What are you going to do?  
(何かする予定がありますか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:  
自分の興味と相手の回答に関連付けます。

I love sailing! Where is the best place you have visited?  
(セーリング大好きです！これまで訪れた中で一番良かった場所はどこですか?)

- v. 「積極的に聞きましょう」:  
回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you listened to music. What is your preference?  
(音楽を聴くと言いましたね。おすすめは何ですか?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

- i. 「場面を選びましょう」:  
会話がどこで行われるのかを決めましょう  
(例:公園、カフェ、自宅など)。
- ii. 「登場人物を紹介しましょう」:  
会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください  
(例:クラスメート、同僚、初対面の人)。
- iii. 「5W1H の質問を取り入れましょう」:  
たとえば「どこに行く?」「何をする?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。
- iv. 「会話らしくしましょう」:  
実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。
- v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:  
最後は「会えてよかった!」「楽しみだね!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.

### 3. Make your own.

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも3つの5W1Hの質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

Aさん	Bさん

## Lesson 24:観光をする〈発展編〉



Lesson 19～24 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 24では、「観光をする」の内容を[Lesson 10-17]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「観光をする」で学んだ内容について、オーストラリアで観光旅行をする想定で、[Lesson 10-17]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson10～17 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

### i. 「簡単な話題から始めましょう」:

時間、できること、確認等一般的な質問から始めます。

What time do you close today?

(今日は何時に閉館しますか?)

Can I take a picture with a koala?

(コアラと写真を撮ることはできますか?)

### ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Can you give me a discount?

(少し値引きできますか?)

How long is this tour?

(このツアーは何時間ですか?)

### iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

What is the concept?

(コンセプトは何ですか?)

### iv. 自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答に関連付けます。

### v. I love traveling! Where is the most interesting place you have visited?

(旅行が大好きです！これまで訪れた中で一番面白かった場所はどこですか?)

### vi. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned these are handmade. How long did it take to make one?

(手作りだと伺いました。一つ作るのにどれくらいかかりますか?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう  
(例:ホテル、観光案内所、イベントなど)。

ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください  
(例:案内人、同僚、友人)。

iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「どこありますか?」「おすすめは何ですか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「会えてよかったです!」「教えてくれてありがとう!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.

**3. Make your own.**

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17 を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも 3 つの 5W1H の質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

Aさん	Bさん

## Lesson 25:確認と再度学習

---

スクリプト:Piano Man / Billy Joel

<https://www.youtube.com/watch?v=gxEPV4kolz0>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞:作曲:ビリー・ジョエル

### Piano Man

It's nine o'clock on a Saturday

The regular crowd shuffles in

There's an old man sitting next to me

Makin' love to his tonic and gin

He says, "Son, can you play me a memory?"

I'm not really sure how it goes

But it's sad and it's sweet and I knew it complete

When I wore a younger man's clothes"

La la la, di d da

La la, di di da da dum

Sing us a song, you're the piano man

Sing us a song tonight

Well, we're all in the mood for a melody

And you've got us feelin' alright

Now John at the bar is a friend of mine

He gets me my drinks for free

And he's quick with a joke or to light up your smoke

But there's someplace that he'd rather

He says, "Bill, I believe this is killing me."

As a smile ran away from his face

"Well, I'm sure that I could be a movie star

If I could get out of this place"

Oh, la la la, di di da

La la, di di da da dum

Now Paul is a real estate novelist

Who never had time for a wife

And he's talkin' with Davy, who's still in the navy

And probably will be for life

And the waitress is practicing politics

As the businessmen slowly get stoned

Yes, they're sharing a drink they call loneliness

But it's better than drinkin' alone

Sing us a song, you're the piano man

Sing us a song tonight

Well, we're all in the mood for a melody

And you've got us feelin' alright

It's a pretty good crowd for a Saturday

And the manager gives me a smile

'Cause he knows that it's me they've been comin' to see

To forget about life for a while

And the piano, it sounds like a carnival

And the microphone smells like a beer

And they sit at the bar and put bread in my jar

And say, "Man, what are you doin' here?"

Oh, la la la, di di da

La la, di di da da da

Sing us a song, you're the piano man

Sing us a song tonight

Well, we're all in the mood for a melody

And you've got us feelin' alright

土曜の夜9時

いつもの顔ぶれが集まってくる

隣に座った老人は

ジントニックですっかり出来上がっている

彼が言った「若いの、思い出のあの曲はできるかい？」

どんなだったかよく覚えちゃいないが

悲しくて甘い曲で、よく覚えていたのさ

俺が若くてシャレた格好していた頃だったな」

ラララ、ディダダ

ララ、ディダダダ

歌ってくれよ、ピアノ弾きさん

歌ってくれよ、今夜

俺達は歌に浸りたいのさ

ステキな気持ちにさせてくれよ

カウンターにいるのは友達のジョン

ヤツは僕に酒をおごってくれる

冗談を言うのも、客のタバコに火をつけるのも手際いい

だけど、ヤツにはもっと相応しい場所がある

「ビル、もううんざりだよ」

神妙な顔をしてヤツが言う

「ムービースターにだってなれるはずさ、

こんなところから抜け出せたら」

ラララ、ディダダ

ララ、ディダダダ

ポールは小説を書いている不動産屋

忙しくて結婚相手も見つけられなかった

彼の話し相手は海軍を抜けられないダイヴェー  
一生を捧げる事になりそうさ

ウエイトレスは酔っ払ったビジネスマンの  
扱い方も慣れてきた  
彼らは孤独という名の酒を分け合ってる  
それでも、一人で飲むよりよっぽどマシさ

歌ってくれよ、ピアノ弾きさん  
歌ってくれよ、今夜  
俺達は歌に浸りたいのさ  
ステキな気持ちにさせてくれよ

土曜日にしては随分賑わっている店内  
支配人は僕に微笑みかける  
彼は知っているんだ、客達は少しの間、人生を忘れる為に  
僕を観に来ているって

ピアノはカーニバルのような音色で  
マイクはビールのような香りを漂わす  
カウンターに座る客達は、チップを弾みながら僕に言う  
「君はどうしてこんなところで演奏してるんだい？」

ラララ、ディダダ  
ララ、ディダダダ

歌ってくれよ、ピアノ弾きさん  
歌ってくれよ、今夜  
俺達は歌に浸りたいのさ  
ステキな気持ちにさせてくれよ

## Lesson 26:Free Combination

---



Lesson 26～28 では、レッスン 1～24 まで学んだ表現を使い、オリジナルのダイアログを作成いたします。  
流れとして、Lesson 26 でダイアログのシチュエーションを決め、Lesson 27 で英語に翻訳、練習を行い、Lesson 28 でクラス内発表となります。

### Let's talk about yourself!

- 1) Which topic did you like the most?
- 2) Do you have any talking topics that you are good at?

### ダイアログを作る:

ペア、またはグループになり、一つのダイアログを作成いたします。最終発表まで同じメンバーで作成、翻訳、発表を行います。

このレッスンでは、今まで学んだダイアログを使い、オリジナルダイアログを作成いたします。初めはダイアログを作るシーン、または作りたい会話のトピックを決めましょう。その後ダイアログを日本語で作成し、その後英語に翻訳します。

## 1. トピック選び:

ペアまたはグループになったメンバーで発表するトピックを選びます。学習したトピックから一つ選び、作成します。

- ・自己紹介
- ・入国審査
- ・買い物をする
- ・注文をする
- ・予定を立てる
- ・観光をする

\*複数のトピックを混ぜても問題ありません。

## 2. ダイアログを作る:

ペアになり、学習した5W1Hのシリーズや、テーマごとのダイアログ等を参考に、オリジナルの会話を作りましょう。今回は日本語でダイアログを作ります。日本語でダイアログを作成する際のコツを参考にダイアログをつくりましょう。

短くシンプルな文を心がける

英語では短い文が好まれるため、日本語の段階で無駄のない簡潔な文を意識します。

例:

×「昨日、友達と一緒に公園に行って遊んだ後、カフェに寄っておしゃべりをした。」

○「昨日、公園に行った。その後、カフェで話した。」

主語を明確にする

日本語では主語を省略しがちですが、英語では主語が必要です。主語が何なのかを意識して文を作りましょう。

例:

日本語:「どこ行くの?」

英語用日本語:「あなたはどこに行くの?」

日本語と英語の語順の違いを意識する

英語では主語→動詞→目的語の語順が基本なので、日本語の段階で語順に注意して作ると翻訳しやすくなります。

例:

日本語:「この本を昨日図書館で借りました。」

英語用日本語:「私は昨日、図書館でこの本を借りました。」

丁寧語とカジュアルな言葉を使い分ける

英語でもフォーマルとカジュアルで使う表現が異なるため、日本語での敬語や話し方を明確にしておきます。

例:

カジュアル:「これ、いくら？」

→ 英語:「How much is this?」

フォーマル:「こちら、おいくらですか？」

→ 英語:「How much is this, please?」

英語にない日本語特有の表現を避ける

「よろしくお願いします」や「あのー」といった日本語特有の表現は、英語に直接翻訳するのが難しいため、目的や意味を具体化しておきます。

例:

日本語:「よろしくお願いします。」

英語用日本語:「助けてくれると嬉しいです。」

文法をシンプルにする

複雑な文法や表現を避け、単純な文法構造を使うと翻訳が簡単です。

例:

日本語:「天気が良かったので、家族でピクニックに行きました。」

英語用日本語:「天気が良かったです。家族でピクニックに行きました。」

## Lesson 27: Listen & Repeat

---

---



Lesson 26～28 では、レッスン 1～24 まで学んだ表現を使い、オリジナルのダイアログを作成いたします。  
流れとして、Lesson 26 でダイアログのシチュエーションを決め、Lesson 27 で英語に翻訳、練習を行い、Lesson 28 でクラス内発表となります。

### 英語に翻訳をしてみましょう:

ペア、またはグループになり、一つのダイアログを作成いたします。最終発表まで同じメンバーで作成、翻訳、発表を行います。

このレッスンでは、前回作成した日本語のダイアログを英語に翻訳します。翻訳作業で大切なのは、的確な表現や単語もありますが、会話の流れも意識してみましょう。過去のダイアログ表現を使いながら作成すると、完成のヒントになります。難しい場合、辞書や翻訳機を使い、講師に質問や添削を依頼しましょう。

\*最後のページを使い、英語に翻訳したダイアログを記入しましょう。

## 1. 翻訳作業の10ポイント:

シンプルで分かりやすい文を心がける

日本語では一文が長くなる場合がありますが、英語ではシンプルな文に分ける方が伝わりやすいです。

例:

日本語:「昨日、友達とカフェでたくさん話して楽しかった。」

英語:「I had a great time talking with my friend at a café yesterday.」

日本語のニュアンスを英語に置き換える

直訳ではなく、状況に合った自然な表現を使いましょう。

例:

日本語:「よろしくお願ひします。」

英語:「I'm looking forward to working with you.」

「Thank you in advance.」など、状況に合わせて言い換えましょう。

主語と動詞を明確にする

英語では主語が必須です。日本語では省略されがちですが、翻訳時に注意しましょう。

例:

日本語:「行けますか?」

英語:「Can you go there?」

英語特有の語順に気をつける

日本語の語順に引きずられないようにしましょう。

例:

日本語:「この店は美味しい料理がたくさんあります。」

英語:「This restaurant has a lot of delicious dishes.」

※英語では「主語 → 動詞 → 目的語」の語順が基本です。

シチュエーションに合った言葉を選ぶ

フォーマル(丁寧)かカジュアル(日常的)かで使う表現が変わります。

例:

カジュアル:「What's up?」

フォーマル:「How are you doing today?」

英語らしい表現やイディオムを活用する

英語特有の言い回しを使うと、より自然に聞こえます。

例:

日本語:「元気ですか?」

英語:「How's it going?」や「How are you?」

文法やスペルの確認を忘れない

翻訳後は文法(主語・動詞の一致など)やスペルミスがないかチェックしましょう。

例:

× He go to school.

○ He goes to school.

辞書やオンラインツールを活用する

わからない表現があれば、辞書や翻訳ツール(Google 翻訳等)を参考にしつつ、自分たちで調整しましょう。

チーム内で意見を出し合う

英語の表現に迷ったら、グループで相談し、複数のアイデアを出してみましょう。

教師にも積極的に質問することをおすすめします。

簡潔さを大切にする

英語では簡潔な表現が好まれるため、必要以上に冗長にならないよう注意しましょう。

例:

日本語:「この問題について、いくつかの異なる視点から考えています。」

英語:「I'm considering this issue from several perspectives.」

## 2. まとめ:

授業最後に、各グループが翻訳した英語ダイアログを簡単に共有しましょう。

### 3. Translated Version

Aさん	Bさん

### 翻訳に適した語彙を選ぶ

日本語の段階で、英語に翻訳しやすいシンプルな単語を使います。難解な言葉やあいまいな表現を避けましょう。

例:

×「この問題は非常に複雑で、難解です。」

○「この問題はとても難しいです。」

### 一問一答形式を活用する

会話の中で「質問→答え」というシンプルなやり取りを意識すると、英語でもそのまま適用しやすいです。

例:

A:「何を飲みますか？」

B:「コーヒーをお願いします。」

A: "What would you like to drink?"

B: "Coffee, please."

### シチュエーションと感情を明確にする

ダイアログのシチュエーション(場所や状況)と登場人物の感情を具体的に設定すると、英語でもニュアンスを残しやすくなります。

例:

日本語:「ごめん、遅れちゃった！」

英語:「Sorry, I'm late!»

※感情(謝罪の気持ち)を明確にすることで自然な翻訳が可能。

### 翻訳を意識したサンプルダイアログ

以下のような日本語でダイアログを作成すると、英語翻訳がスムーズになります:

シチュエーション:カフェで友達と注文する

A:「何を注文する？」

B:「私はラテにする。Aは？」

A:「じゃあ、私はアイスティーにする。」

店員:「ご注文は以上ですか？」

A:「はい。ラテとアイスティーをお願いします。」

これを英語に翻訳すると:

A: "What will you order?"

B: "I'll have a latte. What about you?"

A: "Then I'll have an iced tea."

Staff: "Is that all?"

A: "Yes. A latte and an iced tea, please."

3. Make your own.

Aさん	Bさん

## Lesson 28: Presentation



### Lesson 26

～28 では、レッスン 1～24 まで学んだ表現を使い、オリジナルのダイアログを作成いたします。

流れとして、Lesson 26 でダイアログのシチュエーションを決め、Lesson 27 で英語に翻訳、練習を行い、Lesson 28 でクラス内発表となります。

#### 英語プレゼンテーションの練習と事前準備ガイド:

##### 内容を理解する

- 自分のスクリプトやダイアログをしっかり理解しましょう。
- キーフレーズを強調: 重要な文やフレーズに印をつけて、発表時にしっかり伝えられるようにします。

##### 発音練習方法

- 難しい単語の発音記号を辞書やオンラインツールで確認し、正しい発音を身につけましょう。特に強調したい単語のアクセントに注意します。
- リピート練習: ネイティブスピーカーの音声(例: 英語学習アプリや YouTube)を聞き、同じように真似して発音します。フレーズ全体のリズムやイントネーションも意識します。
- シャドーイング練習: 英語音声を聞きながら、少し遅れてそのまま発音を繰り返します。文の抑揚やスムーズさを身につけるのに効果的です。
- ゆっくり発音して確認: 難しい文や言葉は一語一語ゆっくり練習してから、スムーズな発音に近づけていきます。

##### キーポイントを暗記する

- 重要な部分を覚えることに集中しますが、全文暗記する必要はありません。自然な流れを意識して話すことが大切です。キーワードが書かれたメモやカードを使っても OK です。

#### 英語プレゼンテーションのアドバイス:

##### i. ボディランゲージのアドバイス

自信を持って見せるための姿勢や動きを意識しましょう:

背筋を伸ばす: 姿勢が良いだけで印象が大きく変わります。

アイコンタクト(聞き手の目を見て話す)を取る: 話している途中に聴衆全体を見るよう心がけましょう。  
ジェスチャーを活用する: 手や腕を使って、話している内容を補足的に強調しましょう。  
表情を豊かにする: 笑顔や真剣な表情で感情を伝えると、聴衆に親しみやすさを感じてもらえます。  
動きすぎないように注意し、自然に見える範囲で使うことがポイントです。

ii. ウォームアップ

声の準備: ハミングや早口言葉で声を温めます。

深呼吸: 発表前に緊張を和らげるため、ゆっくりと深呼吸をします。

レッスンの流れ:

1. イントロダクション(5分)

2. 発表のポイントの説明(声の大きさ、アイコンタクト、抑揚など)。

リハーサル(15分)

3. グループ内で発表の練習を行う。

発表(30分)

4. 各グループが英語ダイアログを発表。

フィードバックと採点(10分)

\*教師が採点基準に基づいて評価を行い、簡単なフィードバックを提供。

採点基準:合計点数:100点(以下の項目に基づく)

IELTSの採点項目基準を簡易的に沿ったものとなります。

\*実際のIELTS試験採点基準は、検索していただけると知ることができます。

内容の適切さ(30点)

- ・シナリオが日常生活に即しているか。 /15
- ・会話が自然で筋が通っているか。 /15

翻訳の正確さ(30点)

- ・英語への翻訳が正確かつ自然か。 /15
- ・文法や語彙に大きなミスがないか。 /15

発表のパフォーマンス(30点)

- ・声の大きさや抑揚が適切か。 /10
- ・発音や流暢さが十分か。 /10
- ・アイコンタクトやジェスチャーで聞き手に伝える工夫があるか。 /10

グループの協力(10点)

- ・チーム全体で協力してプロジェクトに取り組んだか。 /5
- ・全員が発表に参加したか。 /5

## Lesson 29: 確認と再度学習

---

スクリプト: Part of Your World / Jodi Benson

<https://www.youtube.com/watch?v=DEZTAF3YYRk>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞: ハワード・アシュマン、作曲: アラン・メンケン

### Part of Your World

Look at this stuff

Isn't it neat?

Wouldn't you think my collection's complete?

Wouldn't you think I'm the girl

The girl who has everything?

Look at this trove

Treasures untold

How many wonders can one cavern hold?

Looking around here you'd think

Sure, she's got everything

I've got gadgets and gizmos a-plenty

I've got whozits and whatzits galore

You want thingamabobs?

I got twenty!

But who cares?

No big deal

I want more

I wanna be where the people are

I wanna see, wanna see 'em dancin'

Walkin' around on those, What do you call 'em?

oh - feet

Flippin' your fins, you don't get too far  
Legs are required for jumping, dancing  
Strolling along down the, What's that word again?  
Street

Up where they walk, up where they run  
Up where they stay all day in the sun  
Wanderin' free, wish I could be  
Part of that world

What would I give, if I could live out of these waters?  
What would I pay to spend a day warm on the sand?  
Bet' cha on land they understand  
Bet they don't reprimand their daughters  
Bright young women, sick of swimmin'  
Ready to stand

And ready to know what the people know  
Ask 'em my questions and get some answers  
What's a fire and why does it, What's the word?  
burn?

When's it my turn?  
Wouldn't I love, love to explore that shore above?  
Out of the sea  
Wish I could be  
Part of that world

これを見て  
素敵でしょう？  
私のコレクションは完璧だってそう思わない？  
なんでも持っている女の子だって、そう思うでしょう？

この洞窟を見て  
見たことも聞いたこともない宝物たち  
この小さな洞窟にどれだけの不思議が隠されているのかしら  
周りを見渡せばあなたもきっとこう思うのよ  
「彼女はなんでも持っている」って

機械や道具ならたくさんあるわ  
誰のものなのか、何に使うのかわからないものもたくさん！  
この”なんとか”が欲しいって？20個あるわ  
だけど誰がそんなこと気にする？  
何にも大したことじゃないわ  
わたしの願いはこんな物じゃないの

人間が住む場所へ行きたい  
見てみたいの  
彼らが踊るところを  
そして歩き回るのよ、この二つの…  
なんて言ったっけ？  
ああ”足”で

ヒレを動かしたって遠くには行けない  
跳ねたり踊ったりするには足がなくちゃ  
そして色々見て回るの  
もう一回、あの言葉なんだっけ？  
そう、道！  
歩いて  
走って  
一日中自由に太陽の下で過ごせる世界  
私もあの世界の一部になれたらいいのに

何をあげたら水の外に出られる？  
何を支払えば1日だけでも暖かい砂の上で過ごせるの？  
陸の上ではみんなわかってくれるはずよ  
絶対に自分の娘を叱ったりなんかしないわ  
泳ぐのに疲れた輝く若い女性は  
今立ち上がろうとしているのよ

そして人間のこともっと知る準備もできているの  
みんなにたくさん質問をして

答えを見つけるのよ  
火ってなに？それはなぜ、  
ええとなんて言ったかしら？  
そう、なぜ”燃える”の？

私の番はいつになったらくる？  
遥か上の陸の世界を冒険するのが待ちきれないの  
海の外の世界  
あの世界の一部になれたらいいのに

## Lesson 30:前期の復習

---



Lesson 30 では過去に学習した内容を復習します。

1. ウォームアップ: 自己紹介 (Lesson 2, 10, 11, 12 を参照)  
ペアになって、以下の例を参考に自己紹介をしてみましょう。

A. モデル会話例:

A: Hi, my name is \_\_, nice to meet you.

B: Nice to meet you, too. My name is \_\_. What do you do for living?

A: I'm a student right now. What about you?

B: Same! Which school do you go to?

B. トピック例:

趣味や好きなこと: "What do you like to do in your free time?"

最近のニュース: "What did you do last weekend?"

旅行: "Have you ever been to a foreign country?"

追加アクティビティ:

グループ形式で「名前+好きなこと」のリレー形式自己紹介を行う。

(例: "Yoshi likes soccer, right? What's your favourite team?").

## 2. キーワード&表現復習

前期の重要表現を場面ごとに復習を進めます。

### A. 旅行と移動(Lesson 4)

フレーズ:

"What's the purpose of your visit?" (訪問の目的は?)

"I'm here for sightseeing." (観光です。)

"How long will you be staying?" (滞在期間はどのくらいですか?)

"I'll be staying for two weeks." (2週間滞在します。)

シナリオ練習:

以下のシナリオの続きを作って練習してみましょう。

シナリオ 1: 入国審査官と旅行者のやり取り。

入国審査官役: "May I see your passport?"

旅行者役: "Here you are."

シナリオ 2: 空港でのリクエスト。

乗客: "Excuse me, can I have a blanket?"

係員: "Sure. I'll bring it right away."

### B. レストランでの会話(Lesson 6)

フレーズ:

"What's your special today?" (今日のおすすめは何ですか?)

"I'll have the teriyaki steak." (照り焼きステーキをお願いします。)

"How would you like your steak cooked?"

(焼き加減はどうしますか?)

"Medium rare, please." (ミディアムレアをお願いします。)

シナリオ練習:

以下のシナリオの続きを作って練習してみましょう。

客役: 特別メニューの注文と追加のリクエストを行う。

"Can I also have a glass of wine?"

### C. 買い物の場面 (Lesson 5)

フレーズ:

"Where can I find potato chips?" (ポテトチップスはどこですか?)

"They're on Aisle 6." (6番通路です。)

シナリオ練習:

以下のシナリオを参考に別のやり取りを練習してみましょう。

シナリオ: 店員に商品の場所を尋ねる。

A: "Excuse me, do you have cucumbers?"

B: "Yes, they're over there."

### 3. ダイアログ練習: 実用的な会話スキル

以下のテーマごとにダイアログを組み立て、ペアで練習しましょう。

#### A. シチュエーション 1: 観光案内 (Lesson 8, 14)

ダイアログ例:

A: "Excuse me, how do I get to Buckingham Palace?"

B: "It's just down the street. You can walk there."

A: "Is it worth visiting?"

B: "Definitely! It's very popular."

#### B. シチュエーション 2: 予定を立てる (Lesson 7)

ダイアログ例:

A: "What are you doing this weekend?"

B: "I'm going hiking. How about you?"

A: "I'm going to visit a museum. Let's catch up next week!"

B: "Okay. What time and where shall we meet?"

#### C. シチュエーション 3: 健康について話す (Lesson 15)

ダイアログ例:

A: "I don't feel good. My head hurts."

B: "How bad is it?"

A: "It feels like a hammer is hitting my head."

B: "I think you should see a doctor."

#### 4. ロールプレイ: 応用会話練習

具体的な設定例:

##### A. 友達の家でのパーティー招待(Lesson 13)

A: "I'm hosting a party this weekend. Would you like to come?"

B: "Sure! What time should I come?"

A: "5 p.m. And feel free to bring a friend!"

B: "That's great! Then can I bring ~?"

##### B. 旅行の計画(Lesson 7)

A: "Where are you going this summer?"

B: "I'm planning to visit Kyoto. How about you?"

A: "I'm going to Okinawa for snorkelling."

B: "You have the snorkelling licence?"

#### 5. まとめと振り返り

まとめ:

全員で今日のレッスン内容を一言で振り返る。

例: "I practiced how to order food at a restaurant."

最後に、以下の質問を自由に受け付ける:

"What expressions were challenging for you today?"

"What would you like to practice more next time?"

## Lesson 31:確認と再度学習

---

スクリプト:My Heart Will Go On / Celine Dion <https://www.youtube.com/watch?v=p79GmLNLMrY>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞:ウィル・ジェニングス、作曲:ジェームズ・ホーナー

### My Heart Will Go On

Every night in my dreams

I see you, I feel you

That is how I know you go on

Far across the distance

And spaces between us

You have come to show you go on

Near, far, wherever you are

I believe that the heart does go on

Once more, you open the door

And you're here in my heart

And my heart will go on and on

Love can touch us one time

And last for a lifetime

And never let go 'til we're gone

Love was when I loved you

One true time I'd hold to

In my life, we'll always go on

Near, far, wherever you are

I believe that the heart does go on

Once more, you open the door

And you're here in my heart  
And my heart will go on and on

You're here, there's nothing I fear  
And I know that my heart will go on  
We'll stay forever this way  
You are safe in my heart  
And my heart will go on and on

私は毎晩、夢の中で  
あなたを見る、あなたを感じる  
そんな風に、あなたは生きている。

遠く離れ  
二人の間にどれほど隔たりがあろうとも  
あなたは姿を見せてくれた

そばにいても、遠くにいても、あなたがどこにしようとも  
信じている、この想いは変わらない。  
再び、あなたは扉を開き  
私の心の中に入ってきた  
私の心は、ずっと変わらない

愛は、一度だけ私たちを巡り合わせ  
一生、結び付ける  
死ぬまで、離すことは無い

あなたを愛した時、愛は  
私に訪れる、一度きりの時間となった  
私が生きている限り、ずっと二人は続いていく

そばにいても、遠くにいても、あなたがどこにしようとも  
信じている、この想いは変わらない。  
再び、あなたは扉を開き  
私の心の中に入ってきた  
私の心は、ずっと変わらない

あなたがいるから、何も怖くない  
そして、私の想いは変わらない  
私達は、ずっとこのまま  
あなたは、私の心の中に安らぎを見つけ  
私の心は、ずっと変わらない

## Lesson 32:電話で会話をする



電話で相手と話したり、用件を伝えてみましょう。相手が不在の場合の伝え方を頭に入れて、伝えるべき内容をきちんと整理して練習しましょう。

Let's talk about yourself!

- 1) Do you feel any difficulty talking on a phone?
- 2) Which do you prefer, talking on the phone or texting?

Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ BがABC社へ電話をかけ、Aが対応をしている ☆☆☆

A: Hello, ABC Corporation. How may I help you?

B: Hi. I'm David McLane. ①Can I speak to Mr. Smith?

A: ②I'm sorry, but ③he's on another line.

B: Oh, I see.

A: Could I take a message?

B: That's okay. I'll call him back.

Words & Phrases:

- ① Can I speak to Mr. Smith? / スミスさんと話せますか。  
Can I speak with Mr. Smith? / スミスさんと話せますか。

Is Mr. Smith available? / スミスさんはお手すきでしょうか。

I want to talk to Mr. Smith. / スミスさんと話したいのですが。

- ② I'm sorry, but / 申し訳ありませんが、  
We're sorry, but / 申し訳ありませんが、  
I'm afraid (that ~)\_\_\_ / 申し訳ございませんが\_\_\_ (but は抜く)  
Unfortunately, \_\_\_ / あいにく、\_\_\_ (but は抜く)

- ③ He's on another line. / 彼は別の電話に出ています。  
He's out of the office now. / 彼は外出中です。  
He's in(at) a meeting now. / ただいま会議中です。  
He's not at his desk right now. / ただいま席を外しております。  
He's on vacation this week. / 今週は休暇を取っています。

### Exercise:

あなたは下記の人たち宛の電話を受けましたが、彼らが不在にしている為、その旨を伝える必要があります。また伝言の有無も尋ねましょう。

不在の理由を考え、何度か電話の受け答えを練習しましょう。その後、役割を交代して電話をかける側も練習しましょう。

Takahiro Saito

不在の理由:

Jessica Anderson

不在の理由:

James Purshouse

不在の理由:

### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

AさんがMr. Kimbleの会社に電話しましたがMr. Kimbleは不在でした。電話を受けたBさんとの応対を考えましょう。

自分宛の電話を自分自身が受けた時は This is he. (This is she.)と言って本人である旨を伝えましょう。または単に Speaking.とだけ言っても本人であることが伝わります。

\*電話での受け答えは慣れてくるとスムーズにできるようになります。メールのように相手とのやりとりが形に残らないため、何を伝えたいのか、誰に伝えたいのかをしっかりとイメージして何度も練習をしてみましょう。

## Lesson 33:友人との会話①



ここでは趣味について話してみましよう。あなたは時間ができた時にどんなことをして過ごしていますか。スポーツや旅行や映画、音楽など初めて話す人とも話題にできると会話もはずんでくることでしょう。

Let's talk about yourself!

- 1) What's your hobby?
- 2) How long have you been doing?

Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましよう。
- ② 会話をペアになり練習しましよう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましよう。

☆☆☆ 最近知り合った2人が趣味について話をしている会話 ☆☆☆

A: Do you ① play sports?

B: Yeah, I play basketball every Sunday. Why?

A: Oh, I was just wondering.

B: What about you? What do you like to do ② in your free time?

A: I often ③ go to the movies in Brisbane.

B: That's nice. Can I join you one day?

Words & Phrases:

- ① Do you play sports? / スポーツはしますか。  
watch movies / 映画を観る  
go shopping / 買い物に行く

② What do you like to do in your free time? / 休みに何をするのが好きですか。

on weekends / 週末に  
after work / 仕事の後に  
with your friends / 友達と  
with your family / 家族と

③ I often go to the movies in Brisbane. / ブリスベンへよく映画を観に行きます。

go to the library / 図書館へ行く  
cook / 料理をする  
go drinking / お酒を飲みに行く  
meet my friends / 友人に会う

#### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

- ① ペアになり、お互いの趣味について話しましょう。まずは A が趣味について尋ね、その後役割を交代しましょう。
- ② ペアになり、お互いよく誰と何をするか話し合しましょう。

I often go to the movies と会話文ではありますが、often 以外にも、always (いつも)、sometimes (時々)、once a week (週に一回)、three times a month (月に3回)、every Sunday (毎週日曜) のような表現も使う事が出来ます。

\*感染症対策に関連して、家でできることが多くなりました。

出かけて行かなくても会話したり、交流することができるようになり、ネットミーティングなどで話す機会が増えています。趣味についても是非紹介し合って、話題を広めていきましょう。



続いて、趣味や最近関心のあることなどについて話をしています。  
みなさんが最近夢中になっていることは何ですか。また趣味については、どのくらいの期間やっているのかなどやりとりをしてみましょう。

#### Let's talk about yourself!

- 1) What other things are you interested in?
- 2) Which hobbies do you think are the most difficult?

### Dialogue:

- ① 会話を聞き、先生の質問に答えましょう。
- ② 会話をペアになり練習しましょう。
- ③ 下線部に当てはまるアイデアを考え、練習をしましょう。

☆☆☆ 最近知り合った2人が趣味について話をしている会話 ☆☆☆

A: What have you been doing ①recently?

B: I have been into playing basketball.

A: Oh, really? How often do you go play basketball?

B: Almost every ②night.

A: Oh wow! Isn't it tiring though?

B: ③Not at all. I am crazy about it.

### Words & Phrases:

- ① 最近 : Recently/Lately/These days
- ② Almost every night/ほぼ毎晩  
weekend / ほぼ毎週末  
morning / ほぼ毎朝  
every other day / 一日おきに
- ③ Not at all / まったく  
A little bit / 少しだけ  
Sometimes / たまに  
Never / 全然

### Other situations:

以下の状況で、本日学んだ表現を使いながら会話をしてみましょう。

- ① ペアになり、お互いの趣味について話しましょう。まずはAが趣味について尋ね、その後役割を交代しましょう。
- ② ペアになり、お互いよく誰と何をするか話し合しましょう。

How long have you played basketball/sung/etc? (どれぐらいバスケをしていますか。どれぐらい歌っていますか。など)という質問には、

小さいころから(since I was little)  
12歳の時から(since I was 12)  
最近始めた(I just started recently)  
というように答えられます。

\*趣味についてはいろいろな表現ができます。単に興味があるというだけでなく、どのぐらいの期間それを続けているのか、や最近興味を持つようになったものは何か、などまたそのきっかけなどを話していくうちに、相手の人ともいつの間にか打ち解けていることを実感できることでしょう。

## Lesson 34: 友人との会話②



あなたは昔、何に興味がありましたか。またそのことをまわりの人と話す機会がありましたか。ここでは以前〇〇だった、といった表現を学びましょう。

### 1. Warm Up 1

Questions about the picture:

- 1) What are they looking at?
- 2) What do you think they are talking about?

### 2. Warm Up 2

☆☆☆ レコードショップを訪れた友人二人の会話 ☆☆☆

A: I love coming into an old record shop.

B: Me, too. There were so many good songs ①back then!

A: I used to be in a school band when I was in junior high school.

B: Oh really? What instrument ②did you play?

A: I used to play the piano.

B: Do you still play now?

A: Nope. I really want to ③start up again. It was a lot of fun.

B: I used to play the guitar. Why don't we play together next time?

A: \_\_\_\_\_ . (下線部の内容を考えましょう)

Questions about the dialogue:

- 1) What do you think they are talking about?
- 2) Do you play any instruments?

### 3. Words & Phrases:

- ① back then / かつて  
before / 以前に  
in the past / 過去に  
in the old days / 昔に

- ② What instrument did you play? / 何の楽器を弾いていましたか。  
Were you in charge of \_\_\_\_\_? / 何を担当していましたか。?
- ③ I really want to start up again. / 本気でもう一度始めたいんだ。  
re-learn again / もう一度学ぶ  
start over again / また始める  
re-start / また始める  
get back into it / また夢中になりたい

#### 4. Other situations:

あなたが以前やっていた習い事や生活習慣などをパートナーに伝えましょう。

例: 昔観ていたテレビ番組など I used to watch The Wiggles on Disney Channel.

昔好きだった芸能人

昔好きだったスポーツ選手

昔の習慣(喫煙、〇〇ダイエット、毎日〇〇を食べる等)

[used] は「使用済みの」、「古い」、などを意味しますが、[used to] のように～to とセットになると過去の習慣を表すことができます。

(例:I used to smoke until the price changed.)

#### 5. Exercises:

- 1) ペアになり会話を練習しましょう。
- 2) 下線部を言い換えてみましょう。
- 3) 最後に入る A のコメントを考えて、練習しましょう。

\* 昔の写真などを見て懐かしく思うことがありますね。みなさんも昔やっていたことや夢中になっていたことなどをこの機会にぜひ思い出して、周りの人と紹介合ったりしてみましょう。



みなさんは映画を見るのは好きですか。動画配信サービスで観たい映画を手軽に観るほうですか。あるいは話題作を映画館に観に行くのが好きですか。

#### 6. Warm Up 1

Questions about the picture:

- 1) Where is this taking place?
- 2) What do you think they are looking at?

#### 7. Warm Up 2

☆☆☆ どこで何の映画を観るか相談している友人同士の会話 ☆☆☆

A: It is a 'movie day' with ①a special deal! Only 1000yen.

B: I didn't know there is a movie day.

A: Where do you want to go? Have you ever seen a movie at Roppongi Hills?

B: No, I haven't. Is it a good place?

A: Yeah, ②it's amazing. I've been there many times. It's my favourite. (米語では favorite)

B: Okay. So what movie do you like to see?

A: Actually, I haven't seen any movies recently, so ③it's up to you.

B: Okay. Let's watch the one in 3D.

A: \_\_\_\_\_.

#### Questions about the dialogue:

- 1) What are they talking about?
- 2) Do you have a favourite movie theatre? Why do you like it? (米語では theater)

#### 8. Words & Phrases:

- ① a special deal / お得  
a discount / 値引き  
a bargain / 値引き  
a special promotion / 特別企画
- ② Yeah, it's amazing. / すごいよね。  
awesome / すごい・素晴らしい  
unbelievable / 信じられない  
surprising / びっくりだ  
comfortable or comfy / 心地よい  
clean / 清潔な  
roomy / 広い
- ③ So, it's up to you. / あなた次第です。  
It depends on you. / それはあなた次第です。  
It's your call. / あなたが決めていいですよ。  
You decide. / あなたが決めていいですよ。

#### 9. Other situations:

東京を旅行で訪れている外国人の友人に、都内の特定の場所に行ったことがあるか、何をしたかを尋ねましよう。

(例: Have you been to Tokyo tower?)

主に欧米で映画を観る際に日本とは異なることとして、料金が映画館によってかなり異なり、割引システムもたくさんある所も多いです。ディスカウントチケットなどを使用する場合は、自分から積極的にクーポン等を提示しましょう。

また映画館で自由席が主流だったところでも指定席導入が徐々に見られてきています。オンラインでチケットを予約購入する場合もチケット売り場でもそれぞれの映画館の特徴をよくチェックしておきましょう。

#### 10. Exercises:

- 1) ペアになり会話を練習しましょう。
- 2) 下線部を言い換えてみましょう。
- 3) 最後に入る A のコメントを考えて、練習しましょう。  
\*海外で映画館に行くと様々な違いを体験することでしょう。料金も一律ではなかったり、映画館や観客の雰囲気もそれぞれです。あなたのお気に入りの映画館を見つけてみて下さい。

## Lesson 35: 友人との会話③



あなたは相手の人に対して遠慮をしがちですか。それともはっきりと何でも伝えられるほうですか。ここでは丁寧な依頼の仕方を学んでみましょう。

### Warm Up 1

Questions about the picture:

- 1) What are they talking about?
- 2) What do you think the man is doing?

### Warm Up 2

☆☆☆ Aが友人Bの家に遊びに来ている際の会話 ☆☆☆

A: I'm starving. ①Do you mind if I get some food from the fridge?

B: ②No, not at all. I think there are some turkey sandwiches left.

A: Nice! I love turkey sandwiches!

B: While you're in the kitchen, do you mind getting me a glass of milk?

A: No problem. Which glass can I use?

B: The blue one next to the coffee machine.

A: Could I use the bathroom before I eat?

B: Man, ③did you have to ask me that question now?

A: \_\_\_\_\_.

### Questions about the dialogue:

- 1) What do you think he wants to do?
- 2) Do you drink while you are cooking? Why or why not?

### Words & Phrases:

- ① Do you mind if I get some food from the fridge? /

冷蔵庫から食べ物を取ってもいいですか？

Is it okay if I get some food from the fridge? / 同上

Could/Can I get some food from the fridge? / 同上

Would it be okay for me to get some food from the fridge? / 同上

- ② No, not at all. / ええ、全然構わないわよ。(Do you mind に対する応答)

No, go ahead. / ええ、どうぞ。

No, help yourself. / ええ、どうぞご自由に。(いずれも英語では No で返答に注意)

Of course not. / もちろんいいよ。

- ③ Did you have to ask me that question now? /

その質問、今聞かなくてはいけなかったのですか。(そんな質問しなくていいの意)

Was that question necessary? / その質問は必要だったのかな。

Why did you have to ask that now? / なぜ今聞かなくちゃいけなかったの。

That wasn't asked for. / それ(質問・行為)は全く不要だったよ。

### Other situations:

- ① カフェなどで(差し支えない程度に)お店の人やまわりの人から許可を得ましょう。

(例:この椅子を借りても良いか等)

- ② あなたは友人に、少しお願いしにくい事を頼まなければなりません。

出来るだけ丁寧にお願いしましょう。(例:車を借りる、お金を借りる等)

英語の表現で答え方が日本語とは逆の意味になる言い方に注意しましょう。これは君の物では無い

よね？/This isn't yours, is it? この様に質問をされて、あなたの物で無い場合、日本語では、「はい、違います」と答えます。それに対して英語では、「No, it isn't.」と答えます。

また Do you mind～?は～するのをあなたは気にしますか(困りますかの意)と質問しているので、答える方が「気にかけない、依頼されても困らない」のであれば、No. や Not at all.と答えます。

日本語では、質問の形に対して、「はい」と答え、その後答えを言います。しかし、英語では、「違う」という事実に合わせて「No」と言います。

日本語での「はい」は質問の中身全体に対して「その通りです」という意味の「はい」であるのに対して、英語では質問された動詞に対してイエスカノーを答える形です。このように答える基準が異なるのは興味深いものです。

### Exercises:

- 1) ペアになり会話を練習しましょう。
- 2) 下線部を言い換えてみましょう。
- 3) 最後に入る A のコメントを考えて、練習しましょう。

\*日本人は必要以上に遠慮をして、相手に対して思っていることを伝えづらい人も多いと言われています。英語では、自分の気持ちをはっきりと伝えて、フランクに相手と付き合っていくこともお互いを理解し合う大切な点です。遠慮しすぎずに英語の考え方からも学んでいきましょう。

## Lesson 36: 不測の事態で使う表現



あなたは約束したことをうっかり忘れてしまったり、また謝られた経験はありますか。

またその時にどのような伝え方をしましたか。ここではそのやりとりを学びましょう。

### Warm Up 1

Questions about the picture:

- 1) What is the man doing?
- 2) Why do you think he is doing that?

### Warm Up 2

☆☆☆ 友人Aが前日 B の家に行く約束を忘れてしまい電話で謝っている ☆☆☆

A: ① I'm really sorry I didn't go to your house yesterday.

B: What happened? I was really worried about you.

A: I was reading a book and fell asleep.

B: I baked a cake for you.

A: ② I apologize for that, too.

B: ③ Well, it's okay. Do you have time today?

A: Yes, I'm available all day today.

B: Then you can come over and have the cake.

A: \_\_\_\_\_.

Questions about the dialogue:

- 1) What did the man forget to do yesterday?
- 2) Have you done the same thing before?

Words & Phrases:

① I'm really sorry I didn't go to your house yesterday. /

昨日君の家に行かなくて本当にごめんなさい。

I'm sorry for not going to your house yesterday. /

昨日君の家に行かなくてごめんなさい。

It was my bad for not going to your house. /

君の家に行かなくて本当にごめんなさい。

My apologies. / 申し訳ありません。

② I apologize for that, too. / それに関しても謝ります。

I apologize for the mistake. / その間違いに関して謝ります。

I apologize for what I've done. / 私がした事に関して謝ります。

Forgive me for that. / それに関しては勘弁してください。

③ Well, it's okay. / まあいいよ。

You are forgiven. / 大丈夫だよ。

No worries. / 心配ないよ。

Forget about it. / もういいよ。

Other situations:

- ① あなたは友達に対して謝らなければなりません。理由を考えてから、謝る練習をしましょう。(例:物を壊した、約束を忘れた等)
- ② あなたは、大事な記念日を忘れてしまいました。本日学んだ[sorry / apologize] の表現を用いて相手に謝り、理由を述べると共に、許してもらえるようにしましょう。

海外の人は簡単に謝らないと聞く事がありますが、必ずしもそうではなく、“謝ると不利になる状況”や“明らかに自分が悪くない状況”の時には、日本人のように何にでも単に I'm sorry. といった謝り方はしないという意味です。むしろ日本に滞在する外国人からはよく、

なぜぶつかっても謝らず素通りしたり、通勤電車に乗る時に当たり前のように押ししたりするのに謝らないのか？とよく聞かれます。日本と海外の「謝る」という概念の違いを考えてみるよいチャンスにもなりますね。

### Exercises:

- 1) ペアになり会話を練習しましょう。
- 2) 下線部を言い換えてみましょう。
- 3) 最後に入る A のコメントを考えて、練習しましょう。

\*謝ったり、誤られたり、言語が違うだけで考え方も大きく異なることがわかります。伝え方一つとっても相手の人の印象はかなり異なるので、誠意をもってどのように伝えたらよいか考えてみましょう。



体調が崩れて仕事や今やっていることを中断しなければならないこともあります。あなたならどのように状況を伝えますか。また具合の悪い人にどのように声をかけてあげますか。

### Warm Up 1

Questions about the picture:

- 1) What is the woman doing?
- 2) What do you think she should do now?

### Warm Up 2

☆☆☆ 疲れた様子のAとそれを見かけたBの会話 ☆☆☆

B: Hey, are you okay? ①You look really ②tired.

A: I'm really exhausted. I was working until 1a.m. last night.

B: Why so late? ①You seem very ②pale, too.

A: Well, my head has been ②hurting and I feel very ②dizzy.

B: Your body temperature is so high. I think you have a ③fever.

A: I think I will go home today and rest. Could you tell our boss that I am  
leaving early today?

B: Of course. I hope you'll feel better.

A: \_\_\_\_\_.

Questions about the dialogue:

- 1) What is the problem?
- 2) What do you usually do in order not to get a fever?

### Words & Phrases:

① You look really tired. / すごく疲れているように見えるよ。

You seem very pale. / 顔が青白いよ。

② 【体調が悪い時の表現方法】

- tired / exhausted つかれた
- pale 顔色が悪い
- dizzy くらくらする
- nauseous 気持ちが悪い
- catch / have a cold 風邪をひく
- get sick / 病気になる

③ 【病名】

- fever 熱
- headache 頭痛
- stomachache 腹痛

※ache (v.) = 痛む

- sore throat のどの痛み  
※sore (n.) = 痛み、筋肉痛
- allergy アレルギー
- cavity 虫歯
- asthma 喘息
- cancer 癌
- heart Disease 心臓病
- covid-19 新型コロナウイルス感染症 (coronavirus-2019)

#### Other situations:

仕事中に体調がわるくなってきてしまいました。上司にその症状を伝え、早退ができるか聞いてみましょう。病名にはほとんどの場合、[have a (病名)] で表現します。例えば、頭痛がすると言いたい時は I have a headache. といいます。また感染症などの症状の特徴も確認して、万が一の体調不良に備えましょう。

#### Exercises:

- 1) ペアになり会話を練習しましょう。
- 2) 下線部を言い換えてみましょう。
- 3) 最後に入る A のコメントを考えて、練習しましょう。

\*熱が出た、寒気があるなどの突然の症状には不安を覚えるものですが、英語で体調を伝えることができれば慌てることもなく対処法を考えることができます。また身近な人が具合悪そうにしている時にどのように接したらよいかも普段から考えておくゆとりも大切です。



あなたは指示をする側ですか。それとも指示されることが多いですか。相手の人に快く何かをしてもらえるように伝えることは難しいものです。英語では、どのように伝えたらよいでしょうか。

## Warm Up 1

Questions about the picture:

- 1) What are they doing?
- 2) Do you think they are enjoying the party? Why or why not?

## Warm Up 2

☆☆☆ パーティーの準備をしている女性Aが、男性Bに対して指示をしている ☆☆☆

A: Everybody is coming in five hours! We've got to hurry.

B: What else do we have to do?

A: A lot! ①Call A-Mart and tell them to bring the food.

B: Okay, I'll call them right away.

A: Also, ②don't forget to pick up some pastries at the bakery.

B: Oh, thanks for reminding me! I almost forgot about that.

A: And ③bring another plate because this one is full.

B: Really!? I hope I can do it in the next few minutes.

A: \_\_\_\_\_next few minutes.

Questions about the dialogue:

- 1) What are they doing?
- 2) What kind of party do you like to join?

## Lesson 37:確認と再度学習

スクリプト:You are the Reason / Calum Scott <https://www.youtube.com/watch?v=ShZ978fBl6Y>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞:作曲:カラム・スコット/Jon Maguire/Corey Sanders

You are the Reason

There goes my heart beating

‘Cause you are the reason

I’m losing my sleep

Please come back now

And there goes my mind racing

And you are the reason

That I’m still breathing

I’m hopeless now

I’d climb every mountain

And swim every ocean

Just to be with you

And fix what I’ve broken

Oh, ‘cause I need you to see

That you are the reason

There goes my hands shaking

And you are the reason

My heart keeps bleeding

I need you now

And if I could turn back the clock

I'd make sure the light defeated the dark

I'd spend every hour, of every day

Keeping you

And I'd climb every mountain

And swim every ocean

Just to be with you

And fix what I've broken

Oh, 'cause I need you to see

That you are the reason

I don't wanna fight no more

I don't wanna hide no more

I don't wanna cry no more

Come back I need you to hold me

(you are the reason)

Be a little closer

Just a little closer

Come a little closer

I need you to hold me tonight

I'd climb every mountain

And swim every ocean

Just to be with you

And fix what I've broken

Oh, 'cause I need you to see

That you are the reason

私は毎晩、夢の中で

あなたを見る、あなたを感じる

そんな風に、あなたは生きている。

遠く離れ

二人の間にどれほど隔たりがあろうとも

あなたは姿を見せてくれた

そばにいても、遠くにいても、あなたがどこにしようとも

信じている、この想いは変わらない。

再び、あなたは扉を開き

私の心の中に入ってきた

私の心は、ずっと変わらない

愛は、一度だけ私たちを巡り合わせ

一生、結び付ける

死ぬまで、離すことは無い

あなたを愛した時、愛は

私に訪れる、一度きりの時間となった

私が生きている限り、ずっと二人は続いていく

そばにいても、遠くにいても、あなたがどこにしようとも

信じている、この想いは変わらない。

再び、あなたは扉を開き

私の心の中に入ってきた

私の心は、ずっと変わらない

あなたがいるから、何も怖くない

そして、私の想いは変わらない

私達は、ずっとこのまま

あなたは、私の心の中に安らぎを見つけ

私の心は、ずっと変わらない

Words & Phrases:

① Call A-Mart and tell them to bring the food. /

A マートに電話して食べ物を持ってきてもらって。

Call Takeshi and tell him to come over. /

タケシに電話して来るように伝えて。

Call the restaurant and ask about the reservation. /

レストランに電話して予約について問い合わせる。

Call my brother and ask about the car. /

兄に電話して車について聞いて。

② Don't forget to pick up some pastries at the bakery. /

パン屋で菓子パンを買うのを忘れないように。

Don't use the bathroom. It's broken. /

トイレを使っては駄目。故障しているから。

Don't tell Sally about the present. /

サリーにプレゼントの事を言っては駄目だよ。

③ Bring another plate because this one is full. /

これが一杯になってしまったから、もう1つ皿を持って来て。

Go to the train station because Yoko is waiting for you. /

ヨウコが君を待っているから駅に行って。

Other situations:

- ① 会社の上司が部下に指示をしていると想定して、本日学んだ[命令形]の表現を用いて会話をしましょう。(例:取引先に連絡をして会議のアポを取るようにする等)
- ② あなたはお花見の幹事チームのリーダーになりました。本日学んだ[命令形]の表現を用いて、メンバーにやることの指示を出しましょう。(例:ビールを2ダース注文しておいて等)

人に指示や命令をする事が必要な場面も多くあります。しかし、特に命令に関しては頻度が多いと、される側はあまり良い気分にならない場合もあります。これは日本語でも英語でも同じです。命令形を多く使わないためにもこれらの前に please を付けると、お願いする事になり、相手に不快な思いをさせる事が減るでしょう。

Exercises:

- 1) ペアになり会話を練習しましょう。
- 2) 下線部を言い換えてみましょう。
- 3) 最後に入る A のコメントを考えて、練習しましょう。

\*誰かに～するように頼むことは日常の生活で、公私ともに多くあり、伝え方には工夫がいるものもあります。頼んだ後は相手にやってもらったことで助かったことやありがたかったことなど、ぜひその場で伝えることも心がけたいものです。

## Lesson 38: Do + Can①

さて、会話の二人はキャンプに行く計画を立てたようです。あなたならどのようなプランを立てますか。会話にしてみましょう。

### 1. 計画



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: I'm so excited to go camping tomorrow.

J: Yeah. We are going to have a lot of fun.

H: Do you think I need to bring a flashlight?

J: Oh, that's a good idea. Don't forget to bring extra batteries.

H: Actually, I won't be able to go shopping today. Can you go to buy them?

J: Hmm, I won't have time, either. Can you go before we meet tomorrow?

H: Okay, I can do that. Do you need anything else?

J: How about snacks? We need something while driving.

H: Can I buy osenbei? Do you like it?

J: Yeah, I like osenbei. Can you buy the sesame flavoured one?

H: Wow Johnny, you really like osenbei, do you?

J: Yeah.

## 2. フレーズ

今までの疑問文に加えて、Can を使った表現を確認しましょう。

Can you ～? は「～してくれますか?」「～できますか?」、Can I ～? 「～してもいいですか?」というように依頼や可能かを聞いたり、許可をとる表現ができます。

★Do you think I need to bring a flashlight?

懐中電灯は必要だと思いますか。

★Don't forget to bring extra batteries.

予備の電池を忘れずに。

★Can you go buy them?

それらを買ってきてくれますか。

★Can you go before we meet tomorrow?

明日、待ち合わせ前に行けますか。

★Do you need anything else?

他に何か必要ですか。

★Can I buy osenbei?

御煎餅を買っても良いですか。

★Do you like it?

好きですか。

★Can you buy the sesame flavoured one?

ごま味のを買ってきてくれますか。

### 3. Make your own.

計画についての会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

あなただったらどのような計画を立てて準備しますか。実際の状況はどうであれ、こうして知り合った人との会話を楽しくイメージしていくことで英語のスキルアップにもつながっていきますね。

## Lesson 39: Do + Can②

今回は落とし物をしてしまったようです。探しているものはどこでなくしたのか、どんな特徴があるのか、また相手に頼みたいことなどがあつたら聞いてみましょう。



### 1. 落とし物、探し物

(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: Oh, no. I can't find my phone!

J: Did you drop it?

H: I think I did.

J: Where did you go today? Do you remember?

H: I went shopping at the mall.

J: Did you take out your phone at the mall?

H: No, I don't think so. Can you call me? I will look around the room.

J: Okay, I'm calling. Do you hear it?

H: No, I don't.

J: What does your phone look like? Can you describe it?

H: It's a pink mobile phone.

J: Oh, does it have a scratch on the screen? I saw one in the lost-and-found.

H: Yes, it does. Can you take me to the lost-and-found?

J: Sure.

## 2. フレーズ

Can を使った表現として、「～できる」の他に Can you ～? 「～してくれますか？」と

相手に頼む言い方を学んでいます。特に丁寧に依頼する必要がないような状況ではとてもよく使われます。

★Did you drop it?

落としましたか。

★Can you remember?

思い出せますか。

★Did you take out your phone at the mall?

モールで電話を出しましたか。

★Can you call me?

(自分の携帯に)電話してみてくださいか。

★Do you hear it?

(着信音が)聞こえますか。

★Can you describe it?

見た目を表してくれませんか。

★Does it have a scratch on the screen?

それはスクリーンに傷がありますか。

★Can you take me to the lost-and-found?

落とし物コーナーに連れて行ってくれませんか。

### 3. Make your own.

落とし物、探し物についての会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

みなさんは落とし物を探したり、見つけた経験はありますか。特徴などの情報を共有し合って、相手の人に頼んだり協力を得ていく聞き方も確認しておきましょう。

## Lesson 40: Can + Is①

ここでは見たい映画やイベントなどに誘う会話をしていますが、どうやらヒロシは断られてしまったようです。「～したい」といったあなた自身がやりたいことも確認してみましょう。



### 1. I want to ～.

(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: I want to see the new Y-men movie.

J: Is that the movie that just came out today?

H: Yeah. Can you come? I want to go today.

J: Is this movie going to be long? I have to do some work tonight.

H: Can't you do it tomorrow?

J: Well, I won't have enough time if I start tomorrow.

Can we go tomorrow night instead?

H: Isn't there an event at the company tomorrow night?

J: Oh, that's right. Can I take a rain check?

H: Isn't that what you said last time?

J: Well...

## 2. フレーズ

Can の用法につづいて、Is this(that) ～? 「～ですか?」の表現です。そのまま相手に確認をとったり、Isn't ～? 「～ではないですか?」など確認以外にも文脈によっては話し手の気持ちが含まれる表現があります。

★ Is that the movie that just came out today?

それは今日公開されたばかりの(その)映画ですか。

★ Can you come?

来られますか。

★ Is this movie going to be long?

この映画は長くなりますか。

★ Can't you do it tomorrow?

明日やるのではだめですか。

★ Can we go tomorrow night instead?

代わりに明日の夜でも良いですか。

★ Isn't there an event at the company tomorrow night?

明日の夜は会社でイベントがありませんでしたっけ。

★ Can I take a rain check?

(rain check は元来イベントなどが雨天中止になった際にもらう「後日使える無料券」

を意味するもので、'take a rain check' で丁寧に相手の誘いを断る時などに使います)

また今度にしましょう。

★ Isn't that what you said last time?

それは前回も言いませんでしたか。

### 3. Make your own.

I want to から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

あなた自身が興味を持っていることに誘ってみるのもまわりの人との距離を縮めるよいきっかけになります。

たとえ断られたとしてもあなたの気持ちを正直に伝えることでコミュニケーションも生まれてきますね。

## Lesson 41: Can + Is②

ここでは仕事のパートナーとやりとりをしています。

予定があるため今日の仕事を早く終わられるか心配しているようです。相手に丁寧に許可を得る Could you～? も有効に使いましょう。



### 1. I wonder ～.

(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: I wonder if I can finish work in time today.

J: Are you in a hurry to go home?

H: Yes, there's a TV show that I want to watch. Could I go home early?

J: Is finishing the report the only thing you have to do today?

H: Yes, could I do it at home if I don't finish it in time?

J: Well, you could, but, are you sure you want to do that?

H: Is it against the company rule?

J: No, it's not, but you won't get paid for it. How much more to do?

Can you show me your progress?

H: Could you give me five minutes? I'm finishing up a section now.

J: Okay, I will wait.

## 2. フレーズ

Is(Are)につづき、Could ～? の使い方を確認しておきましょう。

Could I ～?「～してもよいでしょうか?」や Could you ～?「～していただけますか?」などは Can ～?よりも丁寧な依頼や許可の表現でとてもよく使われます。

★Are you in a hurry to go home?

早く家に帰らないといけないのですか。

★Could I go home early?

早く帰宅してもよいでしょうか。

★Is finishing the report the only thing you have to do today?

今日しないといけないことは、レポートを終わらせることだけですか。

★Could I do it at home if I don't finish it in time?

時間内に終わらなかったら家でやってもよいでしょうか。

★Are you sure you want to do that?

本当にそれで良いのですか。

★Is it against the company rule?

それは会社のルールに反しますか。

★Can you show me your progress?

進展を見せてくれませんか。

★Could you give me five minutes?

5分待ってくださいますか。

### 3. Make your own.

I wonder から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

断定をせずに I wonder ～.「～ではないかと思う、案ずる、心配する」という表現は日常生活でよく使われます。

さまざまなシチュエーションを考えて練習をして日常の会話に役立ててください。

## Lesson 42: Is + That①

昔ハワイに住んでいたジョニーはヒロシに思い出話をしているようですが…

果たして本当の話だったのでしょうか。I used to ～「かつて～した」という表現も活用してみましょう。

### 1. I used to ～.



(J: Johnny | H: Hiroshi)

J: I used to live in Hawaii.

H: Really? That sounds fantastic.

J: Well, it's not all that great. It's a nice place to visit, but not for living.

H: Is it really?

J: If you like to surf then it may be fun, but other than the beach, there's nothing to do there.

H: Aren't you a surfer though, Johnny?

J: I used to surf, but I almost got attacked by a shark one day.

H: That sounds horrible. Were you okay?

J: I almost got bitten, but I managed to escape.

H: That's amazing. How did you do that?

J: Well, you know, I can swim pretty fast.

H: Wait, are you lying? Is this a true story? That sounds fishy to me.

J: Oh, Hiroshi, did you use the word fishy because it's about a shark? If so, it's pretty funny.

## 2. フレーズ

Is(Are) ~?の表現に加えて that を見てみましょう。ここでは前に出てきた内容全体を指して That「そのこと」という意味で使っています。

★That sounds fantastic.

すごいですね。

★Is it really?

本当に。

★Aren't you a surfer though, Johnny?

でもジョニー、あなたはサーファーではなかったでしたっけ。

★That sounds horrible.

恐ろしいですね。

★That's amazing.

ものすごいです。

★Are you lying?

うそをついているのですか。

★Is this a true story?

これは本当の話ですか。

★That sounds fishy to me.

怪しいなあ。

### 3. Make your own.

I used to から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

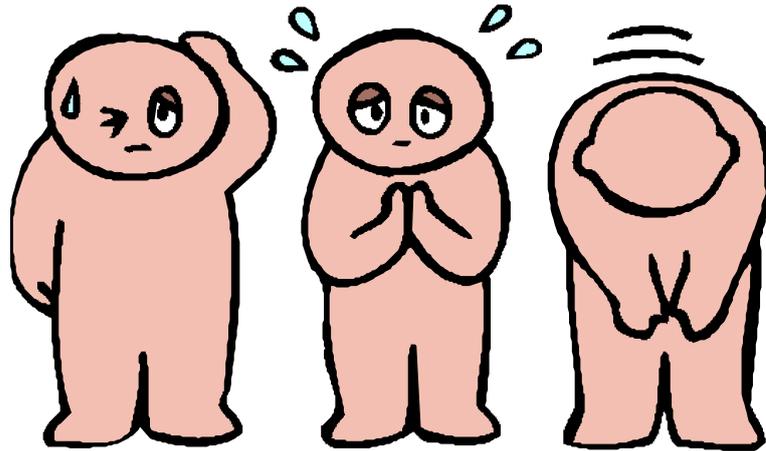
「昔よく～した、～だった」という表現の練習です。あなた自身かつてよくやっていたことや

「昔～だった」ことを思い出して会話を続けて楽しんでみましょう。

## Lesson 43: Is + That②

提出するレポートの期限に間に合いそうもなく、ヒロシが謝っています。約束の時間に遅れるなどの場合、どのような条件なら可能かの提案も同時に伝えて相手の理解を得る方法を学びましょう。

### 1. I'm sorry.



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: Johnny, I'm sorry. I couldn't finish the report on time.

J: That's okay. When can you finish it?

H: I can finish it in 30 minutes.

J: This report is very important. You shouldn't rush it.

H: Yes, I'm aware of it.

J: Are you sure you can finish it in 30 minutes?

H: Well, I would appreciate if I can have 2 hours.

J: Is that enough?

H: Absolutely. This report is going to be great.

J: That's a good spirit.

H: Are you going to be in your office around 10 today?

J: Yes, I'll be. Is it okay to assume that I can expect a fantastic report at 10?

H: Consider it done.

## 2. フレーズ

Is(Are)の表現につづき、that の使い方を確認しています。ここでは、その前に言及していることや、場面上了解されている物事を指して「そのようなこと」を意味します。

★That's okay.

まあ良いよ。

★This report is very important.

このレポートはとても重要です。

★Are you sure you can finish it in 30 minutes?

本当に30分で出来ますか。

★Is that enough?

それで足りますか。

★This report is going to be great.

とても良いレポートになると思います。

★That's a good spirit.

やる気があって良いですね。

★Are you going to be in your office around 10 today?

今日 10 時ごろオフィスにいますか。

★Is it okay to assume that I can expect a fantastic report at 10?

10 時に素晴らしいレポートを期待していいと思って良いですか。

★Consider it done.

任せておいてください。承知しました！

### 3. Make your own.

I'm sorry から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

予定通りにできないことも時にはあります。仕事や勉強や今関わっていることなどで  
時間の余裕がない時には単に謝るだけではなく、あなた自身に取り組んでいる姿勢も  
ぜひ相手の人が理解できるように忘れずに伝えていく努力も大切です。

## Lesson 44: That + I Think①

相手の人に「～してみてもはどうでしょう？」と提案する言い方を覚えましょう。ここでは賃貸をやめて家を買うのはどうか？と提案しています。どのようにして資金を貯めたらよいかの相談にも提案をしてあげているようです。

### 1. Why don't you ~?



(J: Johnny | H: Hiroshi)

J: Why don't you buy a house if you are tired of your apartment?

H: That's going to be very expensive.

J: No, don't worry. You can borrow money as a loan.

H: I think it's dangerous to borrow a lot of money.

J: Oh, don't worry, I did it too when I was your age.

H: I think your case is different. You were already a manager when you were my age. You had more money than I have now.

J: No, no, that's not true. I had to work hard to buy my house. I worked many overnight shifts and also did some side jobs ,too.

H: Side jobs?

J: I was teaching English to foreigners .

H: That option won't work for me. My English is not good enough to teach.

J: Well, nowadays side jobs seem to be accepted more than before, so maybe

you can find a good one.

H: Yes, what can I do?

J: Let's see... Why don't you teach Japanese at a language school?

H: Sounds nice! I want to try it.

## 2. フレーズ

That (This は「このこと、このようなこと」の意)の表現につづき、I think ～. の使い方を確認してみましょう。「考える」という堅い表現ではなく、「自分がそのように思う」「～だと思っている」といった自分の意見として伝える言い方でよく使われます。

★That's going to be very expensive.

それはとても高くなります。

★I think it's dangerous to borrow a lot of money.

大金を借りるのは危ないと思います。

★I think your case is different.

あなたの場合は違うと思います。

★That's not true.

それは違うと思います。

★That option won't work for me.

その手は私には使えないと思います。

### 3. Make your own.

Why don't you から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

相手の人と親しくなってくるうちに相談を持ちかけたり、相談を受けたりすることも多くなってくることでしょ。

相手の人と「～してはどうか？」という提案をし合うこともためになり、役立ちますね。

## Lesson 45: That + I Think②

ヒロシが明日の仕事のオフを願い出しています。体調がすぐれない理由も分かり理解も得られたようです。May I ～? 「～してもよいですか」は、Can I ～? よりもさらにフォーマルで丁寧な許可を求める表現です。

### 1. May I (have) ～?



(J: Johnny | H: Hiroshi)

H: May I have a day off tomorrow?

J: That's unusual for you to request a day off. What's up?

H: Well, I've not been feeling so well lately.

J: I think you are working too much.

H: Do you think so?

J: You've been working overtime for ten days in a row now. (in a row 連続して)  
That's very unhealthy.

H: I think you have a point there, but I still have many unfinished projects.

J: Listen, this is a serious problem. Your health is more important.

H: Okay, I think I can still work at home.

J: No, don't work when you are taking a day off.

This is what I really want you to do.

H: Okay, I appreciate it.

J: I think what you need is a good rest and you should be fine.

H: Thanks, Johnny.

## 2. フレーズ

That (This), I think(thought) の使い方を引き続きみてみましょう。I think ～.は話し手の意見の他に、話し手が「～だと予想する、予期する」といった意味合いも含まれることがあります。

★That's unusual for you to request a day off.

あなたが休みをとるなんて珍しいです。

★I think you are working too much.

働きすぎだと思います。

★That's very unhealthy.

それはとても不健康です。

★I think you have a point there.

確かにそうかもしれません。

★This is a serious problem.

これは重大な事です。

★I think I can still work at home.

家からでも働けると思います。

★I think what you need is a good rest and you should be fine.

良く休めば大丈夫だと思います。

### 3. Make your own.

May I (have)から始まる会話を書きましょう。空欄すべてを使わなくても大丈夫です。

Aさん	Bさん

初めて会う人やまた親しくない間柄の人とのやりとり、公共の場など相手の人に許可を求める。シチュエーションもたくさんありますね。失礼にならない、丁寧な表現を覚えてまわりの人たちの協力を得ましょう。

## Lesson 46:確認と再度学習

スクリプト: Santa Claus Is Comin' to Town / Mariah Carey

<https://www.youtube.com/watch?v=QDx5QT0VI4o>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞:ヘヴン・ギレスピー、作曲:フレッド・クーツ

Santa Claus Is Comin' to Town

You better watch out

You better not cry

You better not pout

I'm telling you why

Santa Claus is coming to town ×3

He's making a list,

He's checking it twice

He's gonna find out

Who's naughty and nice.

Santa Claus is coming to town ×3

He sees you when you're sleeping

He knows when you're awake

He knows if you've been bad or good

So be good for goodness sake!

So you better watch out

You better not cry

You better not pout

I'm telling you why

Santa Claus is coming to town ×3

The kids in girl and boyland

Will have a jubilee

They're gonna build a Toyland

All around the Christmas tree

So you better watch out

You better not cry

You better not pout

I'm telling you why

Santa Claus is coming to town ×3

気をつけておかなきゃね

泣いてちゃダメ

ムツとしててもダメだからね

どうしてだか教えてあげるね

それはサンタがやって来るからよ×3

彼はリストを作って

2回もチェックしてるの

誰が良い子か悪い子か

見てるからね

だってサンタが町にやって来るから×3

君が寝ている間もサンタは見ているよ

君が起きている時も知っているからね  
良い子か悪い子かすぐ見抜かれちゃうからね  
だから良い子にしなければね

気をつけておかなきゃね  
泣いてちゃダメ  
ムツとしてもダメだからね  
どうしてだか教えてあげるね  
それはサンタがやって来るからよ×3

女の子も男の子も  
子供はみんな  
このお祝いがもらえる  
クリスマスツリーの周りに  
おもちゃの王国を  
作るの

気をつけておかなきゃね  
泣いてちゃダメ  
ムツとしてもダメだからね  
どうしてだか教えてあげるね  
それはサンタがやって来るからよ×3

## Lesson 47:前期の復習〈発展編〉



Lesson 47～52 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。  
Lesson 47 では、「前期の復習」の内容を[Lesson 38-45]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「前期の復習」で学んだ内容について、得意だったトピックを選び、[Lesson 38-45]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson38～45 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:

仕事、趣味、背景についての一般的な質問から始めます。

What do you like to do in your free time?

(自由時間には何をするのが好きですか?)

Where did you grow up?

(どこで育ちましたか?)

- ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Why do you enjoy your hobby?

(なぜその趣味が好きなのですか?)

How did you decide to move to your current city?

(どうやって現在の都市に移ることを決めたのですか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

Who influenced your career choice?

(誰があなたの職業選択に影響を与えましたか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love traveling! Where is the most interesting place you have visited?

(旅行が大好きです！これまで訪れた中で一番面白かった場所はどこですか？)

v. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you play the guitar. How long have you been playing?

(ギターを弾くと言いましたね。どのくらいの期間やっていますか？)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう

(例: カフェ、パーティー、学校のイベントなど)。

ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください

(例: クラスメート、同僚、初対面の人)。

iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「どこ出身ですか?」「ご職業は何ですか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「会えてよかったです！」「今度コーヒーを飲みに行きましょう！」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.

ii.

iii.

iv.

v.



## Lesson 48:電話で会話をする〈発展編〉



Lesson 47～52 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 48 では、「電話で会話をする」の内容を[Lesson 10-17、38-45]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。「電話で会話をする」で学んだ内容について、大学やアルバイト先に問い合わせをしてみましょう。問い合わせ内容は自由です。[Lesson 10-17、38-45]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

問い合わせ内容例:

- 学生寮について
- アルバイトの応募について
- 授業のスケジュール変更について

Lesson 10-17、38～45 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

### i. 「簡単な話題から始めましょう」:

時間、場所、要望についての一般的な質問から始めます。

Can I speak to ~?

(〜と話せますか?)

Excuse me, I have a question about my grades.

(すみません、成績についてお聞きしたいのですが。)

### ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Hello, I saw your job posting. Is it still open for applications?

(こんにちは、アルバイトの募集を見たのですが、まだ応募できますか?)

Excuse me, is the book titled ~ available for borrowing?

(すみません、図書館の〜という本は借りられますか?)

### iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

How can I apply?

(応募方法を教えてください。)

### iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love books! Which genre has been borrowed most?

(本が大好きです！どのジャンルが最も借りられていますか？)

v. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned my salary has been deposited. When was it?

(給料が振り込まれたと伺いました。いつでしたか？)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう

(例:図書館、バイト先、学校など)。

ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください

(例:店長、図書委員、事務局員)。

iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「どこに聞けばいいですか?」「いつまでですか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「教えてくれてありがとう!」「よろしく願います!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.

ii.

iii.

iv.

v.

**3. Make your own.**

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17、38～45 を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも 3 つの 5W1H の質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

A さん	B さん

## Lesson 49: 友人との会話①〈発展編〉



Lesson 47～52 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 49 では、「友人との会話①」の内容を[Lesson 10-17、38-45]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「友人との会話①」で学んだ内容について、自分の趣味について紹介しましょう。[Lesson 10-17、38-45]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson 10-17、38～45 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:

仕事、趣味、背景についての一般的な質問から始めます。

What do you like to do in your free time?

(自由時間には何をするのが好きですか?)

Where did you grow up?

(どこで育ちましたか?)

- ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Why do you enjoy your hobby?

(なぜその趣味が好きなのですか?)

How did you decide to move to your current city?

(どうやって現在の都市に移ることを決めたのですか?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

Who influenced your career choice?

(誰があなたの職業選択に影響を与えましたか?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love traveling! Where is the most interesting place you have visited?

(旅行が大好きです！これまで訪れた中で一番面白かった場所はどこですか？)

v. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you play the guitar. How long have you been playing?

(ギターを弾くと言いましたね。どのくらいの期間やっていますか？)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう

(例: カフェ、パーティー、学校のイベントなど)。

ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください

(例: クラスメート、同僚、初対面の人)。

iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「どこに行きますか?」「何に興味がありますか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

v. 「締めくくりのセリフを追加しよう」:

最後は「会えてよかったです!」「今度コーヒーを飲みに行きましょう!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.



## Lesson 50:友人との会話②〈発展編〉



Lesson 47～52 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 50 では、「友人との会話②」の内容を[Lesson 10-17、38-45]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「友人との会話②」で学んだ内容について、自分が楽しかった経験を話しましょう。[Lesson 10-17、38-45]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson 10-17、38～45 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

### i. 「簡単な話題から始めましょう」:

仕事、趣味、背景についての一般的な質問から始めます。

What do you like to do in your free time?

(自由時間には何をするのが好きですか?)

Where did you grow up?

(どこで育ちましたか?)

### ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Why do you enjoy your hobby?

(なぜその趣味が好きなのですか?)

How did you decide to move to your current city?

(どうやって現在の都市に移ることを決めたのですか?)

### iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

Who influenced your career choice?

(誰があなたの職業選択に影響を与えましたか?)

### iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love traveling! Where is the most interesting place you have visited?

(旅行が大好きです！これまで訪れた中で一番面白かった場所はどこですか？)

v. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you play the guitar. How long have you been playing?

(ギターを弾くと言いましたね。どのくらいの期間やっていますか？)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう

(例: カフェ、パーティー、学校のイベントなど)。

ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください

(例: クラスメート、同僚、初対面の人)。

iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「何が楽しいですか?」「例えばどうなのがいいですか?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「会えてよかったです！」「今度コーヒーを飲みに行きましょう！」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.



## Lesson 51:友人との会話③〈発展編〉



Lesson 47～52 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 51 では、「友人との会話③」の内容を[Lesson 10-17、38-45]で学んだ手法を用いて深掘りしていただきます。

「友人との会話③」で学んだ内容について、一緒にパーティーの準備をしましょう。[Lesson 10-17、38-45]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson 10-17、38～45 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:

仕事、趣味、背景についての一般的な質問から始めます。

Should we also get some chips and snacks?

(ポテチとかスナックも買う?)

How about some decorations?

(飾り付けとかどうかな?)

- ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

Balloons and fairy lights?

(風船とかライトとか?)

Who's in charge of grilling?

(焼き担当は誰がやる?)

- iii. 「オープンクエスチョンを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

What should we do first?

(まず何からする?)

- iv. 「自分の興味に関連付けましょう」:

自分の興味と相手の回答を関連付けます。

I love baking! Should I make a chocolate cake?

(ケーキ焼くのが大好きです！チョコケーキとか焼きましょうか？)

v. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

You mentioned you can get some meats. What meat are you going to buy?

(肉を持ってきて言っていたけど、何の肉を持ってくるの？)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう

(例: 自宅、パーティー、イベントなど)。

ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください

(例: クラスメート、同僚、初対面の人)。

iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「何を買いましょう?」「他に準備するものある?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「また後で！」「任された！」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.
ii.
iii.
iv.
v.



## Lesson 52: 不測の事態で使う表現〈発展編〉



Lesson 47～52 では過去に学習した内容を復習しながら、実際の場面を想定して質問と回答を練習をします。Lesson 52 では、「不測の事態で使う表現」の内容を[Lesson 10-17、38-45]で学んだ手法を用いて深掘りしていきます。

「不測の事態で使う表現」で学んだ内容について、過去に見た他人の失敗を参考に、謝罪する会話を作ってみましょう。[Lesson 10-17、38-45]で学んだ内容を参考に、パートナーとダイアログを作成し、反復練習をしてください。

Lesson 10-17、38～45 の参考ポイント:

- Dialogue
- Words & Phrases
- フレーズ
- Make your own

## 1. 5W1H 質問を作るためのヒント

- i. 「簡単な話題から始めましょう」:

理由、症状、謝罪などから始めます。

Hey, I'm so sorry for being late!

(ごめん、遅れちゃった！)

I feel awful. I think I have a cold.

(最悪。風邪ひいたみたい…。)

- ii. 「具体的にしましょう」:

漠然とした質問ではなく、詳細に焦点を当てます。

How long was the delay?

(どのくらい遅れたの？)

Do you have a fever?

(熱はある？)

- iii. 「オープンクエスションを使いましょう」:

はい/いいえで終わらない質問を使って、長い回答を促します。

How do you usually recover from a cold?

(風邪ひいた時、どうやって治してる？)

- iv. 「積極的に聞きましょう」:

回答を注意深く聞き、フォローアップの質問をします。

I drink lots of warm tea. Do you want me to bring you something?

(俺はあったかいお茶を飲むかな。何か持って行こうか?)

## 2. ダイアログ作成のヒント

以下のヒントを使い、空欄に書き溜めましょう。

### i. 「場面を選びましょう」:

会話がどこで行われるのかを決めましょう

(例: 自宅、診察所、学校など)。

### ii. 「登場人物を紹介しましょう」:

会話をする人物とその関係性を簡単に説明してください

(例: クラスメート、同僚、医者)。

### iii. 「5W1Hの質問を取り入れましょう」:

たとえば「どこが痛いの?」「どうして謝るの?」など、自然に情報を集める質問を使いましょう。

### iv. 「会話らしくしましょう」:

実際の会話のようなキャッチボールを目指し、長い独白は避けてください。

### v. 「締めくくりのセリフを追加しましょう」:

最後は「ありがとう!」「もう大丈夫!」などの友好的な言葉で終わらせましょう。

i.

ii.

iii.

iv.

v.

**3. Make your own.**

ペアになり、5W1H フレームワークを使ってオリジナルの会話を作りましょう。Lesson10～17、38～45 を参考にし、以下のヒントを基に、少なくとも 3 つの 5W1H の質問と回答を含めてください。下のスペースを使って会話を書いてください:

A さん	B さん

## Lesson 53: 確認と再度学習

スクリプト: What a Wonderful World / Louis Armstrong

<https://www.youtube.com/watch?v=A3yCcXgbKrE>

※リンクが消える場合があります。その場合、同じ曲で歌詞が見えるものを選択してください。

作詞: 作曲: ジョージ・ダグラス

What a Wonderful World

I see trees of green,

red roses too.

I see them bloom,

for me and you.

And I think to myself,

what a wonderful world.

I see skies of blue,

And clouds of white.

The bright blessed day,

The dark sacred night.

And I think to myself,

What a wonderful world.

The colors of the rainbow,

So pretty in the sky.

Are also on the faces,

Of people going by,

I see friends shaking hands.

Saying, “How do you do?”

They’re really saying,

“I love you”.

I hear babies cry,

I watch them grow,

They’ll learn much more,

Than I’ll ever know.

And I think to myself,

What a wonderful world.

Yes, I think to myself,

What a wonderful world.

Oh yeah.

私には緑の木々が見える、

赤いバラの花々も

私と君のために

咲いているんだ。

そしてひとり思うんだ、

なんて素晴らしい世界だと。

私には青い空が見える、

白い雲も

輝き祝福された日、

暗い神聖な夜。

そしてひとり思うんだ、  
なんて素晴らしい世界だと。

虹の色彩、  
空にあって何と可愛い  
行き交う人々の  
その顔にもあって  
私には友人たちが握手しているのが見える、  
「ごきげんいかが？」って言うよ  
彼らは本当は言うんだ  
「愛しています」って

私は赤ちゃんたちの泣き声が聞こえる、  
彼らの成長を見守ろう  
彼らはより多くを学ぶだろう、  
私が知るだろうことよりも。  
そしてひとり思うんだ、  
なんて素晴らしい世界だと。

そうさ、ひとり思うんだ、  
なんて素晴らしい世界だと。

## Lesson 54:Free Combination



Lesson 54～56 では、レッスン 30～53 まで学んだ表現を使い、オリジナルのダイアログを作成いたします。

流れとして、Lesson 54 でダイアログのシチュエーションを決め、Lesson 55 で英語に翻訳、練習を行い、Lesson 56 でクラス内発表となります。

Let's talk about yourself!

- 1) Which topic did you like the most?
- 2) Do you have any talking topics that you are good at?

ダイアログを作る:

ペア、またはグループになり、一つのダイアログを作成いたします。最終発表まで同じメンバーで作成、翻訳、発表を行います。

このレッスンでは、今まで学んだダイアログを使い、オリジナルダイアログを作成いたします。初めはダイアログを作るシーン、または作りたい会話のトピックを決めましょう。その後ダイアログを日本語で作り、その後英語に翻訳します。

## 1. トピック選び:

ペアまたはグループになったメンバーで発表するトピックを選びます。学習したトピックから一つ選び、作成します。

- 前期の内容: 自己紹介、入国審査、買い物をする、注文をする、予定を立てる、観光をする
- 電話で会話をする
- 友人との会話①: 遊び、休みの過ごし方について
- 友人との会話②: 趣味の話をする
- 友人との会話③: パーティーについて
- 不測の事態での会話

\*複数のトピックを混ぜても問題ありません。

## 2. ダイアログを作る:

ペアになり、学習した5W1Hのシリーズや、テーマごとのダイアログ等を参考に、オリジナルの会話を作りましょう。今回は日本語でダイアログを作ります。日本語でダイアログを作成する際のコツを参考にダイアログをつくりましょう。

短くシンプルな文を心がける

英語では短い文が好まれるため、日本語の段階で無駄のない簡潔な文を意識します。

例:

×「昨日、友達と一緒に公園に行って遊んだ後、カフェに寄っておしゃべりをした。」

○「昨日、公園に行った。その後、カフェで話した。」

主語を明確にする

日本語では主語を省略しがちですが、英語では主語が必要です。主語が何なのかを意識して文を作りましょう。

例:

日本語:「どこ行くの?」

英語用日本語:「あなたはどこに行くの?」

日本語と英語の語順の違いを意識する

英語では主語→動詞→目的語の語順が基本なので、日本語の段階で語順に注意して作ると翻訳しやすくなります。

例:

日本語:「この本を昨日図書館で借りました。」

英語用日本語:「私は昨日、図書館でこの本を借りました。」

丁寧語とカジュアルな言葉を使い分ける

英語でもフォーマルとカジュアルで使う表現が異なるため、日本語での敬語や話し方を明確にしておきます。

例:

カジュアル:「これ、いくら？」

→ 英語:「How much is this?」

フォーマル:「こちら、おいくらですか？」

→ 英語:「How much is this, please?」

英語にない日本語特有の表現を避ける

「よろしく願います」や「あのー」といった日本語特有の表現は、英語に直接翻訳するのが難しいため、目的や意味を具体化しておきます。

例:

日本語:「よろしく願います。」

英語用日本語:「助けてくれると嬉しいです。」

文法をシンプルにする

複雑な文法や表現を避け、単純な文法構造を使うと翻訳が簡単です。

例:

日本語:「天気が良かったので、家族でピクニックに行きました。」

英語用日本語:「天気が良かったです。家族でピクニックに行きました。」

### 翻訳に適した語彙を選ぶ

日本語の段階で、英語に翻訳しやすいシンプルな単語を使います。難解な言葉やあいまいな表現を避けましょう。

例:

×「この問題は非常に複雑で、難解です。」

○「この問題はとても難しいです。」

### 一問一答形式を活用する

会話の中で「質問→答え」というシンプルなやり取りを意識すると、英語でもそのまま適用しやすいです。

例:

A:「何を飲みますか？」

B:「コーヒーをお願いします。」

A: "What would you like to drink?"

B: "Coffee, please."

### シチュエーションと感情を明確にする

ダイアログのシチュエーション(場所や状況)と登場人物の感情を具体的に設定すると、英語でもニュアンスを残しやすくなります。

例:

日本語:「ごめん、遅れちゃった！」

英語:「Sorry, I'm late!」

※感情(謝罪の気持ち)を明確にすることで自然な翻訳が可能。

翻訳を意識したサンプルダイアログ

以下のような日本語でダイアログを作成すると、英語翻訳がスムーズになります：

シチュエーション: カフェで友達と注文する

A: 「何を注文する？」

B: 「私はラテにする。A は？」

A: 「じゃあ、私はアイスティーにする。」

店員: 「ご注文は以上ですか？」

A: 「はい。ラテとアイスティーをお願いします。」

これを英語に翻訳すると：

A: "What will you order?"

B: "I'll have a latte. What about you?"

A: "Then I'll have an iced tea."

Staff: "Is that all?"

A: "Yes. A latte and an iced tea, please."

3. Make your own.

Aさん	Bさん

## Lesson 55: Listen & Repeat



Lesson 54～56 では、レッスン 30～53 まで学んだ表現を使い、オリジナルのダイアログを作成いたします。

流れとして、Lesson 54 でダイアログのシチュエーションを決め、Lesson 55 で英語に翻訳、練習を行い、Lesson 56 でクラス内発表となります。

英語に翻訳をしてみましょう：

ペア、またはグループになり、一つのダイアログを作成いたします。最終発表まで同じメンバーで作成、翻訳、発表を行います。

このレッスンでは、前回作成した日本語のダイアログを英語に翻訳します。翻訳作業で大切なのは、的確な表現や単語もありますが、会話の流れも意識してみましょう。過去のダイアログ表現を使いながら作成すると、完成のヒントになります。難しい場合、辞書や翻訳機を使い、講師に質問や添削を依頼しましょう。

\*最後のページを使い、英語に翻訳したダイアログを記入しましょう。

## 1. 翻訳作業の10ポイント:

シンプルで分かりやすい文を心がける

日本語では一文が長くなる場合がありますが、英語ではシンプルな文に分ける方が伝わりやすいです。

例:

日本語:「昨日、友達とカフェでたくさん話して楽しかった。」

英語:「I had a great time talking with my friend at a café yesterday.」

日本語のニュアンスを英語に置き換える

直訳ではなく、状況に合った自然な表現を使いましょう。

例:

日本語:「よろしくお願いします。」

英語:「I'm looking forward to working with you.」

「Thank you in advance.」など、状況に合わせて言い換えましょう。

主語と動詞を明確にする

英語では主語が必須です。日本語では省略されがちですが、翻訳時に注意しましょう。

例:

日本語:「行けますか?」

英語:「Can you go there?」

英語特有の語順に気をつける

日本語の語順に引きずられないようにしましょう。

例:

日本語:「この店は美味しい料理がたくさんあります。」

英語:「This restaurant has a lot of delicious dishes.」

※英語では「主語 → 動詞 → 目的語」の語順が基本です。

シチュエーションに合った言葉を選ぶ

フォーマル(丁寧)かカジュアル(日常的)かで使う表現が変わります。

例:

カジュアル:「What's up?」

フォーマル:「How are you doing today?」

英語らしい表現やイディオムを活用する

英語特有の言い回しを使うと、より自然に聞こえます。

例:

日本語:「元気ですか?」

英語:「How's it going?」や「How are you?」

文法やスペルの確認を忘れない

翻訳後は文法(主語・動詞の一致など)やスペルミスがないかチェックしましょう。

例:

× He go to school.

○ He goes to school.

辞書やオンラインツールを活用する

わからない表現があれば、辞書や翻訳ツール(Google 翻訳等)を参考にしつつ、自分たちで調整しましょう。

チーム内で意見を出し合う

英語の表現に迷ったら、グループで相談し、複数のアイデアを出してみましょう。

教師にも積極的に質問することをおすすめします。

簡潔さを大切にする

英語では簡潔な表現が好まれるため、必要以上に冗長にならないよう注意しましょう。

例:

日本語:「この問題について、いくつかの異なる視点から考えています。」

英語:「I'm considering this issue from several perspectives.」

## 2. まとめ:

授業最後に、各グループが翻訳した英語ダイアログを簡単に共有しましょう。

3. Translated Version

Aさん	Bさん

## Lesson 56: Presentation



Lesson 54～56 では、レッスン 30～53 まで学んだ表現を使い、オリジナルのダイアログを作成いたします。

流れとして、Lesson 54 でダイアログのシチュエーションを決め、Lesson 55 で英語に翻訳、練習を行い、Lesson 56 でクラス内発表となります。

英語プレゼンテーションの練習と事前準備ガイド:

内容を理解する

- 自分のスクリプトやダイアログをしっかり理解しましょう。
- キーフレーズを強調: 重要な文やフレーズに印をつけて、発表時にしっかり伝えられるようにします。

発音練習方法

- 難しい単語の発音記号を辞書やオンラインツールで確認し、正しい発音を身につけましょう。特に強調したい単語のアクセントに注意します。
- リピート練習: ネイティブスピーカーの音声(例: 英語学習アプリや YouTube)を聞き、同じように真似して発音します。フレーズ全体のリズムやイントネーションも意識します。
- シャドーイング練習: 英語音声を聞きながら、少し遅れてそのまま発音を繰り返します。文の抑揚やスムーズさを身につけるのに効果的です。
- ゆっくり発音して確認: 難しい文や言葉は一語一語ゆっくり練習してから、スムーズな発音に近づけていきます。

キーポイントを暗記する

・重要な部分を覚えることに集中しますが、全文暗記する必要はありません。自然な流れを意識して話すことが大切です。キーワードが書かれたメモやカードを使っても OK です。

英語プレゼンテーションのアドバイス:

i. ボディランゲージのアドバイス

自信を持って見せるための姿勢や動きを意識しましょう:

背筋を伸ばす: 姿勢が良いだけで印象が大きく変わります。

アイコンタクト(聞き手の目を見て話す)を取る: 話している途中に聴衆全体を見るよう心がけましょう。

ジェスチャーを活用する: 手や腕を使って、話している内容を補足的に強調しましょう。

表情を豊かにする: 笑顔や真剣な表情で感情を伝えると、聴衆に親しみやすさを感じてもらえます。

動きすぎないように注意し、自然に見える範囲で使うことがポイントです。

ii. ウォームアップ

声の準備: ハミングや早口言葉で声を温めます。

深呼吸: 発表前に緊張を和らげるため、ゆっくりと深呼吸をします。

レッスンの流れ:

1. イントロダクション(5分)

2. 発表のポイントを説明(声の大きさ、アイコンタクト、抑揚など)。

リハーサル(15分)

3. グループ内で発表の練習を行う。

発表(30分)

4. 各グループが英語ダイアログを発表。

フィードバックと採点(10分)

\*教師が採点基準に基づいて評価を行い、簡単なフィードバックを提供。

採点基準:合計点数:100点(以下の項目に基づく)

IELTSの採点項目基準を簡易的に沿ったものとなります。

\*実際のIELTS試験採点基準は、検索していただくと知ることができます。

内容の適切さ(30点)

・シナリオが日常生活に即しているか。 /15

・会話が自然で筋が通っているか。 /15

翻訳の正確さ(30点)

・英語への翻訳が正確かつ自然か。 /15

・文法や語彙に大きなミスがないか。 /15

発表のパフォーマンス(30点)

・声の大きさや抑揚が適切か。 /10

・発音や流暢さが十分か。 /10

・アイコンタクトやジェスチャーで聞き手に伝える工夫があるか。 /10

グループの協力(10点)

・チーム全体で協力してプロジェクトに取り組んだか。 /5

・全員が発表に参加したか。 /5

#### 4 留学促進事業委員会

【実施委員会等の開催実績】 本年度は委員会を1回開催した。

第1回 留学促進事業委員会	
日時・会場	【第1回】日時:令和7年1月17日(金) 11時～12時30分 形式:オンライン会議
会議内容	<p>【報告事項】</p> <p>1. 専修学校の国際化推進事業説明について</p> <p>2. 令和6年度沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業報告について</p> <p>【その他】 次年度以降に向けた意見交換会</p>

氏名	所属・職名	役割等	都道府県名
1 大城 貴博	学校法人大庭学園 法人事務局	委員長	沖縄県
2 田辺 博明	沖縄福祉保育専門学校	事務局	沖縄県
3 新良 典子	沖縄福祉保育専門学校	委員	沖縄県
4 仲間 優子	沖縄福祉保育専門学校	委員	沖縄県
5 大城 克也	沖縄福祉保育専門学校	委員	沖縄県
6 永田 幸	グローバルスカイ株式会社	委員	沖縄県
7 栗原 孝文	グローバルスカイ株式会社	委員	沖縄県
8 福澤 真樹	グローバルスカイ株式会社	委員	沖縄県
9 溝口 淳	グローバルスカイ株式会社	委員	沖縄県
10 石井 公二	株式会社京進	委員	沖縄県
11 水口 加緒里	株式会社京進	委員	沖縄県
12 星野 達彦	ライジングスター代表、国際教育事業コンサルタント	委員	沖縄県
13 岡部 寛	株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング	委員	沖縄県
14 関 泰彦	コニカミノルタ株式会社	委員	沖縄県
15 国中 優治	リプレシエアホールディングス株式会社	委員	沖縄県

開催日時	令和7年1月17日(金) 11:00 ~ 12:30	開催方法	オンライン会議
出席者	<p>【学校法人大庭学園】 大城(貴)、新良、田辺</p> <p>【グローバルスカイ株式会社】 永田様、溝口様、栗原様、福澤様</p> <p>【株式会社京進】 石井様、水口様</p> <p>【国際教育事業コンサルタント ライジングスター】 星野様</p> <p>【株式会社かいはつマネジメント・コンサルティング】 岡部様、小林様(オブザーバー)</p>		
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>大城(貴): 開会の挨拶。</p> <p>出席者全員: 自己紹介。</p> <p>大城(貴): 今回の委員会で取り上げる以下の3つの議題について説明。</p> <p>(1)モデルケースの展開の可能性</p> <p>(2)学生への経済的支援</p> <p>(3)短期・中期の目標達成に向けた協力方法</p> <p>2. 「専修学校の国際化推進事業」についての説明</p> <p>大城(貴): 「沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業」の事業の背景、趣旨、目的、内容、短期・長期の目標、今後の展開について説明。事業報告書に、ライジングスター様、かいはつマネジメント・コンサルティング様、コニカミノルタ様、リプレシェアホールディングス様を、協力企業・団体として追記することを確認したうえで、今後の事業取り組みへの協力を依頼。事業説明について、質問があるか伺う。</p> <p>石井様: 送り出しをする学生は、日本人だけを想定しているのか、もしくは外国籍の学生も想定しているのかについて質問。日本人以外だと留学ビザの要件が異なると指摘。</p> <p>大城(貴): 基本的に日本人学生が対象。外国籍学生は、修学資金の返済免除を受けるため、卒業後5年間は県内で介護就労する必要があり、送り出しの対象としては難しいと回答。</p> <p>新良: 短期留学に体験してみたいという者が出てくる可能性はあるものの、今は外国籍学生に関しては考えていないと補足回答。</p> <p>石井様: 短期留学でも、国によっては要件が厳しいことがあるため、注意が必要との指摘。</p>		

3. 「沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材育成オーストラリア留学促進事業」の今年度の取り組みについての説明

大城(貴)：今年度の事業の取り組みおよび成果について、以下を報告。

- ・オーストラリアのイマジンエデュケーションおよびチャールトンブラウンと提携協定の締結
- ・保育に特化したニーズ調査を実施
- ・留学前プログラムのシラバスが作成

永田様：保育分野のニーズ調査について、以下の内容を説明。

- ・日本とオーストラリアの保育士資格制度の比較
- ・留学生向け支援体制と実習プログラムの重要性
- ・提携校設置の意義
- ・グローバル保育士養成の可能性と課題
- ・日本における活用と展望

栗原様：1年目のシラバスについて次のように説明。1年間の授業全56回と想定して、カリキュラム編成。1年目に留学に必要なIELTS 5.5(英検2級～準1級レベル)を最終的に取得できる準備、2年目はIELTS対策を計画。IELTS5.5取得の最低条件とされる500時間以上の勉強時間を確保するにあたって、週1回の授業を56コマ組むと56時間、1日1時間の自主学習で365時間、合わせて421時間、IELTS受験までの2,3か月で79時間自主学習することで500時間に到達できる。1日1時間の自主学習が重要となるので、自己学習用の教材とトレーニングメニューも作成した。

大城(貴)：補足として、一年目のプログラムとして作成したプログラムは、当学園の学生用だが、今後、保育・介護現場など様々な分野向けの教材として、横展開を目指す。質問・意見を伺う。

石井様：去年、オーストラリアでビザの厳格化に伴い留学の要件も変更されたと思うが、IELTS 5.5のスコアでも留学に行けるのか質問。

永田様：私立は行けるが、TAFEなどの公立は、IELTS 6.0以上のスコアが必要と回答。

石井様：イマジンエデュケーション、チャールトンブラウンのディプロマであれば、IELTS 5.5でも大丈夫か確認。

永田様：実際に5.5で授業についていけるか若干疑問。両提携校の担当者とのヒアリングで、6.0、6.5あれば授業についていけると確認している。IELTS 5.5はあくまでも最低限の要件と回答。

星野様：点数だけでなく、英語力を身につけることが、現地では重要。学生に毎日1日1時間の自習を課すのは実際問題として難しい。そのソリューションとして、フィリピンの教師による個別ライ

ブレッソンを週1, 2回組み込むことを提案。フィリピンのプログラムには、モチベーション管理のついたものや点数保証をするIELTS対策講座もあるので、それらを組み入れることで、学生のモチベーションを維持できる環境が整うのではないかと提言。

永田様：ご指摘の通り、自習だけでは学生の学習進捗のフォローアップやモチベーションの維持にも課題があると認識している。今後のカリキュラム編成にフィリピンのサービスを考慮に入れたい。

大城(貴)：保育や介護のカリキュラムがかなり組まれているため、英語プログラムを組むのが難しいのが現状。当初は週2, 3回の英語授業の提案があったが、英語を楽しく学習し、留学への憧れを持ってもらえるように、まずは週1回の授業に設定した。オンライン授業については、オーストラリアとの時差1時間を活かし、現地校による授業を検討中。今後、ご助言、ご紹介、ご協力をいただきながら、プログラム化していく。

新良：当学園の介護科では多くの留学生、特にフィリピンの学生が在籍しており、英語を使った日常会話のできる交流の場を提供するなどして、学内で日常的に英語を使える環境を工夫したい。

#### 4. 次年度以降に向けた意見交換会

大城(貴)：次年度の計画に向けたアドバイス等について、まずは、実際に保育施設を運営している水口様にグローバル人材育成の課題等について意見を伺う。

水口様：当園にも多国籍の児童が在籍しており、教員への負担を含めた課題がある。英語がコミュニケーションの媒体となっており、園に配置されているネイティブの講師がその架け橋となっている。保育現場の英語力と多文化対応力の向上を目指したカリキュラムや研修の整備をこれから進めるところだったので、良いタイミングでこの事業を知ることができた。

大城(貴)：国中様に介護現場やデータ分析の観点からの意見を伺う。

国中様：日本の介護ノウハウのプログラムを他国に提供するためのチームを編成したが、現場でチームメンバーが必要に迫られて言語を覚えなければならない状況を作り、その成果が直接報酬につながる仕組みを作ることが重要だと感じている。

大城(貴)：この事業を活用して、1~2週間程度の短期留学に職員を派遣する要望があれば、ご相談いただきたいとの申し出。また、オーストラリアの介護分野での協力の検討を依頼。

大城(貴)：岡部様に世界の保育や介護の事業についての知見・意見を伺う。

岡部様：この事業の意義は非常に大きいと評価したうえで、以下について質問。

(1) この事業で何名程度の人材育成を目指しているのか質問。KPIには3, 4名とあるが、モデルを

作ることが目的という理解でよいのか、それとも収益を上げることを考えているのか質問。

(2) 沖縄県以外の地域への事業展開について、今後4年間の具体的な計画について質問。

(3) 奨学金に関して、どのような見通しを立てているのかについて質問。

大城(貴)： 岡部様からの質問に対し、以下の様に回答。

(1) 今回はあくまでもモデル事業を作るのが目的と回答。保育・介護分野では留学を目指す学生が

少ないのが現状のため、まずは、少人数からスタートする。

(2) まず1人でも2人でも留学してもらい、成功体験を基に他校へ展開していくと回答。沖縄県では、

英語力を高めたいという意欲はあっても、計画的に留学を目指す子が少ないため、高校や中学校に出向き、保育や介護の学びながら留学できることを広めていく。また、保育や福祉系の学生には学力が高くない場合も多いため、学力の高い学生にも関心を持ってもらえるような取り組みを進め、まずは沖縄県内での展開を目指す。

(3) 奨学金に関しては、チャールトンブラウンが当学園向けのスカラシップの立ち上げを検討しているという話がある。また、企業や施設が、長期留学をする職員に対し、留学後の就労義務を伴う契約に基づいた奨学金を提供する仕組み作りの可能性も検討。また、「トビタテ！留学JAPAN」の奨学金への申請が通れば、一定額の奨学金提供が可能であることも確認。さらに、企業や施設の協力によるクラウドファンディング形式の奨学金制度のモデル作りも検討。

岡部様： 今後の展開として、日本に対してリスペクトを持つベトナムやインドネシアなどの国々も対象として考慮に値することを提言。机上調査でニーズがあるかを調べたうえで、現地を回り、実際にニーズがあるか探ってみることを提案。

大城(貴)： 留学の調査等に関しては、また個別での相談を依頼したい。

大城(貴)： 関様に、グローバル人材の育成についての企業としての見解について意見を伺う。

関様： 現在、弊社の主力事業として、国内の介護事業所への介護テクノロジーの普及や介護人材不足、現場負担の軽減にフォーカスしている。日本式介護をワールドワイドに展開していく中で、英語力もさることながら、相手国の文化や人々を理解し、円滑にコミュニケーションが取れる人材は、企業にとって重要だと捉えている。そのような観点での人、人材、繋がりということと、法律が異なる国々での貿易や経済という観点でどう対処していくのかということも両睨みで取り組んでいる。

大城(貴)： 星野様に、留学セミナーや支援活動等の経験を基に、この事業の今後の展開についてアドバイス等を含めた意見を伺う。

星野様： 素晴らしい事業だが、オーストラリアは先進国で、留学費用が高くなることを指摘。この事業をもっと多くの学生に提供する観点から、経済的によりフィージブルな destinations としてマレーシアについて言及。マレーシア政府は留学生招致に非常に力を入れており、留学対応をする政府直轄の部署を中心に、留学招致のための広報活動を展開している。コロナ前から

日本人学生の受け入れにも積極的で、日本に来て留学フェアも行っており、日本からの留学生も飛躍的に増えている。保育に関する情報はないが、マレーシアは、マレー系、中国系、インド系など様々な人たちからなる多民族国家のため、多文化の環境での教育が行われていると思われる。ジョホール・バルやクアラ・ルンプルには、インターナショナルスクール、ボーディングスクールなど現地に住む外国人の子弟を預かる学校が非常に多いため、その前段階のプレスクールや保育園のような施設もあると思われる。マレーシアは日本よりも物価が安く、留学費用もオーストラリアの半分程度で済み、治安面でもクアラ・ルンプルも含めて安全な国である。選択肢を広げていくという観点から、マレーシア選択肢として検討すべきとの提案。

大城(貴): 京都の大和学園さんがマレーシアに目を向け、調理とかで受け入れと送り出しを行っており、当学園でも、マレーシアも対象として検討すべきと考えていた。留学先を増やしていくこと自体には問題はなく、さまざまな国での展開を検討したい。

大城(貴): 岡部様のところでマレーシアに関する支援活動を行っているかどうか質問。

岡部様: マレーシアはODAでほとんど扱っていないので、うちはほとんど経験がない。

大城(貴): マレーシアに関して、ネットワークや協力先の紹介が可能か質問。

岡部様: 通常の仕事でも新しい国を取り扱うことが多いため、対応可能との回答。

星野様: エデュケーション・マレーシア・グローバル・サービス(EMGS)という留学生受入れ機関、マレーシア専門学校協会の理事、英語学校協会など政府を含めたマレーシアの教育機関全般に関してコネクションがあるので、調査に協力できるとの申し出。

大城(貴): 国中様にマレーシアの受入れ機関についての情報があるかどうか質問。

国中様: マレーシアとはまだ話はないが、ミャンマーやベトナムとはすでに話があり、インドネシアとは協議を予定している。

大城(貴): 星野様にマレーシアの介護事情や保育事情についての情報があるか質問。

星野様: 現時点では、その知識はないとの回答。

大城(貴): 石井様に、事業について意見を伺う。

石井様: 福祉施設では、外国人が現場で働くことはあるが、利用者が外国人というケースはあまりない。現地で介護資格を取得して、日本に帰ってくるというイメージはない。それよりは、現地で介護職として活躍することがゴールになると思うので、介護留学と保育留学は分けて考える必要があるとの意見。グローバル人材が介護で必要かどうかのヒアリングも今後の課題。

小林様: マレーシアに関しては、現地パートナーに確認し、アウトプットがあれば提供する意向。

砂川様: 本日いただいた意見も報告書に反映できるよう、制作物として反映する意向。

大城(貴): 今回の議論で出た、新しい国としてのマレーシアや、奨学金の課題、企業側の職員育成についても踏まえ、今後さらに議論を進めていきたい。来年度は3回程度の委員会を予定

し、沖縄での現地開催を目指す。再来年度はオーストラリアの留学現場の確認などを行いたい。今回いただいた内容を基に、次年度の計画書を作成し、完成後に改めて報告する。また、企業様の職員向けの短期研修については、次年度の計画に盛り込み、個別に相談しながら進めていきたい。加えて、オーストラリア、マレーシア、ニュージーランドなど、隣国も含めた研究対象を広げていく予定。

#### IV 令和7年度以降展開について

令和6年度の成果をもとに、令和7年度以降はさらに発展的な取り組みを実施し、学生の国際的な学びの機会を広げます。

##### ① 学生向け短期留学プログラムの実施

###### 【対象者】

本学の学生および保育・福祉分野の専門職を目指す学生。

###### 【内容】

1週間～2週間の短期留学プログラムをオーストラリアで実施し、語学研修と実習の両方を体験できるプログラムを構築。現地の幼稚園や保育施設での実習機会を提供し、海外の教育現場を直接体験できるようにする。

現地での生活や異文化理解を深めるため、ホームステイまたは寮滞在を選択可能にする。

##### ② 留学前英語学習プログラムの実証講座開始

###### 【目的】

短期・長期留学希望者向けに、渡航前に必要な英語力を確実に身につける。

###### 【内容】

令和6年度に試作した英語学習カリキュラムを基に、「英語集中講座」を開講。リスニング・スピーキングの強化に特化した授業を行い、実際の会話力を向上。オンライン教材を活用し、「学習の継続支援」を実施。オーストラリアの教育機関との共同授業を試験導入し、現地の先生とのオンラインセッションを実施。

##### ③ 教育連携校のさらなる拡大

###### 【新たな連携先の開拓】

オーストラリア国内の他の職業専門学校や大学と協議を進め、連携校の拡大を図る。

特に保育・福祉分野の教育に力を入れている機関との連携を強化。

###### 【国内の教育機関との連携】

日本国内の大学・専門学校と協力し、共同で国際教育プログラムを構築。

オーストラリアへの留学を目指す学生の学習機会を増やすため、情報共有や説明会の開催を予定。

今後も、学生の海外での学びを支援し、実践的なスキルを身につけられるよう、教育連携の充実を図ってまいります。

令和 6年度 文部科学省  
専修学校の国際化推進事業

**【沖縄県における保育士・介護福祉士グローバル人材  
育成オーストラリア留学促進事業 成果報告書】**

本報告書は、文部科学省の教育政策推進事業委託費による委託事業として、学校法人大庭学園 が実施した 令和 6 年度「専修学校の国際化推進事業」の成果をとりまとめたものです。

発行日:令和 6 年 2 月

発行者:学校法人大庭学園

〒900-0033 沖縄県那覇市久米 1-5-17

TEL 098 (988) 0238 FAX 098 (988) 0239